

第七十五回帝國議會
衆議院

會計検査院法中改正法律案委員會會議錄(速記)第七回

會議

昭和十五年三月十三日(水曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 古屋 慶隆君

理事則元 卯太郎君 理事木原 七郎君

理事金澤 正雄君 理事淺井 茂猪君

福田關次郎君 南雲 正朝君

星 一君 庄司 一郎君

菊地養之輔君 三浦 虎雄君

松村 光三君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 木村 尚達君

出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 平木 弘君

内閣統計局長 川島 孝彦君

法制局參事官 樋貝 詮三君

司法政務次官 星島 二郎君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省刑事局長 黒川 涉君

司法書記官 石田 壽君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員中野 治介君 議員江原 三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

會計検査院法中改正法律案(政府提出)

委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

恩給法中改正法律案(政府提出)

○古屋委員長 是カラ開會致シマス——金澤君

○金澤委員 恩給法ニ付テニ三御聽シタイ

ト思ヒマス、恩給法ノ前ノ改正ハ、慥力大

正十二年ダツタト思ヒマス、或ハソレ以前

カラデモ恩給ト云フモノガ殆ド改正サレズ

ニアリ、又官吏ノ俸給ガ此ノ前少シ増俸ニ

ナリマシタケレドモ、又百圓以上ハ減額ニナ

ツテ居リマス、大體此ノ恩給法ノ内容ヲ見

マス、高等官ノ方ハ平均千圓位ニナツテ

居リマス、判任官ノ方ガ四百五十七圓、軍

人ノ方ノ判任官ノ方ガ二百八十二圓、是等

カラ考ヘテ見マス、一方ニ恩給亡國ナ

ント云フ聲ガアリマスガ、併シナガラ他ノ

方面ニ於キマシテハ、今マデハ官吏ト云フ

モノハ月給ハ安イケレドモ、將來ノ生活ノ

安定ガアルンダ、非常ニ堅實ナンド、自分

ガ官吏ヲ辭メマシテカラデモ生活ノ保障ガ

アルシ、自分ガ死ンデカラデモ遺族扶助料

ガアルノダト、餘程良イヤウニ考ヘラレテ

居ツタノデアルガ、大體四百圓一年ニ貴ヒ

マシテモ三十圓餘リ、今東京デハ六疊ノ部

屋借リ一ツ致シマシテモ、三十圓取ラレル

ノデアリマス、是デハ子供ヲ持チマシテ到

底生活ノ安定ガ得ラレナイト云フノハ實際

デアリマス、又十二年度ノ決算ヲ見マス、普

通恩給ガ一億一千六百萬圓ト記憶シテ居リ

マス、外ノモノヲ入レマシテ一億二千三萬圓

デアリマスガ、十五年度ノ豫算ハ二億六千

萬圓、僅カ二年ノ間ニ二倍以上ニ殖エテ居

ルト云フコトハ、今度ノ事變關係ダラウト

想像致スノデアリマス、事變關係ダラウト

想像致シマスガ、大體高等官ノ方ハ凡ソ千

圓以上平均アルノデアリマス、軍人ノ

將校以上ハ千二百圓以上ノ平均ニナツテ居

リマス、官吏ト云フモノハ今ハ僅カ二百六十

幾ラ、官吏ト云フモノハ今ハ月給ハ安イケ

レドモ、將來ニ於テ安心ダト云フノデ、昔

ハ人材ガ集ツタノデアリマス、併シナガラ

斯ウ云フ狀況デアリマス、今重工業ノ職

工、或ハ織物工業ノ職工ニ致シマシテモ、

十八九歳デ六七十圓ト云フノガ普通デアリ

マス、高等小學校ヲ出マシテ二年間熟練職

工ニナリマス、七八十圓ニナリマス、所ガ

中學校ヲ出マシテ官廳ニ勤メテ居リマス、

田舎ナラバ僅ニ二十五圓、東京邊リデ三十

五圓デアリマス、是デハ實業界ヘ行クヨリ

モ、官吏ノ方ガ堅實デアルト云フ昔ノ思想

ハ、全然裏切ラレテ居ル、言ヒ換ヘテ見マス

ト、官吏ノ方ハ其ノ儘ニナツテ居リマス、ケ

レドモ、物價ガ無暗ニ上ツテシマツタ、政

府ノ法律其ノ他ニ見マシテモ、罰金ノ如キ

モノハ二百圓以下トアツタノガ五百圓以

下ニ上リ、又千圓以下ニ上リ、取ル方ハド

ンドシオ上ゲニナリマス、ケレドモ、與ヘル

方ハ其ノ儘デアリマス、實ハ私モ官吏ヲ致

シテ居リマシタ、私ハ官吏ヲ致シテ居リマ

シタガ、恩給ハ相當澤山貰ツテ居リマス、

外ニモ仕事ヲ致シテ居リマス、實ハ今モ相

何モ不平ハナイノデアリマス、實ハ今モ相

當恩給ヲ減額サレテ居リマスヤウナ狀況デ

ゴザイマスカラ、私自身ハ懇ヘルノデハア

リマセヌ、併シナガラ判任官ニ付テ申シマ

スト、是デハ可哀相ナノミナラズ、是デヤ

人材ハ得ラレナイ、良イ人ハ皆實業界ヘ行

ツテ、官吏ノ方ハグダラベーパーカリ集

付託議案

會計検査院法中改正法律案(政府提出)(第六八號)

委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第五八號)

大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)(第六一號)

裁判所構成法中改正法律案(政府提出)(第七八號)

恩給法中改正法律案(政府提出)(第八一號)

ルト云フ結果ニナリツツアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、就キマシテハ、斯ノ如キ今度ノヤウナ恩給法ノ大改正ノ際ニ於キマシテ、斯ウ云フ點ヲモット考ヘル必要ガアリハシナイカ、而モ二年前ニ比ベテ一億何千万圓、二倍以上ノ豫算ガ増額ニナツテ居リマス、斯ウ云フ際ニハ、此ノ下ノ判任官ノ俸給其ノモノガ非常ニ安イノデス、デアリマスカラ、將來或ル程度ノ家賃位、或ル程度ノ米代位ハ、家族ノ足シニナルヤウニト云フヤウナ考ノ下ニ、此ノ改正ニ際シテ十分御考慮ニナリマシタカ、或ハ御考慮ニナツタノダケレドモ已ムヲ得ナカツタノカ、ソコヲ一ツ忌憚ナキ御心持ヲ御聽シタイノデアリマス

○平本政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、一寸本筋ト雖レマスケレドモ、恩給額ノコトニ付一寸申上ゲテ置キマス、只今決算ノ數字デ御示シ願ヒマシタノデスガ、此ノ決算ノ數字ハ、御承知ノ通り支那事變ノ戦死者ノ遺族扶助料其ノ他ガ、戦地ノ方デ書類ガ非常ニ遅レマス關係上、昭和十二年頃ニ死亡シタ者、或ハ十三年頃ニ死亡シタ者ガ、昨年度アタリニ支給サレルト云フコトニナリマスカラ、遺族扶助料ヲ二年分、三年分纏メデ、昨年アタリニ拂フト云フ風ナコトニナリマスカラ、決算ノ數字ハ非常ニ多クナリマス、ソレデハ話ノ本筋デアリマセヌケレドモ、御參考マデニ恩給ノ數字ヲ申上ゲマス、是ハ恩給局ノ方デ裁定シタモノノ累計ノ年額デアリマスカラ、實際支拂ツタ額デアリマセヌガ、一年ノ國家ノ恩給ノ支拂額ノ數字ハ、是カラ申上ゲル數字デ御考置キヲ願ヒタイ、ソレハ事變前ノ昭和十一年末ニ於キマシテハ一億五

千七百萬圓、ソレカラ十二年度ニナリマシテ一億六千六百萬圓、約四百萬圓ノ増加、ソレカラ十三年度ニ一億七千三百萬圓、約一千二百萬圓バカリ増加シテ居ル、ソレカラ十四年末ノ數字ハ、現在ノ所出テ居リマセヌガ、大體一億九千四百五十萬圓デハナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ先刻ノ恩給受給者、殊ニ判任官以下ト申シマスカ、下級官吏ノ受給者ハ、最近生活上非常ニ困ツテ居ヤシナイカ、之ニ付テ何カ今度ノ改正ニ付テ考ヘタカト云フ御質問デゴザイマス、其ノ點ニ付キマシテハ、私共ト致シマシテモ十分考慮シタノデアリマス、御承知ノ通り恩給ガ年々非常ニ増加致シマスル爲ニ、只今モ御述ニナリマシタ通りニ、一面ニ於キマシテハ國庫ノ負擔ガ非常ニ大キイ、恩給亡國ト云フ論モ最近マデ色々アツタノデアリマス、此ノ點一面御尤モナコトデアリマスルガ、吾々ノ方ト致シマシテハ、恩給ヲ改正スル場合、常ニ國庫ノ負擔ヲドウシテ輕減シタラ宜イカ、ドウスレバ輕減出來ルカト云フコトハ、私共常ニ念頭ニ置イテ居ル所デアリマス、ソレカラ又半面ニ於キマシテ、受給者ノ方カラ考ヘマス、殊ニ少額受給者ハ、最近ノ物價高ニ依リマシテ愈々生活ガ苦シクナル、是ハドウモ疑フ餘地ハナイト思フ、是ハ何トカシナゲレバナラヌト云フコトヲ、私共常ニ考ヘテ居リマス、サウ致シマスルト、前ノ恩給ヲ成ベク少クスルト云フ問題ト、受給者ノ方ノ生活ヲ幾分デモ樂ニスルト云フ問題トハ、ドウシテモ一見兩立シナイコトニナルノデアリマス、其ノ兩者ヲ如何ナル所デ調和スルカ、何處デソレヲ調和シテ二要素ヲ採入レルカト云フコトハ、私共ト

致シマシテ常ニ苦心致ス所デアリマス、其ノ點カラ考ヘ、受給者ノ立場カラ考ヘマシテ、先ツ昭和十三年ノ改正ニ於キマシテ戰死關係、戦死シタ遺族、或ハ戰傷者、不具癈疾、其ノ他ノ傷痍ヲ殘シタ者ニ對シマスル増加恩給、其ノ他ノ關係ニ於キマシテハ、昭和十三年ノ改正ニ於キマシテ、相當大幅ノ増額ヲ致シタノデアリマス、ソレニ依リマシテ大體戰死關係ノ問題ハ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、シマスト殘ル問題ハ戰死關係以外ノ、一般ノ下級官吏ノ恩給ノ増額ノ問題デアリマスルガ、此ノ問題ニ付キマシテモ色々考究致シマシタガ、ドウモ現在實金ノ値上ト申シマスカ、俸給ノ増額ト申シマスルカ、サウ云フ點ハ原則トシテ一般ノニヤラナイト云フ方針デアリマスルノデ、此ノ點ニ觸レテ今回増額スルト云フコトハ致サナカツタ、斯ウ云フ風ナ狀況ニナツテ居ルノデゴザイマス

○金澤委員 只今ノ御答ニ依リマシテ、私ハ少シ暗ニ落チナイ點ガアル、ト申シマスルノハ、一體官吏ハ僅カナ俸給デ以テ、外ニ營業其ノ他ノ自分ノ金儲ケト云フコトヲ禁ジラレテ居ルノデアリマス、隨テ官吏ヲ辭メテ、特別ニ其ノ人ニ財産ガアレバ別、又惡イ事デモスレバ別、本當ニ眞面目ニヤツテ居リマシタナラバ、モウ其ノ月給ハ其ノ時其ノ時ニ使ツテシマフベキモノデアツテ、決シテソレガ貯金ニナツテ生活ノ足シニナルヤウナ所マデ殘ルモノデハナイ、ソレガ本當デス、サウ云フ風ニシテ居レバコソ、恩給法ト云フモノニ依ツテ、後ノ心配ナイヤウニシヨウト云フノガ、是ガ恩給制度ノ趣旨ダト私ハ解シテ居リマス、然ルニ今日ノ實際ノ狀況カラ申シマス、辭メテカラ

生活ハ出來ナイ、又遺族扶助料ハ其ノ半分ニナリマスガ、即チ四百萬圓ノモノナラニ二百圓、二百圓デ二三ノ子供ト女房ガ、ドウシテ暮シガ付クモノデスカ、ソレデハドウモ恩給法ヲ設ケタ趣旨ガ全然通ラナイ、中途半端ナモノダ、ソレハアナタハ宜シイデセウガ、恩給法ニ依ツテ官吏ガ安心シテ、惡イ事ヲシナイヤウニ、又自分ノ金儲ケヲシナイヤウニ、サウ云フ爲ニ出來タ此ノ恩給法ノ趣旨ヲ、全然通サナイヤウナ現在ノ狀況ニナツテ居ル、又金額カラ申シマス、昭和十三年決算ノ狀況ヲ見マス、判任官ガ千三百萬圓、其ノ年ノ總額ノ僅ニ十分ノ一以下デアリマス、若シ是ガ倍ニナツテモ十分ノ二ニ過ギナイノデス、軍人ノ方ニ付キマシテハ、昭和十三年ニ改正サレテ居リマスガ、アノ當時ノ物價ト今日トデハ、今日ハ物ニ依ツテハ二倍ニナツテ居ルモノモアリマス、決シテアレデ以テ足レリトハ思ツテ居リマセヌ、併シナガラ軍人以外ノ下ノ方ニ於テノ狀況ハ、如何ニモヒドイノデアリマス、恩給法ダケ官吏ニ秀才ヲ集メ得ルカドウカト云フコトハ、ソレハ私疑問ニ思ヒマスケレドモ、恩給法ノ設ケラレタル趣旨カラ云ヘバ、意義ヲ爲スダケノモノヲ支給シナケレバ、無意味ナ支給ニナル、ナイノト同ジヤウナ結果ニナルデアリマス、斯ウ云フ心配ヲ致スノデアリマス、恩給局長ト致シマシテ、唯恩給亡國論ガアルカラ、ソコノ調和ヲ取ルト云フヤウニ、事務的ニ御考ニナラズニ、恩給法ノ本質カラ考ヘテ、一體是デ恩給法ノ意義ヲ爲シ得ルカ否ヤト云フコトニ付テノ御考ヲ、モウ少シ伺ヒタイノデアリマス

○平本政府委員 只今御述ニナリマシタコ

トハ、洵ニ御尤モデゴザイマスガ、先刻モ申上ゲマシタ通りニ、恩給モ其ノ一部ニナル譯デアリマスガ、當然俸給生活者其ノ他ノ給料ヲ引上ゲナイト云フ建前ニアルモノデスカラ、受給者ノ方ノ生活ハ相當苦シイ、何トカシナケレバナラヌト云フコトハ常ニ考ヘテ居リマスケレドモ、現在トシテハドウモ致シ方ガナイデヤナイカ、今後ニ俟ツベキモノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○金澤委員 尙ホソレ等ニ付テ追究ハ致シマセヌ、併シナガラ軍人恩給ノ方ハ、一年行ケバ四年ニナルノデアリマス、三年スレバ十二年ニナルノデアリマスカラ、二年餘スレバ直グ恩給ガ付クノデス、サウシテ大體是ハ徵兵ニ依ツテ行ク人ガ主ナノデゴザイマスガ故ニ、或ハ農家デ働イテ居ルトカ、店員デ働イテ居ルトカ、會社員デ働イテ居ルトカ、色々外ニ本務ガアルノデス、所ガ普通文官ノ方ハサウデハナイ、十七年若クハ二十年、二十五年デヤツト貰ツテ、アナタ方ノ部下ニ付テモ御承知ノ通り、ソレカラ先ハ何モ出来ナイ、本當ニ一年ガ一年デスガ、是ハ一年ガ四年ニナルノデス、デスカラ戰爭ニ行ツタ方ニ付テモ特別ノ考慮モ必要デアリマスガ、其ノ點モ一ツ考慮シテ貰ハナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ地域ノ問題デアリマス、例ハ朝鮮鮮ヤ臺灣ニハ恩給ノ加算ガアル、沖繩ニハ恩給ノ加算ガナイ、千島ニハ恩給ノ加算ガナイ、而モ恩給ノ加算バカリデヤナイ、臺灣ヤ朝鮮ニハ手當ガ付ク、沖繩ヤ千島ニハ手當ガ付カナイ、同ジ官吏デアツテ、ドレダケ生活上ノ不便ト、苦勞ト物價ノ高サトガ違フデアリマセウカ、私は僅カチナダカ

ラト云フノデ「オミット」サレテ居ルモノト思フ、併シナガラ斯ウ云フ制度ガアル以上ハ、而モ地域ニ付テ場所ヲオ弄リニナリ、一月ニ對シテ半月ノ加算ニスルト云フヤウナ際ニ於テハ、モウ少シ眼ヲ廣クナサツテ、現狀ダケニ付テ、船軍其ノ他ト云フヤウナ、簡單ナモノダケノ挿入デ足レリトセズ、本當ニ身ヲ入レテ、其處ノ行政ニ携ハル官吏トシテ、事務ヲ執ル上ニ遺憾ノナイヤウ、或ハ沖繩、千島其ノ他ノ離島ニ於キマシテノ加算ニ付テ、御研究ニナリマシタカドウカ、其ノ點伺ヒタイ

○平木政府委員 只今ノ御質問ハ、植民地、朝鮮、臺灣等ニハ加算制度ヲ設ケ、沖繩トカ千島トカ、サウ云フ方面ニ加算ガナイノハ、均衡ヲ失シハシナイカト云フ御質問デアツタヤウニ思ヒマス、成程實質カラ申シマスルト、或ハ朝鮮ノ或處ヨリハ沖繩縣ノ或處ノ方ガヒドイ、或ハ千島ノ方ガヒドイ、或ハ北海道アタリデモサウ云フ問題ガアリマセウ、其ノ點ハ成程ナイトハ申サレマセヌ、常識的ニ考ヘテアルト申上ゲルヨリ外仕方ガナイデアリマスガ、ドウモ加算ヲ付ケマス場合ニ於キマシテハ、植民地デアルトカ、内地デアルトカ、ドウシテモ大キナ、大難把ナ所デ切ルヨリ仕方ガナイモノデスカラ、現在植民地ニ付ケ内地ニ付ケナイ、斯ウ云フ風ニシテ居ルノデアリマス、實際カラ申シマスレバ、植民地トカ内地トカ言ハナイデ、其ノ地方々々ニ依ツテ非常ニ細カク加算ヲ付ケルトカ、付ケナイトカ云フコトヲ決メルコトガ、一番實情ニ適スルト思ヒマスルガ、サウ致シマスルト非常ニ細カクナリマシテ、ヤリニクイ點ガ多イノデ、現在ノヤウニシテ居ル譯デアリマス、例ハ現在

朝鮮ニ付ケテ居リマシテモ、京城デアリマス、其ノ他處々ニ於テ、内部ダケデモ相當均衡ヲ失スル點ガアルノデアリマス、其ノ點ハ洵ニ困ル問題デアリマスケレドモ、餘リ細カクヤリマスコトハ、事務ノ上ニ於テ非常ニ困ルノデアリマス、ソレデ現在ノヤウニヤツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ離島其ノ他僻陬ノ處ニ於キマシテハ、僻陬地ノ加算ト云フ制度ヲ設ケマシテ、或ル程度ノ加算ヲ付ケテ居リマス

○古屋委員長 恩給法ノ質問ヲ尙ホ繼續シマスガ、今司法大臣ガ見エマシタカラ……南雲君

○南雲委員 司法大臣ニ對シマシテ、司法權ノ運用ニ付テ少シク御尋申上ゲタイト思ヒマス、近頃法律命令ガ洪水ノヤウニ澤山出デ参リマシテ、専門家デモ非常ニ之ヲ理解スルコトハ困難デアリマス、尙且ツ司法ニ職ヲ奉ズル者デアリマシテモ、之ヲ理解スルコトガ非常ニ困難ノヤウナ狀況ニ見受ケラレマス、所ガ更ニ此ノ統制經濟ノ點カラ考ヘテ見マスルト、ヤハリ時局柄統制經濟ハ益々深刻ニナリ、其ノ關係カラシテドウシテモソコニ思想問題、社會問題等ガ惹起スル虞ガアルノデアリマシテ、兎ニ角銃後一億一心一體トナツテヤツテ参リマスニ付キマシテハ、斯ウシタ思想問題、經濟問題、社會問題等ニ付テ、完璧ヲ期サナケレバナラヌノデアリマスガ、特ニ近頃ハ社會不安ト云フモノガ、非常ニ極端ニ瀰漫サレテ居リハシナイカト思ハレマス、此ノ情勢ヲ打開スルニ付テハ、何ト申シマシテモ適法精神ノ涵養ガ非常ニ私ハ必要ダト思フ、所ガ近頃ノ經濟事犯ニ付テノ一般ノ狀況ヲ考ヘテ見マス、寧ろ經濟事犯ニ依ル違反

ノ如キハ、一ツノ名譽ノ戰傷ノヤウナコトニスラ考ヘテ居ル向キガアル、是ハ山々シイ問題デアリマシテ、少クトモ假ニ惡法デアツテモ、之ヲ遵奉シナケレバナラヌト云フコトヲ、徹底セシムル必要ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ見地カラシマスナラバ、或ハ檢舉ノ適正トカ、裁判ノ公正トカ云フコトモ、勿論必要デアリマスケレドモ、更ニ此ノ時局ニ於キマシテ、司法ニ職ヲ奉ゼラレル方々ニ於キマシテハ、寧ろ進ンデ街頭ニ進出シテ、根本問題トシマシテハ、何處マデモ憲法精神ノ鼓吹ト云フコトニ付テ、所謂國內ニ於ケル第一線ノ戰士ノ氣概ヘヲ以テ對處サレタイト思フノデアリマスガ、斯様ナ司法官ノ街頭進出ト云フコトニ付テ、當局ハ如何ヤウニ御考ニナツテ居リマスカ、是カラ先ヅ御致シマシテカラ、最近ノ狀況トシテ閣下引ガ非常ニ行ハレテ居ル、隨テソコニ憲法精神ノ弱化作ト云フコトガ見ラレト云フ、一應ノ御見解ニ付テハ、私モ實ニ遺憾ノコトト考ヘテ居ルノデアリマス、從來ノ經濟統制ノ違反事件ヲ通ジテ眺メテ見マスルト、重要物資ノ統制時代ニ於キマシテハ、違反者ガ業者ニ限ラレテ居リマシタ爲ニ、一般人民ハ業者ガ違反行爲ヲ致シマスレバ、ドウモ時局認識ガ足ラナイト云ツテ、業者ノ違反行爲ヲ非難スルヤウナ狀態ニアツタト觀察シテ居リマス、所ガ其ノ後生活必需品ノ方面ニマデ統制ガ強化サレテ参リマスルト、違反者ノ層ガ社會全般ニ普クナリマシテ、而モ統制經濟ノ運用上、時ニハ已ムニマレズシテ違反行爲ヲスルト云フヤウナ事犯モ、實ハ現ハレテ参リマシタ、隨ヒマシテ

一般民衆ガ、ドウモ斯ウ云フ無理ナコトナラバ、違反モ仕方ガナイデハナイカト云フ。氣持ガ、多少浮ンデ來タヤウニ觀察サレタノデアリマス、是ハ實ニ憂慮スベキコトト考ヘテ居リマシタガ、其ノ後違反事件ヲ少シ掘下デテ取調ベテ見マスルト、此ノ間取引ノ行ハルルニ至ツタ原因ガ、業者ノ周圍ニ蔓ツテ居リマス「ブローカー」式ノ、所謂正業デナクシテ、唯利益ヲ追ウテ物ノ配給等ニ携ツテ居ル惡イ人達ノ爲ニ、一般民衆ガ馬鹿ヲ見デ居ルト云フヤウナ狀況ガ、最近ボツ／＼現ハレテ來マシテ、一般民衆モアリマスガ、最近ニ至リマシテハ、ドウモ僕等ガ價格違反等ヲヤラネバナヌ原因ハ、統制經濟其ノモノノヤリ方ガ惡イトバカリ考ヘテ居ツタガ、併シ其ノ統制經濟ヲ惡カラシムル原因ト云フモノハ、ヤハリ私利私慾ニ驅ラレテ、此ノ配給機構ノ周圍ニ蔓ツテ居ル、所謂奸商ト申シマスカ、「ブローカー」カト申シマスカ、此ノ方面ノ所爲ガ餘程與ツテ力ガアルト云フヤウナコトニ、漸ク民衆モ氣が付イテ來タヤウニ感ジテ居リマス、隨テ一時私共ガ非常ニ憂慮致シマシタ一般民衆ノ違法觀念ト云ノモノガ、サウ云フ方面ノ檢舉ヲ續行致シマスニ連レマシテ、餘程又反省ヲシテ、見直シテ來タヤウナ狀況ニアルモノト今觀察ヲ致シテ居リマス、ソレデサウ云フ狀況ニアリマスカラ、今御意見ノアリマシタヤウニ、檢事局トシマシテモ、單ニ事件ヲ擧ゲヨウ擧ゲヨウト云フコトニ努メマスヨリモ、成ベク其ノ統制ノ行ハレル所ノ階級ニ入ツテ、此ノ統制經濟ノ已ムニ已マレヌ理由等ヲ説明致シマシテ、國民ノ遵法精神ヲ——其ノ芽生ガ出掛ケテ來マシタカラ、更ニ一層之ヲ強化スルコト

ガ非常ニ必要ダト考ヘマシテ、此ノ點ニ付テハ御質問ノ趣旨ニ全ク同感デアリマス、サウヤリマスノニハ、ヤハリ統制經濟ノ運用ガ、若シ將來或ハ業者ノ自治ニデモ委ネラレ、成ベクナラバ業者ノ自肅自戒ノ下ニ圓滿ナル統制經濟ノ運用ヲ期スルヤウナ方向ニ向ツテ行キマスレバ、サウ云フ業者ノ集リニハ、恰モ選舉肅正運動ニ於テ檢事ガ街頭ニ進出シマシタヤウニ、サウ云フ方面ニ參リマシテ、其ノ統制經濟ノ必要ナル所以、又已ムヲ得ズシテ斯ウ云フコトニナツタト云フ所以ヲ、能ク説明シテ參リマスレバ、一時壞レ掛ラントシタ遵法精神ヲ恢復スルコトノ方面ニ、餘程ノ效果ガアルモノト考ヘマシテ、今各檢事局ニ於テモ、サウ云フ方面ニ注意ヲ向ケマシテ、何等カノ寄合ヒガアリマスレバ、其ノ所ニ參リマシテ、業者ト或ハ一般ノ人達ト膝ヲ交ヘテ、相共ニ此ノ統制經濟ノ圓滿ナル運行ニ邁進シテ行キタイ、今實ハサウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○南雲委員 只今御意見ヲ拜聴致シテ、段段遵法精神ノ方ガ芽生エテ來テ居ツテ、好轉シテ居ルヤニ拜承シタ譯デアリマス、事犯ノ傾向其ノ他統計等ニ現ハレテ居ル所デハ、或ハ左様ニ御考ヘカモ知レマセヌガ、私共直接大衆ニ接シテ見テ居リマスルト、寧ろ惡化ノ一途ヲ辿ツテ居リハセヌカト云フコトヲ心配シテ居ル、實ハ此ノ點ニ付キマシテハ、私ハ司法當局ニ對シテモ、非常ニ同情の見地ヲ持ツテ居ル積リデアリマスガ、何分物價停止令ニ依ツテ抑ヘラレテ居ル場合、米ノ問題ニシマス、非常ニ檢舉サレテ居ル場合ニ五圓上ゲラレ、ソレカラ又色々適正價格或ハ指定價格等ヲ發表サ

レマシテモ、ソレガ區々ノ問題ガアル、私ハ他ノ委員會ニ於テ其ノ點ヲ農林、商工兩局ニ指摘シマシテ、今後左様ナコトノナイヤウニ御願ヲシタイノデアリマスガ、其ノ指定スル價格其ノモノガ違ツテ居ルト云フヤウナ有様デアル、一方ハ何ガシデ取引シテモ違反ニナラナイ、他方ハソレヨリ安ク取引シテモ違反ニナル斯ウ云フヤウナコトデハ、如何ニ司法當局ガ熱心ニ防犯或ハ檢舉ニ御努力サレテモ、ドウモ遵法精神ヲ更ニ強化スルコト云フヤウナ點ハ非常ニ困難デハナイカ、幸ヒ法制局ノ樋貝政府委員モオ居デニナリマスガ、司法當局トシマシテハ、勿論檢舉或ハ防犯等ニ付テ御努力ニナルノデアリマセウガ、更ニ進ンデ司法大臣トシマシテハ、此ノ物價ノ問題、統制經濟ノ問題等ニ付キマシテハ、閣議ヲ通シテ強イ意味ヲ以テ、御發言ヲ願ヒタイと思ヒマス、少クトモ幾ラ法律ヲ拵ヘマシテモ、幾ラ命令ヲ拵ヘマシテモ、之ヲ遵法シナケレバ何ニモナラナイ、之ヲ遵法スルコト云フ方向ニ進メルヤウニ、有ユル統制事犯ニ對シテモ御研究ヲ願ヒタイと思ヒマス、特ニ私ハ此ノ機會ニ申上ゲテ置キタイコトハ、當局トシマシテハ、檢舉主義ヨリハ防犯主義ヲ執ツテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、是ハ勿論左様デアリマセウガ、更ニ一步ヲ進メマシテ、防犯主義ニ付キマシテ法ノ認識ト云フコトニ付テ、只今ノ御意見ヲ拜承シマシタガ、更ニ深刻ニ御考ヲ願ヒタイと思フ茲ニ一ツノ事例ヲ申上ゲタイと思フデアリマスガ、是ハ目下事件ガ進行中デアリマスカラ、私ハ具體的ノコトヲ申シマセヌガ、或ル地方ニ起ツタ雜穀問題ニ付キマシテ、少シク私研究シテ見マスルト、實ハ八、一八

當時ハ、古イ物ハアリマシタケレドモ、新物ガアリマセヌノデ、九・一八ノ價格ガナカツタノデアリマス、所ガ其ノ後一般ノ物價高ニ連レテ、段々新物ガ出廻ツテ參リマシテカラ、非常ニ相場ガ暴騰シタ、取引所ノ相場ハ非常ニ暴騰シテ來ル、ソレカラ延イテ現物相場ガ非常ニ暴騰シテ參リマシタ、ソコデ其ノ相場ガ取引所ハ勿論、現特相場モ「ラデオ」トカ新聞ニ堂々ト發表サレテ居ルノデアリマス、取引所ノ相場ガ發表サレルコトハ已ムヲ得マセヌガ、現物ノ相場モ「ラデオ」トカ新聞ニ發表サレテ居ル、而モ其ノ「ラデオ」ニ發表シタノハ、官設ノ農產物検査所デ以テ通知ヲシテ、其ノ數字ガ發表サレテ居ル、左様ナ譯デアリマスカラ、九・一八當時ノ値段ガナイ、其ノ後ノ暴騰シタ相場ニ付キマシテハ、「ラデオ」新聞等ニ依ツテ發表サレテ居ル、隨テ取引シテモ宜シイト考ヘマシテ、ドン／＼取引ヲシタ、而モ此ノ雜穀ハ輸出品ガ多イヤウデアリマシテ、輸出品ニ付テハ差支ガナイト云フヤウナ點ヲ誤解シタラシイ、ソコデドン／＼取引シタ、所ガドウモ是ハフカシイ、違反ニナリヤセヌカト云フヤウナ話モアリマシタケレドモ、別ニ當局ノ方カラ御注意モナイ、其ノ内ニ官廳ノ方トシテモ研究サレタノデアリマセウ、嚴重ニ警告ヲ發シタノデアリマス、其ノ頃ハモウ數百萬圓ノ取引ヲシテ居ル、所ガ其ノ嚴重ナ警告ヲ發シマシタ後ニ於キマシテモ、何分相場ガ非常ニ暴騰シテ居リマスノデ、若シ九・一八ノ値段トシマシタラバ、全然取引ガ出來ナイ狀態デアル、斯ウ云フ重要ナ物產デアリマスカラ——數千萬圓ノ物產デアリマスカラ、九・一八ノ停止令ト同時ニ、適正價格或ハ指定價格ヲ設

ケレバ宜イノデアリマスケレドモ、ソレヲ
シナイデ、數千萬圓ノ物資ヲ滯貨トシナケ
レバナラヌト云フコトニナリマスカラ、サ
ウ云フヤウナ關係カラ、モウ殆ド其ノ方ノ
產物ノ六七割マデモ取引サレシマツテ、
ソレカラ非常ニ周密ナ研究ヲ行ハレテ、結
局スル所、其ノ地方ダケデモ略式命令ノ爲
ニ罰金ダケデモ、約二十萬圓ト云フヤウニ
新聞ニ傳ハツテ居ルノデアリマス、是等ノ
コトハドウモ私ハ非常ニ困ツタ問題デハナ
イカ、斯様ニ思フノデアリマス、併シ私ハ
此ノ問題ニ付キマシテ、必ズシモモウ既ニ
過去ニ屬スルコトデアリマスカラ、此ノ檢
舉トカ或ハ其ノ當時ノ官廳ノ態度、徒ニ之
ヲ非難攻撃スル意味デハアリマセヌケレド
モ、斯ウシタ事例ヲ特ニ御參考ニシテ戴キ
マシテ、少クトモ防犯方面ニ付テモ、相當
街頭ニ進出致シテマデモ、御努力ヲ願ハン
ケレバナラヌト思フノデアリマス、更ニ斯
ウシタ事犯ガ偶々起キテ、其ノ他ノ大小ノ
統制違反ガ澤山起キル、サウナリマス、
ドウシテモ先程ノ大臣ノ御答辯トハ、大變違
フヤウナ傾向ヲ辿ツテ居リハセヌカト思フ、
少クトモ此ノ方面ニ於キマシテハ、誰モガ
大小ヲ問ハズ罰金ヲ食フ、サウスルト此ノ
方ノ業者ニ付テハ、罰金ヲ取ラレタ者ガ普
通ダト云フヤウナコトニナリマス、是デハ
困ツタコトダト思フノデアリマス、ソレデ
斯ウシタ經濟事犯ニ付テノ檢舉後ノ所謂法
ノ適用、法ノ運用ト云フ點デアリマスガ、
ソレニ付テ少シ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト
思フノデアリマス、此ノ失ハレタ法ノ威信
ハドウナルカ、ドウシテ取戻スカト云フコ
トニ付キマシテハ、私ハ結局スル所恩威並
ビ行フヨリ外ハオイト思フノデアリマス、

假ニ百人ノ違反デアリマシタ場合ニモ、ソ
レヲ何レモ僅カヅツノ罰金ヲ全部カラ一律
一體ニ取ル、丁度選舉ノ當時ニ、最初選舉
ノ嚴重ナル取締ヲシマシタ場合ニ、十圓貫
ヘバ一箇月、二十圓ノ場合ニハ二箇月ト、
警察ノ方デ算盤ヲ彈イタヤウニ出テ來ル、
是デハドウモ裁判モ何モアリハシナイ、サ
ウ云フヤウナ狀態デ大變困リマスノデ、實
情ニ即シテ——或ハ法制ニ付テハ十分ナ理
解ガナイ、或ハ誤解ニ依リ——新聞ヤ「ラ
デオ」ニ依ツテ斯様ナモノガ出テ居ルト云
フヤウナ場合、サウ云フヤウナ場合ニ付キ
マシテハ、所謂、反社會性ノ少イモノニ付
キマシテハ、十分ニ法ノ涙ヲ施シテヤル、
其ノ代リ外國ノ例等ヲ考ヘテ見マシテモ、
惡性ノモノニ對シテハ最高ノ嚴罰ニ處スル、
斯ウシタ方針ニ依ツテ恩威並ビ行ハナケレ
バ、法ノ威信ヲ保ツト云フコトハ非常ニ困
難デハナイカ、特ニ只今御參考ニ申上ゲマ
シタヤウナ事犯ノ起キマシタ地方ニ於キマ
シテ、特ニサウ云フ方面ニ付テ御注意ヲ願
ハヌト、或ハ今度ノ米穀問題、端境期等ニ
於キマスル米穀ノ供出ト云フヤウナ問題、
サウ云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、ガツ
チリト今カラ遵法精神ヲ十分ニ認識サセテ
置キマセヌト、或ハ由々シイ社會問題ガ起
キハセヌカト思フノデアリマス、之ニ付キ
マシテ當局カラ經濟事犯ノ處罰方法、或ハ
檢舉方法ト云フヤウナコトニ付キマシテ、
大體ノ御方針ヲ御示ヲ願ヒタイ

○木村國務大臣 只今ノ御意見ハ、現在司
法省トシテ執ツテ居リマス方針其ノ儘デア
リマスガ、私共モ遵法精神ノ涵養、隨テ經
濟統制ノ完全ナル運用ガ、單ニ刑罰ノ力ノ
ミヲ以テ行ヒ得ルトハ毫モ考ヘテ居リマセ
ヌ、只今御意見ニモアリマシタヤウニ、現
在ノ統制ノヤリ方ノ上ニ於テ、或ハ價格ノ
決メ方ニ於テ、或ハ配給機關ノ整備ノ點ニ
於テ、或ハ其ノ物資ノ配給ノ點ニ於テ、色
色ナ點ニ付テ兎ニ角私共ノ見ル所デモ頗ル
足ラナイ所、或ハ間違ッタ所ガアルヤウニ感
ジマス、隨テドウシテモ統制經濟ヲ滑カニ
スルノニハ、總テノ人ガ見テ、此ノ時勢デ
是位ノ所マデハ消費ノ制限、或ハ物資ノ配
給ノ程度、又價格ノ決メ方等、已ムヲ得ナ
イト思フ所ニ落著カナケレバ、唯刑罰ノ力
ノミヲ以テ、此ノ統制經濟ノ運用ヲ全ウス
ルト云フコトハ不能ダト、實ハ信ジテ居ル
ノデアリマス、隨ヒマシテ從來トモサウ云
フ點ニ氣附キマスレバ、私前地位ニ居リマ
シタ時モ、司法省ヲ通ジテ所管ノ官廳ノ方
ニ、實ハ意見ハ申上ゲテ來テ居ルノデアリ
マス、ソコデ大體ノ方針ト致シマシテモ、
御意見ノアリマシタヤウニ、全ク自分ノ營
業等ニハ關係ナク、物資配給ノ周圍ニ渦卷
イテ居ル奸商ト稱セラレル人、サウ云フ方面
ニ對シテハ徹底的ノ檢舉ヲ行ヒマスケレド
モ、ドウモ現在ノ經濟情勢、或ハ統制ノヤ
リ方等ヨリ見テ、ドウモ斯ウ云フ場合ニハ
已ムヲ得ナイト思フヤウナ場合ニハ、出來
ルダケ唯訓戒ニ止メテ、之ヲ起訴スルト云
フヤウナ方針ニハ出テ居ナイノデアリマス、
唯サウ云フコトハ屢々當局モ訓辭訓令等デ、
實際一線ノ取締ニ從事スル人ニ命令シテ居
リマスケレドモ、ヤハリ當局ノ思フ所ガ末梢
マデ届キマセズシテ、時ニ或ハ時々非難モ
聞イテ居ルノデアリマス、併シ司法省トシ
マシテハ、今御意見ノアツタヤウナ方針デ、
此ノ經濟事犯ノ統制ニ從ヒタイ、斯ウ云フ
考デ居リマス、只今御意見ノアリマシタ事

件モ、實ハ私二三日前報告ヲ受ケマシテ、ド
ウモ内容ガ少シ不明デアリマスカラ、特ニ
其ノ地方ノ長官ノ出京ヲ命ジテ居リマスガ、
マダ調査ガ出來マセヌカラ、能ク其ノ事情
ヲ聽キマシタ上デ、今申上ゲマスヤウナ方
針ニ基イテ、檢事局トシテハ處理ヲ致サセ
タイ、サウ云フ考デ居ル次第デアリマス
○南雲委員 能ク諒承致シマシタ、更ニ此
ノ問題ニ付テ一步進メテ御尋ヲ申上ゲタイ
ト思ヒマス、只今司法大臣ノ御述ニナリマ
シタヤウナ趣旨ニ於キマシテ、惡性ノ少イ
モノニ付テハ、十分ニソレニ對スル涙アル
處置ヲ執ラレル、此ノ點ハ大變結構デアリ
マスガ、其ノ反面ニ於テ、或ハ獨逸等ノ例
ヲ考慮シテ見マシテモ、惡性ノ經濟事犯、
統制違反ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、
更ニ——嚴罰ニ處スル必要ガアリハセヌカ
ト思フ、隨テ其ノ見地カラシマス、現在
ノ法規デハ刑ガ輕キニ失シハシナイカ、少
クトモ經濟事犯ノ惡性ノモノハ、寧ろ戰地
ニ於ケル場合ト殆ド同ジデアリマス、戰場
ニ於テ軍紀ヲ紊ス者以上ニモ考ヘラレルノ
デアリマス、サウ云フ者ニ付キマシテハ、
他戒ノ意味ヲ以テ嚴罰ニ處スル、斯ウ云フ
コトガ必要デヤナイカト思ヒマスガ、司法
當局ニ於キマシテハ、更ニ刑罰法規ノ改正
ニ付テノ御考ハ御持チニナツテ居リマスガ
ドウデスカ、其ノ點ノ御所見ヲ御伺致シマ
ス
○木村國務大臣 現在統制經濟ニ付キマシ
テハ、御承知ノ通り臨時措置法ト總動員法
ト二ツノ法律ヲ中心ニシテ、之ニ基イテ勅
令或ハ命令等ガ發セラレテ居リマスカラ、
御示ノヤウナ場合ハ、是等ノ法規ノ改正ト
云フヤウナコトニナルモノデヤナイカト想

像致シマス、尙ホ獨佛ノ統制經濟ニ對シマ
ス色々ノ處罰規定モ承知致シテ居リマスガ、
獨逸邊リハ昔カラ統制經濟ヲ行ツテ居リマ
シテ、平タイ言葉ヲ以テ申シマスレバ、統
制經濟ノヤリ方ガ多少板ニ付イテ居ルヤウ
ナ時代デアリマスニモ拘ラズ、所謂違反行
爲ヲヤリマス、之ニ非常ナ重キ刑罰法規
ヲ以テ臨ムト云フコトモ考ヘ得ラレルト思
ヒマスガ、現在ノ我國ノ狀況カラ見マスル
ト、兎ニ角自由經濟時代ガ突如トシテ統制
經濟時代ニ移ツタ、丁度移リ變リノ途中ニ
アルヤウニ私ハ觀察致シテ居リマスガ、此
ノ際又餘リニ重キ刑罰ヲ以テ之ニ臨ムト云
フコトハドウデアルカ、今總動員法ノ決メ
タ體刑ノ最長期位デ一時ヲツテ見テ、ドウ
シテモイカナイ時ニ更ニ考慮スルト云フコ
トガ、秩序ノ上カラ見テ相當デヤナイカト
モ考ヘテ居リマス、併シ將來ノ問題ト致シ
マシテハ、如何ニ國民ノ自肅自省ヲ求メテ
モ、中ニ惡イ人ガアル爲ニ、ソレニ引摺ラ
レテ、一般ガ中々自肅自省ガ出來ナイ、是
デハドウモイカナイト云フヤウナコトガ出
テ參リマシタラ、是ハ刑罰ヲ新ニスルト云
フヤウナコトモ起ツテ來ハシナイカト、實
ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯今ノ時代ト
致シマシテハ、統制經濟ノヤリ方自體ニ
禍根ガアリハシナイカト云フコトヲ考ヘテ
居リマスカラ、先ヅサウ云フ刑罰ヲ以テ臨
ム前提ト致シマシテハ、統制經濟ノヤリ方ニ
對シテ深甚ナ考慮ヲ拂ツテ見テ、サウシテ
イカナイ時ノ第二次ノ問題トシテ、御意見
ノアルヤウナ、刑罰ノ加重セラレタ法律ノ
制定ト云フコトニ行クベキモノデハナイカ、
現在ノ所デハ必ズサウ云フ氣持デ居リマス
カラ、ドウカ左様御諒承願ヒマス

○南雲委員 更ニ私ハ司法權ノ運用ニ付
テ、人ノ問題ヲ少シク御尋ラシタイト思ヒ
マス、司法當局ニ於キマシテハ、所謂司法
官ノ再教育問題ヲ御取上ゲニナツテ、數年
來實施サレテ居リマスガ、是ハ今日ヲ豫想サ
レタコトカドウカ存ジマセヌガ、結果ニ於
テ非常ニ時宜ヲ得タモノデアルト、敬意ヲ
表シテ居ルヤウナ次第デアリマス、所ガ半
面ニ於キマシテ、司法官ノ再教育ノ關係カ
ラ、非常ナ逆作用ヲ生ジテ居ルコトヲ御認
識ニナツテ居リマスカドウカ、ト申シマス
ノハ、是ハ言葉ヲ強ク申シマス、人權蹂躪
ノ聲ヲ絶ツ爲ニ司法官ノ再教育ヲ爲サレ
タ、此ノ制度ヲ始メラレタ所ガ、結果ニ於
テ、一方はマデ論ゼラレテ居ルヤウナ人權
蹂躪問題ハ、段々根絶シテ參リセウガ、其
ノ半面ニ於テ逆作用トシテノ人權蹂躪ガ起
ツタ、斯ウ申シマス、一寸御理解ガ困難カ
モ知レマセヌガ、具體的ニ申上ゲマス、
司法官ノ再教育ノ爲ニ、或ハ短キハ數日、長
キハ數箇月、東京ニ全國判檢事諸公ヲ召集
シマシテ、サウシテ色々ナ部門ニ付テノ再
教育ヲサレルヤウデアリマス、其ノ結果ト
シテ非常ニ事務ガ滯滞ヲ來シテ居ルト云フ
事實デアリマス、實ハ私ハ在來ノ人權蹂躪
問題ニ付キマシテハ、防犯或ハ檢舉ト云フ
ヤウナ見地カラシマシテ、當局ニ對シテ寧
ロ同情的ノ立場ヲ持ツテ居ツタ、所ガ此ノ
度ノ司法官再教育ニ依ツテ受ケル點ハ、是
ハマデトハ違ヒマシテ、人ノ數ノ問題デ
アリマスガ、是ハ何トカシナケレバナラス
困ツタコトダト思ツテ居リマス、是ハ中央
ニ於テハ色々ト人ノヤリ線ガ出來マセウ、
又大キイ裁判所管内ニ於キマシテハ、ヤリ
線ガ出來マセウクレドモ、地方裁判所デ三

人トカ四人トカ云フ、僅カナ判檢事シカ居
ラス所、或ハ特ニ一人二人ノ區裁判所方面
ニ於キマシテハ、人ノヤリ線ガ非常ニ困難
デアリマス、顯著ナ例ヲ私承知シテ居リマ
スガ、是ハ一々申上ゲマセヌ、例ヘバ豫密
判事ガ上京サレテ三月モ東京ニ居ラレル、
其ノ間ハ豫密事件ハ非常ニ滯滞スル、ソコ
デ今度監督判事デモ其ノ方ニ轉補シマシテ、
其ノ方ノ仕事ヲヤツテ貰フト云フコトニナ
ルト、今度ハ民事事件ガ滯滞スル、一口
ニ申シマス、東京ニ長イ間召集サレテ、
入レ代リ立チ代リ上京サレル爲ニ、民事事
件ノ審理ヲ非常ニ妨ゲマシテ、其ノ結果其
ノ方面ノ權益ヲ保護シテヤルコトガ出來ナ
イ、ソレカラ又刑事方面ニ於キマシテハ、
未決勾留期間ガ非常ニ長クナツテ居ル、是
ハ統計ヲ御調ニナレバ能ク分ル、特ニ之ヲ
地方別ニ御調ニナツテ見ルト、定員ノ少イ
裁判所ニ於キマシテハ、是ハ顯著ナ事實デ
アル、此ノ點ハ當局ニ於テ御認識ニナツテ
居リマスカドウデスカ、今ハ經濟違反等ノ
事犯ガ殖エテ、益々人手ガ多ク要ル時デア
ル、ソコヘ以テ來テ司法官再教育ヲシナケ
レバナラス、其ノ司法官再教育ハ、今後ト
モヨリ以上必要デアル、所ガ半面ニ於テ斯
ウ云フ逆作用ガアルガ、此ノ點ヲドウ云フ
風ニ御考ニナツテ居リマスカ

○本村國務大臣 只今仰セノ通り司法研究
所ニ入リマシテ、更ニ自己ノ識見其ノ他
足ラザル知識ヲ研究サセテ居リマスガ、其
ノ爲ニ仰セノヤウニ人員ノ少イ地方ニ於テ
ハ、或ハサウ云フ事象ガ生ジテハ居ナイカ
ト考ヘマス、殊ニ北海道、東北ノ如キハ、
一般ニ配置定員ガ少ウゴザイマスカラ、其
ノ中カラ多數ノ人ヲ長日間中央ニ召集シマ
スレバ、假ニ其ノ後ヲ地方ノ人數ノ比較的
多イ所カラヤツテ見マシテモ、ドウシテモ
自分ノ仕事デナイヤウナ氣持ガ致シマシテ、
仰シヤルヤウナ事務ノ滯滞ト云フコトモ、
起ツテ來ヤシナイカト云フコトモ考ヘテ居
リマス、サウ云フ關係モアリマスシ、殊ニ
經濟事犯ガ益々殖エテ來マスノデ、人員ノ點
ニ付テハ足ラズ勝チデアリマスカラ、成ベ
ク増員ノ計畫ヲ立テマシテ、サウ云フ場合
ニ應ジタイト思ヒマシテ、本年度ニ於キマ
シテモ、判事ガ豫密判事モ入レテ總計デ七
十九人、檢事ガ五十九人、合計百三十八人
ダケノ増員ヲ計畫致シマシテ、御協賛ヲ願
ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ只今
仰セニナツタコトハ、更ニ詳シク取調ベマ
シテ、人員ノ配置ノ少イ場所ニハ、或ハ地
方裁判所ノ方ニ豫備ノ判檢事ヲ配置シテ、
熟練ノ人ヲ人員ノ少イ區裁判所トカ、或ハ
支部トカニ配置シテ、多少板ニ付イタ所デ、
其ノ判事或ハ檢事ヲ研究所ニ呼ブトカ、何
等カソコノ所ハ全國的ニ見渡シテヤリマス
レバ、今仰セニナルヤウナ弊害ヲ除キ得ル
方途モアリハセヌカト考ヘテ居リマス、尙
ホ本年カラ司法研究所ニ入所サセルニ付テ
ハ、サウ云フ點ニ付テモ萬全ノ考慮ヲ拂ツ
テ見タイト考ヘテ居ルノデアリマス

○南雲委員 此ノ問題ハモウ差迫ツタ問題
デアリマスガ、必ズシモ再教育ノ方ハ、所
謂其ノ機關ノ方ニ入レテ、直チニ研究ヲサ
セナクテハナラヌト云フ程、急ナ問題デモ
アルマイト思フ、少クトモ檢舉或ハ審理等
ハ、現前ノ問題デアリマスカラ、適當ニ睨
合セテ直チニ實行ニ移シテ戴キタイト思フ
ノデアリマス、ソレカラ採用ヲスルニ付テ、
近頃辯護士ノ方カラ採用シテ居ルヤウデア

リマスガ、是非非常ニ結構ナコトデアルト
吾々モ考ヘテ居リマス、唯待調ガ餘リ宜シ
クナイ爲ニ、優秀ナ辯護士ヨリ採用スルコ
トガ非常ニ困難デハナイカ、而モ辯護士カ
ラ採用サレク司法官ハ、相當ノ成績ヲ擧
テ居ルヤウデアリマス、デアリマスカラ採
用ニ付キマシテモ、出來ル限り條件ヲ良ク
シテヤリマシタナラバ、更ニ優秀ナ人ヲ得
テ増員ガ出來ハセヌカ、一般的ノ司法官ノ
待遇問題ニ付テハ、國家的見地カラ當局ト
シテハ十分ニ御研究ニナラナケレバナラヌ
ト思ヒマスガ、當面ノ増員ノ問題ニ於キマ
シテモ、其ノ點ハ特ニ御研究ニナツテ戴カ
ヌト、折角辯護士カラ採用スルニシマシテ
モ、優秀ナ者ヲ得ルコトハ困難デハナイカ
ト思ヒマスガ、斯ウデフ點ニ付テノ御所見
ハ如何デアリマスカ

○木村國務大臣 辯護士ノ方カラ人ヲ採ル
時分ニ、辯護士會ノ優秀ナ人ガ得ラレヌト
云フコトハ、私共非常ニ遺憾トシテ居ル點
デアリマスガ、此ノ問題ハ、一般ノ判檢事ノ
待遇ヲ是正スルコトガ、先決問題デアルト思
ヒマス、併シ現在ノ制度ノ上ニ於テ、辯護士
カラ判事或ハ檢事ニ採ル際ニ於テハ、大概辯
護士ノ御方モ第一回ノ試験ヲ受ケテ御入りニ
ナツテ居リマスカラ、ヤハリ裁判所ニ第一回
ノ試験ヲ受ケテ入りマシタ者トノ權衡等ヲ見
テ採用シテ居ルダラウ、是ハ私調ベテ居リマ
セヌカラ知リマセヌガ、サウ云フ風ニ感じ
テ居リマスガ、會テ私ガ司法省ニ居リマシタ
時分ニハ、常ニ第何期生、サウスルト司法部
ニ入ツテ居ル誰ノ「クラス」ノ人デアルト云
フコトヲ大體中心トシテ、辯護士カラノ採
用ニ當ツテ其ノ俸給等ヲ決メテ居リマシタ
ガ、現在ドウナツテ居ルカ深く承知致シマ

セヌ、又時ニ依ルト、五十近イヤウナオ方
デ御希望ニナルヤウナコトガアリマスガ、
サウ云フ場合ニハ、ドウモ第一回ノ試験ト
カ、年數ヲ標準ニスルト云フヤウニ行カヌ
場合モアリ得ルト存ジマスガ、尙ホ將來採
用ノ場合ニ於テハ、ソレ等ノ點ニ付テモ適
當ニ考ヘテ見タイト思ヒマス

○南雲委員 待遇問題ガ出マシタノデ、此
ノ機會ニ少シク地方問題ニ涉ルカモ知レマ
セヌガ、北海道、沖繩縣ノ如キ、特殊事情
ノアル地方ノ司法官ノ待遇ニ付テ御尋ヲシ
タイノデアリマス、實ハ沖繩縣ニ付テハ詳
シク調査シテ居リマセヌガ、北海道ニ付テ
ハ私特ニ數年來考ヘテ居リマス、北海道ノ
司法官ニ付テハ内地ノ——内地ト申シマシ
テモ、正當ナ意味ノ内地デハアリマセヌガ、
各府縣ニ比ベテ全然待遇ガ同ジデアリマス、
然ルニ實際ノ狀況カラ致シマス、非常ニ
物價ガ高く、特ニ冬ニナリマス、薪炭費
バカリデモ一箇月デニ三十圓モ違ヒマス、
サウ云フヤウナ狀態デ、非常ニ生活ガ困難
デアリマス、ソレカラ更ニサウ云フヤウナ
狀況ニ置カレテ居ル司法官ノ轉任異動等ニ
付テ私ガ見テ居リマス、非常ニ困難ガ伴
ツテ居ルノデアリマス、特ニ上長官ト特
殊ノ關係ニアル方ハ、相當優秀ナル人デモ、
サウ云フ地方ニ參ルノデアリマスガ、サウ
云フ優秀ナ方ハ地方ニ參ルト、直又所謂
内地ニ歸ツテ來ラレ、ソレデアアルカラ中
中人ヲ得ルニ困難デアリマス、而モ私ハ所
謂内地ノ方ノ人ヲ北海道ノ方ニ採用スルニ
付テハ、頭カラ官等俸給ヲ引上ゲテ轉任サ
セル狀況ノアルコトヲ聞イテ居ルノデアリ
マスガ、是ハ宜シクナイト思ヒマス、ナゼ
カト申スト、官等ヲ不合理ニ引上ゲテ、サウ

シク地方ヘ轉任サセマス、今度ハ其ノ大
半ハ内地ニ進出スル希望ヲ失ツテシマヒ、
又進出シヨウトシテモ、引下ゲテ連レテ來
ル譯ニハ行カヌノデ、一寸困難デアリマス、
サウスルトドウシテモ實質的ニサウデナク
テモ、同ジ司法官ノ中ニモ、何トナク差別
ガ付ケラレルヤウナ傾向ニナルコトハ宜シ
クナイト思フ、併シ實情カラ考ヘテ見ルト、
氣候ハ非常ニ惡イシ、生活費ハ非常ニ高
イ、然ルニ待遇ハ同ジコトデアアル、斯ウナル
ト優秀ナ人ハ成ベク行キタガラナイノモ餘
儀ナイコトデアリマス、ソコデ其ノ間ノ調和
ヲ圖ル爲ニ、北海道、沖繩縣ノ如キニ於テハ、
特別ノ手当ヲ支給スル方法ヲ御採リニナツ
テハドウカ、旭川ノ師團ニ於テハ、別ニ植
民地デモナク、外地デモナイガ、特別ノ手
當ヲ給シテ居ル、隨テ司法官ニ付テモ其ノ
途ヲ開イタラドウカ、サウナルト一般行政官
ニモ影響シテ參リマスガ、一般行政官ハ轉
任其ノ他ニ付テ司法官トハ全然條件ガ違ヒ
マス、隨ヒマシテ司法官ニ付テハ、特ニ其
ノ職責ノ關係等ヲ考慮サレテ、特ニ其ノ途
ヲ至急開イテハドウカト云フ考ヲ、私數年
來持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ
當局ハ如何様ニ御考ニナツテ居リマセウカ

○木村國務大臣 司法省ト致シマシテモ、
東北、北海道ト、其ノ他ノ地方トノ人事ノ
交流ニ付テハ、常ニ苦心ヲ重ネテ居ルヤウ
ナ次第デアリマス、北海道或ハ東北等邊鄙
ナ所ノ司法官ニ、特別ノ手当ヲ與ヘタラド
ウカト云フ御意見ハ、確ニ考慮スベキ問題
ダト思ヒマスガ、只今御話ノアリマシタヤ
ウニ、行政官トノ鈞合カラ見テ、其ノ實現
ハ中々困難デハナイカト實ハ考ヘテ居リマ
ス、マア行政官ノ方カラ申スト、司法官ハ

兎ニ角獨立官デアアル、其ノ上ニ自分等ト違
ツテ手当ヲ取ルノハ怪シカラヌデハナイカ
ト云フ、向フハ向フノ立場トシテノ議論ガ
アリマセウシ、サウスルト政府全般トシテ
考ヘテ、司法官ニダケ特別ニ手当ヲ給スル
ト云フヤウナコトハ、餘程考ヘテ見マセヌ
ト、直チニ之ヲ實行ニ移スト云フコトハ、
餘程困難ナ事情ガソコニアリハシナイカト
想像シテ居リマス、無論薪炭等ニ付テノ手
當等ノコトハ、是ハ考ヘ得ラレルカモ知レ
マセヌケレドモ、是モ實ハ行政官ト同様ノ
關係ガ起リマスシ、現在司法省トシマシテ
ハ、從來ハ賞與ノ點デ、薪炭等ノ方面ハ多
少救済ヲシテ參ツタヤウナ狀態デアリマス
ガ、其ノ他吏道關係等中々獨立ノ司法官ヲ
動カス上ニハ、ソコニ困難ガ存在シテ居リ
マスガ、カト云ツテ司法官ノ獨立性ト云フコ
トハ、何處マデモ尊重シナケレバナラヌシ、
其ノ向上ニ付テハ特別ノ苦心ガアルノデア
リマス、御意見ノ點モアリマシタカラ、何
トカ其ノ間ニ窮通ノ途ガアリマスレバ結構
ト思ヒマスカラ、何トカソレ等ノ點ニ付テ
ハ、深イ考慮ヲ加ヘテ見タイト考ヘテ居リ
マス

○南雲委員 今ノ問題ニ付キマシテハ、私モ
特別手当ト云フコトハ、非常ニ技術的ニ困
難デハナイカト云フコトハ考ヘテ居リマス
ガ、行政官ト司法官ハ根本的ニ任免ニ付テ
違ヒマス、此ノ點ヲ考慮サレテ、或ハ強イ
意味デ、此ノ實現ニ邁進シヨウト云フ御決
心ガオアリニナレバ、必ズシモ不可能ノコ
トハナイト思フノデアリマス、少クトモ
此ノ問題ハ、實際問題トシテ司法大臣ハ能
ク御存ジノ筈デ、人事ノ交流ト云フコトニ
付テハ、非常ニ御苦心ノアルコトト私考ヘ

テ居リマス、隨テ直チニ是ガ實現ガ困難デアルト云フコトデアリマスレバ、只今申上ダクヤウナ一二ノ例等ヲ十分御研究ヲ願ヒマシテ、交流ニ付テ善處セラレタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ機會ニ私陪審制度ニ付テ少シク御所見ヲ質シタイト思ヒマスガ、極ク簡單ニ御質問申上ゲマス、實ハ我國ノ陪審制度ニ付キマシテハ、司法大臣ハ專門家デアリマスカラ、私細カイコトハ申上ゲマセスガ、私共考ヘル所ニ依リマス、憲法ノ關係カラシマシテ、生レナガラノ畸形兒ト云フ風ニ考ヘテ居ツタ果セルカナ實施ノ結果ヲ見マスト非常ニ成績ハ宜シクナイ、最初ハ新シイモノニ飛付クト云フヤウナ關係モアリマセウ、全國デ昭和四年度ニ於キマシテハ百四十三件モ審理ヲサレテ居ル、ソレガ順次減ツテ參リマシテ、昭和十三年度ニ於キマシテハ、全國デタツタ四件、ソレカラ昭和十四年度ニ於キマシテモ全國デ四件、而モ十三年、十四年ノ陪審裁判ノ合計八件ハ、全部有罪或ハ更新、斯ウ云フ狀態デアリマシテ、此ノ實績カラ考ヘマス、非常ニ成績ガ舉ツテ居ラスヤウデアリマス、而モ陪審裁判ニ要スル經費ハ、毎年相當額計上サレテ居ルガ、實際ニ於テハ殆ド裁判ヲヤツテ居ラス、陪審豫算ハ裁判所ノ椅子ニナツタリ、机ニナツタリシテ居ルト云フ關係ガアル、尤モ裁判所ノ豫算ガ少ナイヤウデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ナイカモ知レマセスガ、一種ノ闇取引デアル、サウ云フヤウナ狀態デアリマシテ、斯ウ云フヤウナ點カラ、各國ノ例等モ考ヘテ見マシテモ、此ノ陪審裁判ハ我國デハ大分遲レテ來タモノデ、我國デ陪審裁判ガ出來ル頃ハ、私ノノ知ツテ居ル範圍ニ於キマシテハ、各國トモ陪審裁判ガ

段々再審制度、三審制度、或ハ起訴陪審ト云フヤウニ移轉シテ參ツテ居ル時代ニ我國ガ其ノ後ヲ追駈ケテ、陪審裁判ヲ拵ヘタト云フヤウナ狀態デアル、各國ノ例ヲ取ツテ見マシテモ、近頃ハ或ハ陪審裁判ヲ廢メルトカ、再審制度ニナルトカ、或ハ三審制度ニナルト云フ風デ、我國ト同ジヤウナ陪審制度ヲヤツテ居ル國ハナイ、我國デハ壤地利ノ陪審ヲ眞似タヤウデアリマスガ、少クトモ我國ノ陪審制度ノ實績ヲ考ヘ、根本的ノ陪審制度ニ於テ、最初カラノ議論等ヲ考ヘテ見マス、寧ロ斯様ナモノハ根本的ニ廢シテシマツタラドウカ、或ハ又根本的ニ改善スルカ、其ノ何レカノ途ヲ考ヘナケレバ、殆ド無用ノ長物ニナツテ來テ居ハシナイカ、殆ド現在トシマス、陪審員ノ選定抽籤、其ノコトダケニ相當ノ費用ヲ使ツテ居ル、市町村ノ役場等ニ於キマシテモ、色色ナ事務ガ非常ニ多端ニナツテ參ツテ居リマス、ソコヘ持ツテ來テ、殆ド裁判ヲシナイノニ、相當ノ勞力、相當ノ費用、或ハ紙サウシタモノヲ使ツテ、唯無用ナ陪審員ノ選定、抽籤等ヲ毎年繰返シテ居ル、是ハ國家經濟ノ上カラシマシテモ、非常ニ無駄ナコトデハナイカト思フ、果シテ之ヲ存置シテ置クトシマシタナラバ、根本的ニ改正ヲシナクテハナラスデハナイカ、若シソレモ日本ノ憲法ノ建前カラ出來ナイト云フコトナラバ、寧ロ斷然ハ廢止シテ然レベキモノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、司法大臣ハ如何様ニ御考ニナツテ居リマスカ

○木村國務大臣 陪審制度ノ點ニ付テ、陪審事件ガ最近非常ニ少クナツテ來タト云フ御意見ハ、確ニサウデアリマス、隨テ此ノ陪審制度ガ、我が國情民族ニ果シテ適シタモノデアツタカドウカト云フコトハ、是ハ更ニ今一度考ヘテ見テ宜イ問題カトモ思ヒマス、殊ニ只今御話ニナリマシタ獨逸アタリノ三審制度、所謂裁判官ノ中ニ私人ガ入ツテ、共ニ裁判ヲスルト云フ制度ナラバ、我が民族國情ニモ或ハ合致シハシナイカト云フヤウナ氣持モ致シマスガ、獨逸アタリデ採用シテ居リマスヤウナ三審制度ニ付テハ、一寸御意見ニモアリマシタヤウニ、果シテ日本ノ憲法上之ヲ許スカドウカト云フコトニ付テ、解釋上非常ニ疑義ガアルノデアリマス、ソレデモウ世界ノ或國ハ陪審制度ハ廢メテ、三審制度ニ移ツテ來テ居ル、又何處ニモ輿論ト致シマシテハ、陪審制度ヨリモ三審制度ノ方ガ宜クハナイカト云フ議論ヲ、強ク主張サレテ居ルト云フコトモ承知シテ居リマス、隨テ何カ憲法ニ牴觸セズシテ、三審制度ノヤウナ妙ヲ發揮スル方法ハナイカト云フコトニ付テハ、司法省ト雖モ、目下サウ云フ點ニ付テモ、ヤハリ色色調査ヲ實ハ續ケテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ今直チニ此ノ陪審制度ヲ廢止シテ、三審制度ニスルトカ云フヤウナコトヲ、直チニ今御答スル立場ニ居リマセスガ、ドウセ日本ニ沿革的ニ成立シテ居マセヌ陪審制度デアリマスカラ、是等ニ國民ガ習熟スルノニハ、多少ヤハリ長キ期間ヲ要スルノデヤナイカト云フ考ヘ方モ、亦一方ニ立ツデヤナイカト考ヘテ居リマス、ソレデ現在刑事裁判ニ一般ノ私人ガ關與スルト云フコトハ、是ヨリ以外ニアリマセス、又御示シノヤウナ、ナンダカ無駄ノコトヲシテ居ルヤウデアリマスケレドモ、此ノ制度ノ存在スルコト自體ガ、國民ガヤハリ刑事裁判ノ

一部ニ、兎ニ角參與シ得ルト云フ氣持モ、亦無下ニ之ヲ排斥スベキモノデヤナイカトモ考ヘテ居リマス、サウ云フ色々ノコトガ考慮サレマスノデ、尙ホ是等ノ問題ニ付テハ外國ノ立法、及ビ其ノ外國ノ立法ガ日本ノ國情、民情ノ上カラ見テ、果シテドシナモノデアルカ、ソレ等ノ點モ引續イテ研究ヲ續ケテ見タイト思ツテ居リマスガ、現在ニ於キマシテハ、只今申シマシタ位ノ意見以外ニ持ツテ居リマセス、ドウカ左様御諒承願ヒマス

○南雲委員 此ノ問題ハ相當大キナ問題デアリマスノデ、當局ニ於キマシテモ御研究ニナツテ居ルト云フコトハ仄聞致シテ居リマス、併シ私モ只今申上ゲマシタヤウナ意見ヲ持ツテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、直チニ此處デソレ以上ノコトヲ言明サレルト云フコトハ、ソレハ勿論不可能ナコトデアリマセウ、併シナガラ問題ハ相當考ヘナクテハナラス問題デハナイカト思ヒマス、十二分ニ御研究ノ上ニ廢止スルカ、改善スルカ、何レカニ付テ、至急其ノ結論ヲ見出スヤウニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ司法大臣ニ對スル質問ハ、此ノ程度デ打切りマス

○古屋委員長 中野君

○中野治介君 私極ク簡單ニ御質問申上ゲマス、昨年實ハ裁判所構成法中改正法律案ト致シマシテ、一定ノ年限ヲ經マシタ書記ニ、公證人タル資格ヲ與ヘテ戴キタイト云フコトヲ出シマシタト同時ニ、今回各裁判所檢察局ノ現今ノ監督書記ヲ書記長ニスル、是ハ建議案デ出シタ方ガ宜カラウト云フ、司法當局ノ御意見デアリマシタカラ、徒ニ司法當局ヲ煩ハシ、議會ヲ煩ハシマシテモ

效果ノナイト云フコトヲ考ヘマシタカラ、監督書記ヲ書記長ニスル方ハ建議案トシ、ソレカラ一定ノ年限ノ書記ヲ、公證人ニ採用ノ出來ルヤウニ法律案デ出シタノデアリマスルガ、今回ハソレガ反對ニナリマシテ、檢事局裁判所ノ監督書記ヲ書記長ニスルト云フ方ガ、政府ノ提案トシテ出タノデアリマスルガ、是ハ何レニ致シマシテモ、私トシテ洵ニ喜バシイ次第デアリマス、昨年司法當局ノ方ノ御意見ト致シマシテモ、一定ノ年限ノ書記ヲ公證人ニ採用スルト云フコトハ、是ハ至當ナコトデアラウ、是ハ寧ロ法律案トシテ出サレタ方ガ宜イダラウト云フノデアリタノデアリマスガ、同じ改正法ナラバ、ソレ等ヲ併セテ出サレマシタナラバドウダラウカト思ヒマス、一方ハ豫算ニモ關係致シマスルヤナウコトデ、昨年建議案トシテ出シタ宜カラウト云フコトデ、其ノ御意見ノ骨子モソコニアツタコト思ヒマスルガ、一定ノ年限ノ書記ヲ公證人ニスルト云フコトハ、豫算ニモ何モ關係ノゴザイマセヌコトデ、而モ實際問題ト致シマシテ、公證人ノ居ラザル地方デハ、書記ガ實際ノ事務ヲ執ツテ居リマスルコトハ、是ハ法律上サウナツテ居ルノデアリマシテ、而シテ今日マデ一ノ缺點ガナイノデアリマス、專門ノ公證人ノ方デハ、私ノ知ル所デハ、若干ノ過チノアツタコトヲ遺憾トシテ居ルノデアリマスルガ、書記ハ今日マデ公證事務ヲ執リ來ツテ居ルニモ拘ラズ、之ニ付キマシテハ一ツノ缺點ガナイノデアリマス、詰リ試験濟ニナツテ居ル、是ガ一定ノ年限ノ書記ヲ公證人ニセシメタイト云フ理由ノ一ツデアリマスルガ、今一ツハ、公平ノ見地、又社會思想ノヤカマシイ今日ニ於キマシテ、現

狀ノ姿ハ多クハ高位高官、大抵ハ勅任官デアル所ノ所長、檢事正ガ辭メマシテ、サウシテ非常ニ高イ恩給ヲ取ラレ、是ガ大抵樞要ノ地位ノ公證人ニナツテ居ル、或ハ東京トカ、大阪トカ、廣島トカ、其ノ他非常ニ實入ノ宜イ都市ノ公證人ニナツテ居ルノデアリマス、私ハ是ハ社會問題トシテ非常ニ宜クナイコトダト思フ、私ハ曾テ或ル所長、檢事正ヲ辭メラレタ方ニ向ツテ、自分ノ卑見ヲ述ベタノデアリマスルガ、由來此ノ所長、檢事正ノ人ハ辭メテ、野ニ下ツテ一體何ヲシテ居ルカト云フト、恩給ヲ取ツテ何モ社會的事業ヲヤツテ居ナイ、斯ウ云フコトハ國ノ一流ノ人ガ一線ニ立ツテ、サウシテ野ヲ指導シテ行クト云フ標本ヲ示サナクデハナラヌト思フ、在官當時表面ノ理窟バカリ言ウテ居タ者ガ、野ニ下ツテサウ云フ體タラクデハ、非常ナ害惡ヲ流シコソスレ、洵ニ國家ノ爲ニ憂フベキコトデアルト云フコトヲ私ハ申シマシテ、其ノ方ガ野ニ下ツテ、小サナ部落ノ懇談會等ニ臨マレルト云フコトデアリマスカラ、是ハ非常ニ宜イコトダ、アナタハソナ所ニ出テ、何モ言ハヌデモ宜イ、アナタガ出ルコト自體ガ生キタ訓戒デアルカラ、却テアナタガ彼此レ言フヨリハ、言ハヌ方ガ寧ロ宜イ、洵ニサウ云フコトハ有難イコトダト私ハ言ウタコトガアリマスガ、一體サウ云フコトヲシテ居ラレル所ノ方ハ殆ドナイと言ツテ宜イ、詰リ大海ノ一滴ノ水位ナ僅ナ人ハアリマセウケレドモ、殆ド所長、檢事正ヲ辭メタ人ハ、野ニ下ツテ遊ンデ居レバマダ宜イ、ソレガ死際マデモ儲ケルト云フヤウナヤリ方デヤツテ呉レテハ、ソレハ堪ツタモノデハナイ、所ガ一面低給ナ書記階級ヲ眺メテ

見マス、行ク所ガナイ、マア今回書記長ト云フ途ヲ御與ヘ下サルノデ、ソレダケハ進ム途ハアルノデアリマスケドレモ、ソレガナイ今日マデノ現狀ト云フモノハ、書記ヨリモ上ニ昇ルコトハ絕對ニ出來ナイ、所ガ實際ノ仕事ハドウカト云フト、所長、檢事正ガ野ニ下ツテ公證人ヲヤルヨリハ、書記ガ辭メテ公證人ヲヤル方ガ實績ガ舉ガルト思フ、ソレハ私ハ常識デ判斷出來ル、サウシテ彼等ニサウ云フ途ヲ開イテヤルト云フコトハ、將來性ヲ與ヘルコトニナルノデアリマスカラ、其ノ書記ノ勤勉向上ト云フコトニ付テ、如何バカリノ效果ガアルカト云フコトハ、之ヲ想像スルニ餘リアル次第デアリマス、ソコデ私ハ希クハ所長、檢事正ノヤウナ者ハモウ今日ノ實際カラ云ヘバ、モウ所長、檢事正デ先キガアリマセヌカラ、最後ノ慰安ト申シマセウカ、所長、檢事正ニナルト云フト、餘リ仕事ヲセラレヌノデ、アツチヘ出張、コツチヘ出張ト云フ風デ、マア最後ノ慰安ノ場所見タノイニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレガ又辭メテ更ニ筆ヲ取ツテ代書人ノ氣ノ利イタヤウナ商賣ヲスルト云フヤウナコトデハ、社會カラ今マデ高位高官トシテ裁判官ニ對シテ拂ツテ居ル所ノ敬意、此ノ敬意ト云フモノハ一遍ニ消散シテシマフ、斯ウ云フコトモ憂フルノデアリマス、ソコデ書記ヲシテ一定ノ年限働イタ者ヲ公證人トセラレ、サウシテ所長、檢事正其ノ他高イ俸給ヲ取ツテ居ツタト云フヤウナ人ハ我慢ヲシテ貰フト云フ、途ヲ開イテ戴クコトガ出來マセヌカ、其ノ點ノ御當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○木村國務大臣 書記ノ現在ノ狀況ニ對シテ、深甚ナル御同情ヲ戴キマシテ有難ウゴザイマス、書記ノ優遇ニ付キマシテハ、司法省多年ノ問題デ、今回先ヅ五十一名ダケ奏任官ニナリ得ル途ヲ開クコトニ致シマシテ、御協賛ヲ御願シテ居ル次第デアリマス、尙ホ書記ヲ公證人ニ採用シテハドウカト云フ御議論ハ、一應ノ御議論トシテ拜聽致シマシタガ、又此ノ公證事務ト云フコトヲ本氣ニ考ヘマス、可ナリニ是重要ナ事務デアリマシテ、現在ノ公證人ノ規定ニ於キマシテモ、判事、檢事或ハ辯護士デアツタ人デナケレバ、公證人ニシテハイカヌト書イテアルヤウデアリマス、果シテ現在ノ公證人ノ職務執行ノ狀態ガ、法律ノ希望スル方ニ動イテ居ルカドウカ、其ノ方ノコトハ今日ニ於テ私マダ深く知リマセヌカラ、何トモ申上ガ難イノデアリマスガ、唯抽象的ニ、公證人ノ職務ハ殆ド裁判ニ比スル程ノ重要ナ職務デアルベキ筈デアリ、又サウナラベナラヌト云フコトヲ考ヘマスルト、ヤハリ公證人ニナル人ニ於テハ、法上一定ノ資格ヲドウシテモ必要トスルコトニナリハセヌカト、今ノ所デハ考ヘテ居リマス、併シ將來裁判事務ノ方ニモ、或ハ判事補トカ檢事補トカ云フ制度ガ出來ルヤウナ機運ニナリマスレバ、又書記ヲシテ公證人ノ地位ニ當ラシメル、ソレニハ或ハ又特別ノ試験等ノ制度ヲ設ケルコトモ考ヘル餘地ハ、十分ニアルト存ジマス、私ハ寧ロ公證事務ヲモウ少シ法ノ要求スル所マデ引上ゲテ行クコトガ、司法當局トシテ將來最モ考慮スベキ問題デハナイカト思ヒマス、私マダ就任シテ直グデアリマスカラ、色々ト事情ヲ調べタ上デナイト何トモ申上ゲラレマセヌガ、現在ノ所デハサウ云フ考ヲ抱イテ居リマス、隨ヒマシテ書記ノ優遇ニ付テノ深

甚ナ御同情ニ付テハ非常ニ感謝シマスト共ニ、書記ノ優遇ノ方面ニ付テ、別途ノ方法ニ於テ、更ニ考慮シテ見タイト云フ考ヲ實ハ持ツテ居ルノデアリマス、只今申シマシタヤウニ、檢事補、判事補ノ問題モ、書記ノ優遇ノ方面ト共ニ考ヘ、又些細ナ事務ヲ何モ判事、檢事ヲ以テ取扱ハシメナイデモ宜クハナイカ、サウ云フヤウナ考慮モ加ヘマシテ、書記ノ優遇問題ニ付テモ、將來尙ホ檢討シテ見タイト考ヘテ居リマス、現在ノ意見トシマシテハ、御趣旨ノアル所ハ尙ホ考慮ヲ加ヘル考ヲ持ツテ居リマスコトヲ、ドウカ御諒承願ヒマス

○中野治介君 事實ハ何ト致シマシテモ尊重シナケレバナライ、公證人法施行以來、今日マデ何十年間ノ實際ノ事實ハドウデアリカト云ヘバ、公證人本人ガ本當ニヤツテハ居ナイノデアリマス、月給ヲ拂ツタ書記ガヤツテ居ルノデアリマス、是デ弊害ガナクヤレルノデアリマス、ソレカラ又裁判所ノ中ノ實際ノ仕事ヲ考ヘマシテモ、法廷事務ハ固ヨリ判事ガヤツテ居リマスガ、法廷ニ直接關係ノナイ裁判事務ハ書記、雇ガヤツテ居ル、私モ實ハ永ラク雇ヲシ書記ヲシテ居ツタノデアリマスカラ、樂屋ノコトハ承知シテ居ルノデアリマス、私共雇ノ時カラ支拂命令ヤ、貸出命令等、判事ノヤル仕事ヲ自分ガヤツテ、唯署名トカ捺印ヲ戴キマシテ、何千件ト云フモノヲヤツテ居ルノデアリマス、今日デモ地方裁判所ノ法廷外ノサウシタ非訟事件ハ、書記、雇ガ皆ヤツテ居ルダラウト思フノデアリマス、公證人ノ事務固ヨリサウデアリマスカラ、此ノ事實ハ今司法大臣ノ理想論カラ云ヘバ、法ノ命ズルヤウナコトガ願ハシイト云フ御議論デアリ

マスケレドモ、何十年ノ經驗濟ミノコトデアリマスカラ、此ノ事實ヲ尊重致シマシテ、安上リナヤウニスル、サウシテ社會的ニ非常ナ優遇ヲ受ケタ者ヲ、尙ホ優遇シナケレバナラヌ方法ヲ執ルヨリハ、上ル途ノナイ書記ノ塞イダ道ヲ切開イテヤルコトヲ考ヘマシテ、之ニ公證人ノ地位ヲ與ヘルコトニナレバ、一石二鳥ノ效果ガアリハセスカト考ヘマス、之ニ對シテハ御答辯ハ戴カナクテモ宜シウゴザイマスガ、私ノ永年ノ經驗カラ致シマスルト、サウシタ方ガ宜シイダラウト考ヘマスカラ、更ニ御檢討ヲ煩ハシタイノデアリマス、先刻南雲君カラ憲法ノ精神ニ付テ色々御話ガアリマシタガ、判檢事ハ所謂司法ノ國政ニ立ツテ人ヲ「リード」シナケレバナラス、人ヲ責メル立場ニ居ルノデアリマスカラ、先ヅ人ヲ責メントスル者ハ、自ラガ其ノ責任ヲ考ヘナクテハナラス、先ニ色々司法省ノ理想ヲ御述ニナリマシタガ、此ノ理想ヲ述ベル人ハ、述ベル人自身ガ所謂理想ノ本當ノ持主デナケレバナラスコトハ、申スマデモナイコトデアリマス、繪ニ描イタ餅ノ如ク、理想ヲ述ベルダケデハ何ノ役ニモ立タナイコトハ、申スマデモナイコトデアリマス、サウスレバ判檢事諸公ガ實際遵法シテ居ラレカドウカ、國民ガ裁判官ニ對シマシテ絶大ナ敬意ヲ拂フニ恥シカラヌ遵法ヲ、ヤツテ居ラツシヤルカト云フコトヲ考ヘテ見タ時ニ、一番ヤカマシイノハ人權蹂躪デアリマス、人權蹂躪ハ積極的ナモノト消極的ナ、所謂合法的人權蹂躪トノ二ツガアルノデアリマス、警察官ノ積極的ノ人權蹂躪ト共ニ、判檢事諸公ニハ合法的、消極的ノ人權蹂躪ガ多イト思フノデアリマス、ソレハ一番人民トシテ苦痛ニ考

ヘマスル勾留ノデアリマス、勾留ハ言フマデモナク刑事訴訟法ニ、勾留ノ法定原因ガ示シテアルノデアリマシテ、其ノ中デ一番重大ニ考ヘテ居ルノハ逃亡ト證據湮滅デアアル、是ハ檢事ノ請求ニ依ツテ多クヤルノデアリマスガ、昨年私ハ委員會デ司法當局ニ御尋シタノハ、檢事ガ勾留ノ請求ヲセラレマシテ、一件デモ之ヲ却下シタ例ガアルダラウカト云フコトデアツタ、是ハサウアラウトハ思ハレマスマイ、サウスレバ悉ク其ノ法ノ求メテ居ル法定原因ガアルモノニ對シテハ勾留デアツタカドウカト考ヘテ見タ時ニ、ザツクバラシニ考ヘマスレバ、素人ニモ分ル話デアアル、アノ何千件、何万件ト勾留サレタ人ノ中デハ、多分ニ社會的ノ地位カラ考ヘ逃亡ノ虞ノナイ人ガアル、又自白ラシ、周圍ノ觀點カラ致シマシテ、證據湮滅ノ疑ノ全然ナイ、常識カラ考ヘテモサウ考ヘラレル者ガ非常ニ多イノデアリマス、殊ニ吾々ノ如ク在野法曹ノ人トシテ、サウ云フ實例ニ非常ニ遭遇シテ居ル者カラ見テ嘆カハシイ程、法定原因ニピツタリ來テ居ナイ者ヲ勾留セラレル、所ガ斯ウシタ眞面目ナ席デ色々應答致シマス、洵ニ意ニ滿タナイ御返事ヲ戴ク、私共ハ國家ノ爲ニ憂ヘルノデアリマス、私ハ茲ニ新司法大臣ニナラレタ現司法大臣ニ、其ガ點ニ關スル御感想ヲ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、人間ノコトデアリマスカラ過ガナイトハ言ヘナイ、誤ツテシタ過ヲ再ビシナイコトニ努力シナケレバナラナイ、今申シマスヤウニ、勾留シテナラス者ヲ勾留シタリ、或ハ勾留スベキ原因ガアツテ勾留シタダガ、其ノ法定原因ガ無クナツタナラバ、之ヲ取消スコトニ法ハ命ジテ

居ル、所ガ此ノ取消ト云フコトニ付キマシテ、今マデ實際ノ例ガアルカト云フコトヲ昨年御尋シタノデアリマスガ、其ノ件數ハ示スコトハ出來ヌガ、多クハナイト云フコトデアツタ、多クハナイデバナナイ、私ハ殆ドナイト思フ、昨年大審院デハ勾留ヲ取消シタ、國民ハ異數デアアルト云フ風ニ新聞ニハ出テ居ルノデアリマスガ、國民ガ之ヲ異數トシテ魂消ルト云フヤウナコトハ、實ニ私ハ此ノ法ヲ前ニ置イデ考ヘタ時ニ、憲法精神涵養ヲ叫ブ今日は司法當局ノ一大恥辱ダト私ハ思フ、其ノ點ニ對スル御感想ト、將來ハ成ベク解釋ヲ願ハナケレバ、解釋ヲシナイト云フヤウナコトハシナイヤウニ願ヒタイ、解釋ヲ致サレザルコトニ付テノ苦痛ハ、オ役人ノ方デハ、本當ノ心事ハ私ハ分ラヌト思フ、人民ト致シマスレバ、アノ解釋ヲサレル前後ノ苦痛ト云フモノハ金ニ代ヘラレヌ、物質上ノ苦痛モサリナガラデアリマスガ、アノ前後ノ精神上ノ苦痛ト云フモノハ、是ハ一通リノコトデハナイ、オ上ノ方デハモウ許シテモ宜シイト云フ時期ガ分ル譯デアリマスカラ、其ノ時期ガ來タラ直チニ取消シテヤレバ宜シイ、之ヲ積ムノモ厄介、又解釋ノ積金ヲ後ニ取下ゲル手數モ非常ニ厄介デス、金ヲ使ヒ時間ヲ使ツテ、國家經濟ノ上カラ見テモ非常ニ手數ノコトデアリマスノデ、斯ウ云フコトハ成ベク厲行シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘマス、其ノ點ニ付テノ御感想ヲ承リタイ、ソレカラ此ノ度恩給ニ關スル改正ガ出デ居リマス、同時ニ戶籍ニ關スル改正ガ出デ居リマス、洵ニ改正ノ立法精神ハ私喜バシイコトデアルト思ヒマス、今ノ原案ハ一口ニ言ヘバ、内縁ノ妻ヲ正妻同様ニ取扱フト云フ

云フコトガ後へ残りマスガ、ソレダケノ一ツノ傷ハ残りマスガ、受理ハ出來ルト云フコトニナツデ居リマスヤウナ譯デ、其ノ點デ特別ノ場合ハ救済サレマス、斯ウ云フ子供ガ戰死シタト云フヤウナ場合デアリマスト、其ノ同意ニ付テ今申シマシタヤウナ事情ハ、殊ニ其ノ内縁ノ母ガ、非常ニ親族ナドニ異論ノナイヤウナ者デアレバ、サウ云フ所ニ混雜ガ起ルコトハナカラウ、子供ガ死ニマス、恐ラク直グ後ノ戸主ガ生ズルコトデアリマセウカラ、其ノ戸主ノ同意ニ依リ、或ハ又前ノ死亡シタ人ノ同意ガ、事前ニ爲サレルカドウカニ依リマシテ、救済サレルト云フコトハ考ヘラレマスノデ、此處マデ此ノ法律デ特ニ規定スル必要ハナカラウト云フコトデ、省略致シタヤウナ譯デアリマス、御承知ノヤウニ、死ンダ後カラ承諾スルト云フ譯ニハ參リマセヌシ、又承諾書ハズツト前ニ出シテ置イタノガ、後カラ受付ケラレテモ、是ハ一向差支ナイノハ御承知ノ通りデアリマ

ス、而シテ當事者ハ生存シテ居ル譯デゴザ
イマスカラ、其ノ人々ハ是ハ死亡前ニ結婚
シテ居ラナケレバ救済ノ餘地ハアリマセヌ
ノデ、サウ云フ點カラ、今後ノ法律案デ救
ヒタイト思フ場合ニハ該當致シマセヌノデ、
此ノ點ハ内縁ノ妻モ内縁ノ母モ全ク區別ガ
ナイ、同ジ立場ニ立ツテ居ルト云フコトニ
相成ツテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○古屋委員長 江原君

○江原三郎君 私ハ執達吏ノ待遇ノ問題ニ
付テ御尋スルノデスガ、最近事變ニナリマ
シテカラ、執行事件ガ少クナツタ關係上、
執達吏ノ收入ガ減ツタト云フヤウナコトハ、

○江原三郎君 私ハ執達吏ノ待遇ノ問題ニ

付テ御尋スルノデスガ、最近事變ニナリマシテカラ、執行事件ガ少クナツタ關係上、執達吏ノ收入ガ減ツタト云フヤウナコトハ、

私共モ想像ガ出来ルノデアリマス、併シ景氣ノ好イ時代モアツタノダカラ、サウ口説クノハドウカト云フヤウニ私共考ヘテ、斯様ナ席上デ申上ゲヨウト思フ考ハナカツタ、所ガ最近其ノ内容ヲ調べテ見ルト、餘リニ深刻ナノデ、御質問申上ゲルノデアリマス、ト云フノハ、是ハ從來モ能クアツタコトデスガ、強制執行ノ事件ガアツタ、又動産ノ競賣事件ガアツタ、此ノ場合ニ其ノ競賣ニ付セラレタ物ハ、ソレハ債務者ノ物デハナイ、俺ノ物ダト言ツテ第三者ガ執行猶豫ヲ訴ヘル、サウシテ保證金ヲ積ンデ猶豫スルガナクナツテ、執行異議事件ヲ繫續スル、サウシテ解除シテ又差押ヲスル、同一物ノ差押ニ付テ再三斯ウ云フコトヲスル、是ハ元アツタノデスガ、最近ハ頻々トシテ起ル、金額ガ百圓カ五五十圓位ノモノナラバ、サウカシナコトヲスレバ、異議ナクソレハ止メテシマフ、斯ウ云フ時ハ競賣ニナル、飽クマデモ怪シカラスト云ツテ、争ツテ、何回デモ保證金ヲ積ム、争ツテ行クトドウナルカ、債權者ノ方ハ解除シ放シデアアル、ドチラガ宜イカ惡イカ結論ヲ著ケルコトハ出来ナイ、何ト云ツテモ最終ニ於テ、解除サレルノデアアルカラ、解除サレタ物ガ第三者ノ物デアアルカ、或ハ債務者ノ物デアアルカト云フコトニ付テノ判決ヲ受ケルコトガ出来ナイ、訴訟上ノ問題デアアル、是ハ從來モアツタガ頻頻トシテ何故起ルカト云フト、從來ニ於テハ債權者ノ考デ解除シタ、最近様子ヲ調べテ見ルト、執達吏ノ指導ニ依ルコトガ多い、之ニ依ツテ頻々トシテ起ツテ居ル、私ハ執達吏ノ解除スルコトガ、法律的ニ適法カドウカト云フコトニ付テハ疑問ヲ持ツテ居ル、

當局ニ於テ適法ダト云フナラバ、私共法律ノ改正ヲシテ貰フ外ハナイ、ソレハ適法デハナイ、執達吏ガ取扱フベキ法則ニ反スルノダト云フ御考ナラバ、司法省トシテ訓令ヲ出スカ何カシテ御止メヲ願ヒタイ、ドウシテ斯ウ云フコトニナルカト云フト、深く調べテ見ルト、一ツノ競賣事件ヲ數回ヤル、隨テソレダケ手数料ガ稼ゲルコト云フコトデアアル、如何ニモ收入ガ減ツテ居ルカラ、收入ヲ殖ヤス目的デ斯ウ云フ事件ガ殖エテ來タ、如何ニモ深刻デアアル、ソコデ私ハ法規ヲ調ベタ、執達吏規則ヲ調ベルト、例ヘバ執達吏ガ事件ノ強制執行ノ爲ニ、宿泊スルコトヲ要シタ時ニハ一圓二十錢出ス、是大正八年以來改正サレテ居ナイ、大正八年マデハ一晚泊ルニ付テ一圓二十錢適當ト認メルコトガ出来マセウガ、今日一圓二十錢泊マレルカドウカ疑問デアアル、尙ホ一里十五錢ノ旅費ガ出ル、是モドウカト思フ、旅費或ハ宿泊料ハ本質ハ實費償價デアルト思フ、サウスレバ今日ニ於テモ實費ニ當ルモノヲ出スベキデアアル、而モ二十年經ツタ今日、此ノ執達吏ノ規則ハ改正スベキデナイカト考ヘル、又一面執達吏規則ヲ見ルト、手数料ノ收入ガ年六百圓ニ充タナイ場合ニ於テハ、其ノ不足分ニ付テハ國家ガ補助スルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ執達吏ノ生活ノ最低保障デアリマセウ、併シ是モ二十年前ノ規則デ、例ヘバ執達吏役場ノ費用、執達吏ガ代理ヲ置イタ場合ノ費用ト云フヤウナモノハ、執達吏自身ガ拂ツテ居ル、普通ノ官吏ガ月給ヲ貰ツテ居ルト云フヤウナ場合ハ、又考モアルケレドモ、執達吏ニ於テハ執行手續ノ費用ノ一部ヲ負擔シテ居ル、斯ウ云フ經營方法

デアアル執達吏ニ對シテノ、最低生活保障ガ月五十圓ト云フコトハ、私ハドウカト思フ、斯ウ云フ點ニ大變ニ無理ガアル、事件ノ非常ニ多イ時ニ於テハ、手数料ニ於テ埋合セモ付カラ、問題ガ起ラナイガ、今日ノヤウナ事變ニナリマシテ、執行事件ガ減ツタ、又將來ニ於テモ事變ハ長ク掛ルデセウガ、其ノ間ハ減ル、執達吏モ一年ヤ二年デハ我慢ガ出来ルガ、將來何年モ戰爭狀態ガ繼續サレテ、其ノ間執行事件ガ少クナルト云フコトニナルト、今ノ收入デハ困難デヤナイカ、サウスルト只今參與官ニ申上ゲマスヤウナ執行停止ヲシ、又解除ヲスルト云フヤウナ、適法カ不適法カ、法ノ濫用ト云フカ、運用ノ濫用ト云フカ、サウ云フ不合理ナ問題ガマダ〱起ツテ來ル、斯ウ云フ問題ノ起リマス根據ト云フモノハ、私ハヤハリ現在ノ制度、所謂執達吏ノ手数料規則、執達吏規則ト云フモノヲ、モウ改正シテ貰ツテモ宜イデヤナイカ、少クトモ二十年モオツ放ツテ置クコトニ無理ガアルンデヤナイカト云フヤウニ考ヘマスノデ、政府ニ於テハ現在ノ執達吏ニ對スル待遇ノ問題、ソレカラアノ規則ト云フヤウナモノニ付テ、御改正ナサル御意思ハアリマセヌカ、私ハ是ハ是非改正シテ欲シイト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ一ツ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○坂野政府委員 御答致シマス、御尋ノヤウニ執達吏ニ不都合ナ行爲ガアルカドウカハ、私マダ審ニ致シマセヌノデ、ソレニ付テノ御返答ハ致シ兼ねルノデアリマスガ、執達吏ノ收入ガ事變以來非常ニ減ツタト云フコトハ、事實デゴザイマシテ、ソレニ對シテ色々對策ヲ考ヘツツアルノデゴザイマスガ、何分是ハ一時的ノコトデハナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマシテ、其ノ見極メガ付カナイ關係上、或ハ先程申サレタ保障ノ金額ヲ國家ガ支拂フ、或ハ又缺員ガ出來タ場合ニソレヲ補充セズニ置キマシテ、或ル所マデ收入ヲ確保スル、斯ウ云フ姑息ノ手段ヲ執リツツ現在ニ至ツテ居ル譯デアリマス、果シテ御尋ノヤウナ事實ガ出テ參ルトスレバ、是ハ十分注意ヲシナケレバナラスコトデアリマス、仰セノヤウナ方法モ考ヘ、又執達吏ノ生活ヲ確保スル爲ニ、十分色々ノコトヲ考ヘタイト思ヒマス

○江原三郎君 ドウカ一ツ執達吏ノ實情ヲ御調査ニナツテ、是非適當ナ處置ヲ願ヒタイト云フコトヲ私ハ希望シテ置キマス、ソレデナイト執達吏ガ職務執行ニ關シテ、益々不合理ナ事ヲシヤセヌカト思ヒマスノデ、ドウゾ是非善處セラレンコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○古屋委員長 暫時休憩致シマシテ、午後二時カラ再開致シマス

午後零時五十分休憩

午後二時十分開議

○古屋委員長 是カラ開會致シマス、ソレデハ三浦君、司法大臣ガ見エラレタラ菊地君ニ讓ツテ貰フト云フコトニシテ始メテ下さい

○三浦委員 私ハ恩給法トハ不可分ノ關係ニアアル恩給金庫ニ付テ御伺フシタイト思ヒマス、ソレハ此ノ前此ノ恩給金庫法ガ議會ニ出マシタ時ノ政府ノ御説明ト、ソレカラ現在恩給金庫ガヤツテ居リマス實情トニハ、非常ナル違ヒガアルノデアリマス、此ノ故ニ政府ニ於カレマシテハ、此ノ事實ノ

上ニ立脚セラレテ、速ニ改善セラレンコトヲ要求スルノデアリマス、ソレデ此ノ前議會ニ恩給金庫法ガ出マシタ時ニ、問題トナツタモノハ三點アルノデアリマス、ソレハ六分ノ利子ハ高イト云フコト、勸業銀行ノ貸出デスラ六分五厘前後、而モ山林、土地或ハ家屋ト云フヤウナモノハ、時ニ價值ノ變動ヲ免レナイ場合ガアルノデアリマスガ、恩給證書ノ如ク何等價值ニ變動ガナク、サウシテ外ニ抵當ニ供スルコトハ、法律ヲ以テ禁止セラレテ居ル、恩給金庫以外ノ擔保ニ供スルコトハ禁止セラレテ居ルト云フ、斯ウシタ極メテ確實ナモノニ對シテ、六分ノ利子ハ高イト云フコトガ其ノ一點デアリマス、而シテ更ニ其ノ上ニ三分ノ保證料ト云フモノヲ御取リナル、三分ノ保證料ヲ取リマスルト、合計九分ノ負擔ニナル、此ノ負擔ガ極メテ重イト云フコトガ、當時問題ニナツタノデアリマス、而シテ此ノ三分ノ保證料ト云フノハ、例ヘバ千圓借リマシテ、サウシテ偶、持合セテ居リマシタ、其ノ倍額ノ二千圓ノ生命保險ノ證書ヲ提供致シマシテ、恩給金庫ニハ何等絕對ニ實害ヲ與ヘナイト云フ場合ニ於キマシテモ、尙且ツ恩給金庫ハ其ノ證書ヲ取ル以外ニ、別ニ一分ノ保證料ヲ御取リニナル、是ハ餘リニモ酷イデハナイカト云フコトガ、其ノ一點デアリマス

ソレカラ第二ニ非難ガアツタノハ、政府ハ五年分ヲ貸出ス——ソレデハ大臣が見エマシタカラ……

○菊地委員 民法ノ親族並ニ相續編ノ改正法案ヲ、今議會ニ御提出ニナリマスカドウカト云フコトヲ、先ヅ伺ヒタイト思ヒマス

○木村國務大臣 親族、相續法ノ改正ハ、司法省ニ設ケラレテ居リマス民法改正委員

會デ、親族法ハ終リマシタガ、目下相續法ノ起案中デアリマスノデ、今議會ニハ提出ハ間ニ合ハスト考ヘテ居リマス、尙ホ詳シイコトガ必要デアリマスナラ、政府委員カラ御答致シマス

○菊地委員 親族、相續編ノ改正ノ必要ナルコトハ、私ノ此處デ申上ゲルマデモナイコトデアリマスガ、殊ニ今回ノ事變ニ因リマシテ、國家ノ爲ニ犧牲トナラレタ軍人ノ遺家族ノ問題ニ關シマシテ、其ノ身分上ノ關係トカ、或ハ相續上ノ關係トカ、斯ウ云フ問題ニ對シテ非常ニ深い關係ヲ持ツテ居リマス所ノ、是等ノ親族並ニ相續法ノ改正ト云フモノハ、緊急ヲ要スルト思フノデアリマス、昨年ノ議會ニ於キマシテハ、政府ハ明カニ明年度ハ提出スルト云フ言明ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ今尙ホ準備中ト云フコトハ、甚ダ私共ハ遺憾ニ思フノデアリマス、來年ハ必ズ提出スルコトニナルカドウカト云フコトヲ、此ノ際政府カラ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○坂野政府委員 御尋ノ民法ノ親族、相續編ノ改正デアリマスガ、是ハ隨分長ク色々研究ヲ致シマシテ、現在ニ於テハ先程司法大臣カラ申シマシタヤウニ、一應親族編ノ方ヲ議了致シマシテ、相續編ニ入ツテ居ル譯デアリマス、是ハ御承知ノ通り、非常ニ難カシイ問題ガ色々アリマスノデ、色々ノ問題ニ付テ議論ガ分レテ參ルノデアリマシテ、十分檢討ヲシテ行カナイト、是カラ後ニ非常ニ悔ヲ貽スヤウナコトガアツテハナラスト思ヒマス、モウ一ツハ、此ノ改正案ノ中ニハ、大體ニ於テ或ル程度ノ材料ヲ、假審判所ノ審判ニ讓ルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、其ノ假審判法ノ改正ハ、

ドウ云フヤウニシテ進ンデ居ルカト申シマスト、昨年豫算ヲ載キマシテ、昨年ノ十二月ニ假審判法改正調査委員會ヲ作りマシタ、ソレガ毎週一回大體定例デアルト云フコトデ進ンデ居リマス、其ノ假審判所ノ組織權限ヲ如何ニスルカト云フ問題ニナリマス、此ノ組織權限ヲ如何ニスルカニ依リマシテ、民法ノ親族、相續ノ方ニモ非常ニ關係シテ參ルノデアリマスガ、其ノ假審判所ノ組織權限ノ問題ハ、御承知ノヤウニ憲法ニモ相當問題ガ觸レテ參ルノデアリマス、又此ノ假審判所ト云フモノハ、我國ニ於テ初メテ是カラ設ケラレル、非常ニ大切ナ制度デゴザイマスノデ、此ノ方面ノ見當モ十分致サナケレバナラスト思ヒマス、出來マスナラバ、此ノ法ノ一番外國デ進歩シテ居リマス亞米利加ノ例モ、モウ少シ實地ニ調査シタイト思ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ、假審判所ノ成立ガ、ドウ云フヤウナ組織權限デ出來ルカト云フコトガ、非常ニ親族、相續ノ前ノ方ノ規定ニ影響ヲ持ツテ參リマス、ソレト照合セテモウ一遍考ヘテ見ナケレバナラスト云フコトガ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、モウ隨分進ンデ居ル譯デアリマスガ、サウ云フ狀態デ、色々ナ議論ガ今出テ居リマス、ソレデ直チニ來年ノ議會ニ提出シ得ルト云フ、左様ナ無責任ナコトハ申上ゲラレナイノデアリマシテ、ソレマデ申上ゲルコトハ、非常ニ躊躇シナケレバナラストデアリマス、唯サウ云フコトニ出來ルダケシタイモノダト思ツテ、小委員ノ方デモ非常ニ努力シテ、オイデニナルノデアリマスガ、只今ノ所確言致スコトハ、一寸困難ハナイカト思ヒマス

○菊地委員 恩給法ノ改正問題ト關聯シテ居リマスカラ御聽シタノデアリマスガ、今政府デ御考ニナツテ居ラレル所ノ、親族編ニ於ケル結婚ノ整備條件ノ問題デスガ、前ノ改正要綱ヲ見マス、結婚ハ届出ヲスルカ、又ハ結婚ノ儀式ヲ行フコトニ依ツテ、成立スルト云フコトニナツテ居ツタノデアリマス、私共ハ此ノ點ハ極メテ妥當デアルト思フ、日本古來カラノ慣習カラ見マシテモ、又實際上カラ見マシテモ、是ガ適當デアルト信ジテ居ツタノデアリマス、今日ノ結婚ノ條件ハ届出主義一本槍デアリマシテ、親戚故舊相寄ツテ式ヲ舉ゲマシテモ結婚ニハナラナイ、其ノ爲ニ此ノ支那事變ニ於テ、國家ノ爲ニ尊イ犧牲ヲ拂ハレタ戦死者ノ遺家族ノ中ニハ、戦死者ノ本當ノ妻デアリ、子供デアリナガラ、國家ハ之ヲ認メナイ、妻ハ内縁ノ妻トシテ、子供ハ私生子トシテ、一生暗イ世ノ中ヲ送ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ立場ニアルト云フノハ、結婚ノ條件ガ届出主義ヲ採ツタカラデアルト、私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、ソコデ前ノ改正要綱ヲ見マス、儀式ヲ舉ゲルカ、届出ヲスルカ、何レカ一方ヲ行ヒサヘスレバ結婚ガ成立スル、ソレニ依ツテ戦死者ノ妻子ノ問題ハ解決スルト、固ク信ジテ居ツタノデアリマス、サウ云フ風ニナツテコソ、民法ノ親族編ノ改正ガ非常ニ意義ヲ爲スノデアリマシテ、是ハ國民ノ要望デアルト信ジテ疑ヒマセヌ、此ノ點ハ今度政府ガ企圖サレテ居ル所ノ親族編デハ、ドウナツテ居リマスカ、洩ラスコトガ出來マスナラバ、是ハ國民ノ重大關心事デアリマスカラ、御言明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○坂野政府委員 御尋ノ點ハ要綱ノ十二

ニ、婚姻ハ慣習上認めラレタル儀式ヲ舉グ
ルニ依ツテ成立スルモノトス、斯ウ云フ要
綱ガアル點ニ付テハ御尋ダラウト思フノデ
アリマスガ、改正案モ、大體其ノ趣旨ニ依
ツテ改正スルコト云フコトニ出來テ居リマ
ス、マダ詳細シク條文ヲ申上ゲルマデニ至
テ居リマセスガ、サウ云フ趣旨ニナツテ居
リマス、ソレカラ今御尋デゴザイマシタ遺
家族ノ内縁關係ノ人ノ關係ハ、只今御審議
ヲ願ツテ居リマス、委託又ハ郵便ニ依ル戸
籍届出ニ關スル法律案ト云フノガ出テ居リ
マス、ソレト恩給法ノ改正モアル譯デアリ
マスガ、戦死關係ノ人ハ、大部分是デ救ヘル
ト云フ考デゴザイマシテ、大體今年ノ議會
ニ民法ノ親族相續ノ改正案ヲ提出ハ困難ノ
關係上、焦眉ノ急ニ迫ツテ居リマス關係ヲ
救フ爲ニ、今御審議ヲ願ツテ居ルヤウナ案
ヲ提出シタヤウナ次第デアリマス、御諒承
ヲ願ヒマス

○菊地委員 今度出マシタ恩給法ノ改正ノ
御趣旨ハ、私共多トスル所デアリマスガ、
アレダケデハ到底戦死者ノ内縁ノ妻並ニ子
供ノ問題ヲ解決スルコトニハナラスノデア
リマシテ、日本古來カラノ慣習ニ依ル結婚
式ヲ舉ゲタ者ニ對シマシテハ、戸籍上妻ト
ナツテ居ル者ト同一ナ取扱ヲ、恩給法デヤラ
ナケレバナラヌト私共ハ考ヘテ居ルノデア
リマス、只今審議致シテ居リマス恩給法ノ
改正ダケデハ、一部分ダケシカ救ヘナイ、
モツト廣汎ナル所ノ救ハレザル妻子女アル
ト云フコトヲ、政府ハ御認識ニナリマシテ、
此ノ點ニ對シマシテハ、尙ホ一層ノ御努力
ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲマシテ、司
法大臣ニ對スル質問ハ是デ終リマス
○古屋委員長 モウ司法大臣ニ對スル質問

ハゴザイマセヌカ——ソレデハ三浦君、ア
ナタノ質問ヲ御繼續下サイ

○三浦委員 要スルニ恩給金庫法ガ出マシ
タ時ノ衆議院ニ於ケル反對意見ト云フモノ
ハ、右申シマシタヤウニ、アアシタ福利施
設ノヤウナ制度トシテハ、六分ノ金利ハ高
イ、勸業銀行ノ如キデスラ六分五厘前後デ
アルノニ、市價ニ何ノ變動モナク、サウシ
テ外ニ二番抵當ニモ置ケナイ、極メテ安全
ナル恩給證書ヲ擔保ニ取ル恩給金庫トシテ
ハ、六分ハ高過ギル、オマケニ更ニ手数料
或ハ損害保證ノ意味ニ於キマシテ、保證料ト
稱シテ三分ヲ取ル、其ノ三分モ亦高イ、要
スルニ此ノ金利其ノ他ノ費用ハ高過ギルト
云フコトガ議論ニナツタノデアリマス、而
モ今マデノ恩給證書ニ對スル金融業者ハ保
險ヲ掛ケサセマシタカラ、金ヲ戻シテシマ
ヒマス、併シナガラ恩給金庫ニ於ケル三
分ノ保證料ト云フモノハ、掛捨保險デアリ
マスカラ、掛捨テタモノデ何ニモ還ツテ參
ラナイ、死シタ場合ハ得ニナルカモ知レマ
セスケレドモ、幸ニ生キテ居ツテ、其ノ借
金ヲ戻シタ場合ニハ、其ノ三分ノ保證料ト
云フモノハ、所得掛捨保險デ還ツテ來ナイ
ノデアリマスカラ、恩給證書ヲ擔保ニ入レ
テ金ヲ借りタ人ニハ、甚ダ有難クナイ制度
デアアル、斯ウシタ事柄ガ問題ニナツタ、要
スルニ六分ノ利子、三分ノ保證料、合計九
分ノ費用ト云フモノハ——ヨク——生活ニ
困レバコソ、唯一ノ恩給證書ヲ擔保ニ入レ
テ金ヲ借りルノデアリマスガ、其ノ氣ノ毒
ナ人ニ對シテ、如何ニモ過酷デハナイカト
云フコトガ第一點デアリマス、更ニ又モウ
一ツノ問題ハ、又シテモ才役人ノ方々ガ、此

ノ半官半民ノ施設ヲ占領ナサルノデアアル
マイカト云フヤウナ事柄ガ第二點デアリマ
ス、第三點ハ、役人ノ爲ニノミ斯ウシタ有
難イ施設ガ先ヅ生レ、庶民ノ方ノダケガ提
案サレナイノハヲカシイデハナイカ、斯ウ
云フヤウナ譯デ、一昨年ノ議會ニ於テハ、到
頭恩給金庫法ハ潰レテシマツテ、翌年庶民
金庫法ト立ベテ出サレタ爲ニ、初メテ議會
ヲ通過シタ、斯ウシタ經過ヲ持ツテ居ルノ
デアリマス、ソコデ右申シマス議會ニ於ケ
ル非難ニ對シテ政府委員ノ御答辯、衆議院
ニ諒解ヲ求メラレタ點ハ、何分ニモ創業ノ
際デアルカラ、金利ノ點モ高イカモ知レナ
イケレドモ、經過ヲ見テ、若シ出來得ルナ
ラバ、將來利子ヲ引下ゲルデアラウ、斯ウ
云フ御答辯デアツタ、此ノ點ニ於テ私共ハ
諒解致シタノデアリマス、ソコデ事實ヲ申
上ゲマス、恩給金庫ハ昨年ノ六月ニ開業
致シタノデアリマス、所ガ六箇月後ノ昨年
ノ十二月ニハ、五分五厘ノ配當ヲ致シテ居
リマス、ソレノミナラズ六月開業スル其ノ
一月前ノ五月ニ於テ、理事其ノ他ハ二千圓
ヅツノオ盆ノ賞與ヲ取ツテ居リマス、營利
ヲ目的トセザル、斯ウシタ福利施設ノ本質
ヲ有スル恩給金庫ト云フモノガ、開業セザ
ルニ理事者ノ間ニ於テ二千圓ノ賞與ヲ取り、
而シテ開業後僅ニ六箇月ニシテ五分五厘ノ
配當ヲ爲シ得タト云フコトハ、此ノ議會ニ
問題トナツタ六分ノ利子ト三分ノ保證料
ガ、如何ニ極メテ高イモノデアアルカト云フ
コトヲ、現實ニ物語ルモノデアルト私共ハ考
ヘマス、此ノ事實ヲ何ト御考ニナリマスカ、
更ニ又本年一月ニハ、都下ノ新聞ニ、恩給
金庫ガ五十萬圓ヲ銃後援ノ費用ニ獻納シ
タコトヲ書イテ、洵ニ結構ナコトナリト一

齊ニ報道シテ居リマスガ、或筋カラ實際ヲ
聞合セテ見マス、一遍ニ五十萬圓獻金シ
タノデハナクテ、毎年十萬圓ヅツ五箇年ニ
亙ツテ獻金スルト云フコトダサウデアリマ
ス、私ハ此ノ三ツノ事實カラ、政府ハ今尙
ホ此ノ恩給金庫ハ、六分ノ利子、三分ノ保
證料ヲ取ラナケレバ、立ツテ行カナイト御考
ニナルノデアアルカ、或ハ今日ニナツテハ、
幾ラカ下ゲ得ラレルト御考ヘデアアルカ、其
ノ點ヲ先ヅ御尋致シマス、ソレガ質問ノ第
一點デアリマス、時間ノ節約上續ケテ質問
致シマスガ、恩給金庫ガ其ノ利益ノ中カラ
軍人後援ノ費用ヲ獻金スルト云フコトハ洵
ニ結構ナコトデアリマススケレドモ、此ノ
氣ノ毒ナ傷痍軍人其ノ他ノ人々ヲ相手トス
ル恩給金庫ハ、其ノ人々ニ對スル金利諸雜
費ヲ下ゲルコトガ先デアルノカ、或ハ又此
ノ銃後援ノ費用ヲ、獻金スルノガ先デア
ルカ、政府ハ何レガ先デアルト御考ニナ
ルノデアアルカ、恩給金庫ノ本質ニ顧ミ
ラレテ御答ヲ得タイト私共ハ考ヘルノデア
リマス、ソレガ質問ノ第二點デアリマス、
第三ハ、先程申上ゲマシタヤウニ千圓借リ
マシテ、サウシテ其ノ倍額ノ二千圓ノ生
命保險ノ證書ヲ擔保ニ入レマシテモ、六分
ノ利子以外ニ一分ノ保證料ヲ取ラレルノデ
アリマスカラ、結局七分ノ利子ト云フカ、
七分ノ費用ヲ拂ハナケレバナラナイノデア
リマス、此ノ七分ト云フモノハ、私ハ高イ
ト思フ、段々ニ恩給ヲ受ケルコトガ窮屈ニ
ナリツツアルノデ、今度ノ恩給法ノ改正ノ
如キモ、段々必要ノナイ向ニハ恩給ヲヤル
マイト云フ趣旨ノ下ニアルノデ、段々將來
ニ參リマス、生活能力ヲ失ツタ人ダケガ、
國家カラ恩給ヲ戴クト云フヤウナ、極メテ

合理的ナモノニナルドラウト思フノデアリマス、此ノ生活能力ヲ失ツタ人、サウシテ他カラ金ヲ借りテハナラヌト法律ヲ禁止シテ居ル、サウシテ氣ノ毒ナ人達ヲ相手ニスル恩給金庫トシテハ、私ハ依然トシテ此ノ七分ト云フモノハ高イト考ヘルノデアリマスガ、政府ハ高イトハ御考ニナラナイカドウカ、更ニ其ノ次ノ質問ハドウセ古手役人ノ焼捨山ニナルノデハナイカト云フ、此ノ意見ニ對シマシテ、政府ハ當時斷ジテ左様ナコトハナイト仰シヤツタノデアリマス、ケレドモ事實ニ於キマシテ、恩給金庫ノ理事長ニ就任シタ人ハ、御承知ノ通り親任官ノ恩給ヲ受ケ、而シテ貴族院議員ノ歳費ヲ受ケル人ガ、恩給金庫ノ理事長トナツタ、恩給金庫ハ言フマデモナク、金ヲ貸ス相手ハ受恩給者ニ限ラレテ居リマス、ナニモ特別ナ經濟上ノ手腕ヲ必要トシナイ、是ハ誰ニデモ出來ル仕事デアリマス、恩給金庫ガ出來ル前ハ、新橋界限ニハ幾ラモ金融業者ガ居リマシタガ、其處ラデハホンノ小僧、番頭、手代ト云フヤウナ人達ガ、三十圓カ四十圓ノ給料デヤツテ居ツタ、決シテ二万五千圓ト云フヤウナ給料ヲ出ス者デナクテモ出來ルノデアリマス、此ノ戰爭後ニナリマシタナラバ、多數ノ傷病軍人ガ出來テ、多數ノ氣ノ毒ナ恩給金庫ノ世話ニナラナケレバナラヌ人ガ出ルト思ヒマス、斯ウシタ人達ヲ相手ニスル人ト云フモノハ、恩給金庫ノ本質ニ顧ミテモ、其ノ給料ハ極メテ低クシ、寧ロ篤志家ガ其ノ任務ニ當ツテ然ルベキダト思フ、何答經濟上ノ知識經驗ヲ必要トセザル、斯ウシタ隱居役ノ仕事デアアルニ拘ラズ、事實ニ於テハ、理事長ハ二万五千圓ノ年俸ヲ取ツテ居ル、今日送ツテ理事

長ニナツタ人モ、陸軍中將ノ恩給ト、貴族院議員ノ歳費トヲ受ケル人ガ、又其ノ後ヲ繼イデ居ル、更ニ一人ノ理事ハ八千圓ノ給料ヲ受ケ、他ノ者ハ大藏省ノ稅關長ノ經歷ヲ持ツタ人ト、私ハ承知致シテ居リマス、斯様ニ衆議院ニ於テ、私共ガサウナリハシナイカト憂ヘテ居ツタ事柄ガ現實ニ出テ來タ、斯ウナツテハ衆議院ニ於ケル議論トカ質問トカハ、全然價值ガ無い、モウ此ノ關所サヘ通ツテシマヘバ、ドンナコトヲシテモ宜イト云フ、斯ウシタ現實ハ、如何ニ議會ガ無力化シテモ、斷ジテ私共ハ之ヲ見逃ス譯ニハ行カナイノデアリマス、私共ハ今日ノ理事長モ知ツタ人デアリマス、前ノ人ハ議會ノ内ニ於テ皆サンガ毎日額ヲ合ハス方デアリマス、而シテ又其ノ恩給金庫ニハ、軍人後援會ノ方ノ人達ガ移管セラレテ、其ノ儘採用セラレテ、私共ノ管テノ同僚ノ人達モ、軍人後援會ノ役員カラ其ノ儘恩給金庫ノ方ニ轉職致シマシタガ、何レモ恩給金庫ノ役員ニナルト同時ニ、八十圓デアツタ者ガ百五十圓トカト云フ工合ニ何レモ増俸セラレテ備ハレテ行ツテ居ル、軍人後援會ノ本質ト恩給金庫ノ本質ト云フモノハ、餘程違ツタモノダト私ハ考ヘル、國民ノ膏血ノ中カラ、政府ガ五百万圓ノ金ヲ出シ、サウシテ斯ウシタ大戰ノ半ニ於テ、銃後ノ憂ヲナカラシメル爲ニヤツタ所ノ施設デアルトスルナラバ、恩給金庫ニ備ヒ換ヘラレバ其ノ給料ガ増ス、理事長ノ理事ノ職ニ就ケバ、受恩給者其ノ他ガ莫大ナル金ヲ取ルト云フコトハ、斷ジテアツテハナラヌト私ハ思フ、誰ニ聽イタツテ、ソレハ酷過ぎハシマセヌカト皆言フノデアリマス、私ハ特ニ斯ウ云フコトヲ調査シタ譯デ

ハナイ、調査シタ譯デハナイケレドモ、求メザルニ、聽カザルニ、私ノ耳ニ頻々トシテ斯ウシタ事柄ガ聞エル、私共ハ今ノ時勢ガ如何ニ憂フベキ時勢デアルカト云フコトヲ、此ノ際閣僚諸君ニ申上ゲタイノデスガ、此處ニオ居デニナラスノデ甚ダ遺憾デアリマスガ、セメテ私ノ議論ヲ裏付ケル爲ニ、アナタニ御話申上ゲタイ、日本ノ社會ト云フモノハ、最近急激ナル變化ヲ致シテ居リマス、今カラ十年前、所謂普通選舉ノ布カレタ當時ニ於テハ、階級闘争ガアツタガ、其ノ時代ニ於テハ、所謂上下トノ争ヒデアツタ、所謂支配階級ガ幾ラカ特權ヲ讓レバ、ソコニ社會ノ不和ハ緩和スルコトガ出來ル、地主ガ小作料ヲ負ケ、資本家ガ利益ノ一部ヲ割ケバ、ソコニ階級闘争ナルモノハ緩和スルコトガ出來ル、所謂時勢ハ惡イ惡イト言ハレテ居リマシタケレドモ、マダ其ノ上下ノ對立デアツタ間ハ、幾ラカサウシタ餘裕ガアツタノデアリマス、然ルニ昭和六七年頃カラ、日本ノ社會ト云フモノハ横ノ對立ニマデ進ンデシマツタ、即チ産業組合ト中小商人、或ハ米ヲ作ル農民ト米屋ト云フヤウニ、同業者間ノ上下ノ階級對立ニアラズシテ、横ノ對立ニナツテシマツタ、最早ヤ讓ルニ讓レナイ、食フカ食ハレルカト云フ深刻ナ時代ニナツタケレドモ、今日ニナツテ見レバ、マダ其ノ時代ハ宜カッタ、今日ニ於テハ横ノ對立、食フカ食ハレルカノ時代カラ、モウ一步前進シテ、此ノ事變ニ入りマシテカラト云フモノハ、物ノ値段ハ間屋ヤ製造家ガ決メタルノデハナクシテ、政府ガ公定價格ヲ決メタルノデアアル、賃銀ハ資本家ガ決メタルノデナク、政府ガ之ヲ公定スルノデアアル、物ノ値段ヲ上ゲルノモ、煙

草ノ値段ヲ上ゲルノモ政府、賃銀ニ「ストツプ」ヲ掛ケルノモ政府、資材ガ乏シイ、商品ガ乏シイ、ソレ等ハ當テハ資本家ヲ怨ミ、或ハ生産者ニ對シテ不平ガアツタデアリマセウ、即チ生活ノ脅威ニ對スル不平不滿、社會的經濟的不安ノ其ノ捌場ト云フモノハ、ソコニ或ル階級、或ル集團ガアツタノデアリマス、此ノ事變ニ入ツテカラハ、斯ウシタ事態ニ踏込ムトハ政府モ考ヘナカツタノデアリマセウケレドモ、斯ウシタ中間ノ階級ガスポツト拔ケテシマツタ、サウシテ今ヤ民衆ト政治ヲ爲ス所ノ政府ト云フモノガ、額ト額トヲ向ヒ合ハスヤウニナツタコトガ極メテ重大デアアル、中ノ緩衝地帶ガスツカリ拔ケテシマツタ、俺達ノ賣ル商品ガナイノモ政治ガ惡イカラダ、斯ウシタ高イ物資モ政府ガ公定價格ヲ決メタカラダ、賃銀ノ安イノモ政府ノ爲ダ、サウ云フヤウニ一切ノ社會ノ不安、生活ノ不安ト云フモノガ、悉ク敢テ政府ト云フハナイガ、政治ヲ爲ス者ノ責任デアルト云フ工合ニ考ヘテ來タ、此ノヤウナコトヲ誰モ考ヘナカツタガ、權力統制ノ結果、事變ノ結果ガ、其處マデ日本ノ社會ノ不安ヲ深刻ナラシメタ、一切ノ事柄ガ政治ノ善シ惡シノ結果デアルト、理窟ヲ拔キニシテサウ考ヘルニ至ツタ、此ノ時ニ至ツテ私共ハ餘程考ヘナケレバナラヌト思フ、何處カニ社會的不滿ガ起レバ、例ヘバ假ニ勞働者ノ間ニ不滿ガ起ツテモ、其ノ不滿ハ單ナル勞働者ノ仲間ニ限ラズシテ、農村ニ於ケル賣ル所ノ商品ヲ持タル所ノ、小質商人ノ間ニモ不平ガアリマセウ、或ハ又各地ノ色々ナ階級ニ對スル生活ノ脅威カラ不安ガ出ル、私共ハ今ノヤウナ儘デ政治ガ停頓シ、昏迷シテ

行クナラバ、米騒動トハ形ノ違ツタ不安
ガ日本ノ社會ヲ襲ヒハシナイカト、實ハ
非常ニ案ジテ居リマス、ソコデ私共ハ少ク
トモ國民ノ感情ヲ刺戟スルヤウナ社會ノ現
實ト云フモノハ、オ互ニ努メテ之ヲ取去ラ
ナケレバナラスト思フノデアリマス、恩給
金庫ノ如キハ、何デモナイコトノヤウデス、
唯社會ノ一部ニ存在スル恩給金庫ノ如クデ
アリマスアレドモ、其處カラ金ヲ借りル人
ハ、此ノ事變後ニ於ケル澤山ナ傷痍軍人ノ
人達ノ中カラ出ルデアリマセウ、サウシテ
其處カラ六分ノ高イ利子ヲ取ラレル、三分
ノ掛捨保險金ヲ取ラレル、サウシテ手ヲ束
ネテ居ツテ其處ニハ大キナ恩給ヲ貰ヒ、歳
費ヲ貰ヒ、二万五千圓、或ハ八千圓ノ俸給
ヲ貰ツテ居ルノハ、馬鹿ニシテ居ヤガル
ト云フ感じガ爆發スルコトヲ、私ハ惧レル
ノデス、世ノ中ノ不安ト云フ事柄ハ、決シ
テ大キナ事ノ前ニ爆發スルノデハナイ、小
サイ事柄ガ幾ツモ、累積セラレタ後ニ爆
發スルノデアリマス、故ニ私共ハ恩給金庫
ノ問題ノ如キハ、考ヘヤウニ依リマシテハ、
極メテ些細ノ問題ト御考ニナルカモ知レマ
セヌケレドモ、今申上ゲマスル如ク、爆發
ト云フモノハ、決シテ大キナ事柄デ爆發ス
ルノデハナクシテ、些細ナ事柄ガ累積シテ
國民ノ間ニ滲透シ、浸潤シテ、其處カラ危
險性、爆發性ト云フモノガ生レルノデアリ
マスカラ、ドウカ此ノ問題ニ付キマシテ
モ——私ハ決シテ政府ヲ攻撃致スノデナイ、
其處ニオ居デニナル政府委員ノ御責任デハ
ゴザイマセヌ、結構ナル御趣旨ノ下ニ、私
共恩給生活者ノ爲ニ、アア云フ施設ヲ御作
リ下サツタ御誠意ニハ多大ノ感謝ヲ致シマ
ス、御趣旨ハ結構デアツタケレドモ、生レ

タ子供ハ鬼子デアツタト云フノガ、恩給金
庫ノ現實デアリマス、ドウカ率直ニ私共ノ
申上ゲルコトヲ御聽キ下スツテ、之ヲ速ニ
恩給金庫ニ付テ御調査ニナリマシテ、サウ
シテ直スベキモノハ直シ、改ムベキモノハ
改メラレンコトヲ御願スルノデアリマスガ、
私ハ右述ベマシタ疑問ノ點ニ付キマシテ、
幸ニ率直ナルアナタノ御意見ヲ承ルコトガ
出來マスナラバ仕合ト思ヒマス

○平木政府委員 只今恩給受給者、殊ニ恩
給ヲ擔保ニ致シマシテ恩給金庫カラ金ヲ借
リナケレバナラスヤウナ、極メテ悲惨ナ狀
況ニ在ル者ニ對シマシテ、極メテ御同情ア
ル色々御言葉ヲ戴キマシテ、私謹聽致シタ
ノデアリマス、先ヅ第一ノ問題ハ、現在恩
給金庫デ取ツテ居リマス六分ノ利息竝ニ保
證料三分ハ、相當高クハナイカ、現在ニ於
テ相當下ゲル餘地ハアリハシナイカト云フ
御質問ダト承ツテ居リマス、恩給受給者竝
ニ恩給金庫カラ金ヲ借りルヤウナ人ハ、恐
ラク色々家庭ニ複雑ナ事情ガアリマシテ、
生活ガ相當苦シイ人ニ限ツテ居ル譯デアリ
マス、私共ト致シマシテモ、恩給金庫ト致
シマシテモ、出來ルダケ金ヲ借りル人ノ負
擔ガ輕クナルヤウニト云フコトハ、常ニ念
頭ニ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ六分ノ
利息竝ニ保證料ヲ加ヘマスト、相當現在高
イノデアリマス、決シテ安イトハ申サレヌ
ガラウト考ヘマス、然ラバナゼソレダケノ
利息竝ニ保證料ヲ取ツテ居ルカト申上ゲマ
スレバ、大體此ノ恩給金庫ノ金融ノ内容ヲ
申上ゲマスト、恩給金庫デ金ヲ貸シマスル
ノニ必要ナル資金ノ「コスト」ハ、四分四厘カ
ラ五厘ノ間デアリマス、ソレデ貸付利息六
分ト云ヒマスト、一分五厘位ノ轄ガソコニ

アルノデアリマス、所ガ御承知ノ通りニ、

恩給金庫ハ成立シテカラ、マダサウ長ク經
テマセヌ關係上、貸付金ガサウ澤山ハナイ
ノデアリマス、前期末ニ於キマシテ約六千
萬圓ノ貸付ガゴザイマシタ、六千萬圓ヲ貸
付ケマスル場合ニ相當事務費ガ要リマス、
事務費ト云フノハ普通下ノ位カト申シマス
ト、現在恩給金庫デ使ツテ居ル事務費ハ、
一流銀行ニ比ベマスレバ、私多少高イノデ
ハナイカト考ヘテ居リマス、ソレハナゼカ
ト申シマス、一流銀行ニ於キマシテハ、
貸付ノ金額ガ非常ニ巨額ニ達シテ居リマス、
隨ヒマシテ六千萬圓位ノ貸付デハ、千圓當
リト申シマス、百圓當リト申シマス、
其ノ事務費ハドウシテモ高クナル、決シテ
事務費ニ無駄ガアルトカ、或ハ放漫ニ事務
費ヲ使ツテ居ルト云フコトハゴザイマセヌ
ソレハ細カイ問題ヲ言ヘバ、或ハ色々問題
ガアリマセウガ、大體ニ於キマシテ、現在恩
給金庫ノ事務費ハ、サウ多クハナイト思ヒ
マスケレドモ、現在ノ貸付金額カラ考ヘマス
ルト、貸付金額ガ現在ノ六千万圓程度ノモ
ノデアリマスルカラ、ドウシテモ事務費ガ割
高ニナツテ居ル、斯ウ云フ事實ハ免レナイノ
デアリマス、ソレカラ出資ニ對スル配當、是モ
高イ利息ヲ取ツテ、開業勿々カラ配當ヲス
ルノハフカシイデハナイカト云フ御意見ダ
ト伺ヒマシタガ、成程サウ云フ見方モアル
ノデアリマスケレドモ、是ハ私ヨリ申上ゲル
マデモナク、三浦サシ前カラ御關係ヲ願ツ
テ居リマスカラ御承知ノコトト思ヒマスガ、
アノ恩給金庫ヲ創設致シマス當時ニ於キマ
シテハ、民間ノ出資ガ是ダケ集ルダラウカ
ドウダラウカト云フコトガ、相當ニ疑問視
サレテ居ツタト云フヤウナ事情ガアリマシ

テ、大體五分五厘デゴザイマス、配當ヲ

スト云フ風ナコトデ、アノ資金ヲ集メタ
ト云フコトニ私同ツテ居ルノデアリマス、
サウ云フ経緯ガアリマスノデ、開業勿々デ
ハアリマシタケレドモ、ドウシテモアノ出資
ニ對スル配當ハシナケレバナラナカツタ、斯ウ
云フ風ナ事情デアツタト云フコトヲ私聞イ
テ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ其ノ利
息ヲ下ゲルノガ先ヅ先決問題デアルベキ恩
給金庫ガ、援護會ニ對シテ五十萬圓モ寄附
スル、其ノ爲ニ結局恩給金庫カラ金ヲ借リ
テ居ル人ハ、高イ利息ニ苦シマナケレバナ
ラス、斯ウ云フコトニナルノデハナイカト
云フ御意見ト承リマシタガ、成程其ノ通りデ
ザゴザイマス、是モ御承知ノ通りニ、恩給
金庫ガ成立致シマスル際ニ、援護會ノ前身
ト申シマスルカ、軍人後援會ニ於キマシテ
相當貸付ヲシテ居ル、其ノ貸付ヲ恩給金庫
ノ方デ肩替リヲシタ譯デアリマス、軍人後
援會ト致シマシテハ、其ノ仕事ガナクナル、
又ソレニ依リマシテ、一部得テ居リマシタ
利益ニ依ツテヤツテ居リマシタ色々ナ事業
モ、後援會トシテハヤレナイト云フヤウナ
狀況ニナツテ居リマシタ關係上、恩給金庫
トシテハ毎期五萬圓デスカ、一年十萬圓デ
スカ、今後後援會ノ方ニ出サウト云フコト
デ、アノ肩替リガ解決シタト云フ風ニ私聞
イテ居ルノデアリマス、ソレヲ今度援護會
ノ方ニ肩替リ致シマシタカラ、後援會ノ引
繼トシテ差上ゲタ、而モ總額五十萬圓ニス
ルト云フコトデナツタノデアリマシテ、成
程恩給金庫カラ金ヲ借りテ居ル人ノ方ヲ下
ゲズニ、之ヲ出スト云フコトハ、一面カラ云
ヘバ受給者ニ非常ニ氣ノ毒ノヤウナ氣ガ致
シマスルケレドモ、恩給金庫成立ノ経緯ガ

サウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスカラ、是モ已ムヲ得ナイノデハナイカト考ヘル次第デアリマス、サウ云フ譯デゴザイマシテ、現在ノ貸付ガ六千万圓デゴザイマスルガ、是ガ今後一年位經テマシテドノ位ニナリマスルカ、大體此ノ頃半期ニ一千万圓位ノ貸付ノ増ニナツテ居リマス、ソレデアリマスルカラ、今年末アタリニナリマスレバ、八千万圓位ノ貸付ニナルノデハナイカト考ヘルデアリマスガ、八千万圓位ノ貸付ニナリマス、更ニ一億圓ニナリマスレバ、非常ニ樂ニナリマシテ、利子ノ問題デアルトカ、保證料ノ問題デアルトカ云フモノハ、勿論解決出來ルダラウト思フ、今後増加ニ依リマシテ財源ヲ產出シテ、安クスルト云フコトヲ現在私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、現在ノ所ハ成程悲慘ナ境ニアル恩給受給者ニ取りマシテハ、決シテ輕カラヌ利息デアリマスルケレドモ、現在ノ狀況カラ致シマシテ、他ニ大キク減ラス所モナイノデゴザイマス、殊ニ資金ノ方ノ借入モ、恩給財源ハ四分二厘ト申シマスルト、大體地方債並ノ資金「コスト」ニナツテ居リマス、サウシマス借入金ノ利子ヲ下ゲルト云フコトモ、中々難カシイコトデアリマスガ、今後八千万圓カ一億圓ニナツタ場合ニハ、先ヅ第一ニ此ノ問題ヲ考ヘナケレバイカヌノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ援護會ニ寄附スルヤウナ金ガアツタラ、金利ヲ下ゲルノガ先決デヤナイカ、ドツチガ先ダト思フカト云フ御質問デゴザイマシタガ、金利ヲ下ゲルト云フコトハ、勿論先決問題デアリマスルケレドモ、今度ノ援護會ニ對スル寄附金ハ、成立ノ

時ニ色々理由ガアルノデゴザイマス、是ダケハ別ニ考ヘナケレバイカヌノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ生命保險ヲ出シマシタ場合ニハ、六分ノ外ニ一分ノ保證料ヲ取ル譯デアリマスガ、此ノ一分ノ利子ハ高イト考ヘルガ、ドウカト云フ御質問デアリマスガ、御承知ノ通り恩給金庫創立ノ際ニ色々問題ニナリマシタ通り、恩給受給者デ金ヲ借りルト云フ人ハ、ドウシテモ是ハ相當悲慘ナ生活ヲシテ居ル人デアアル、無利子カ或ハ無利子ニ近イヤウナ安イ金デ融通シタラドウカト云フヤウナ御議論モ、色々出タヤウニ承ツテ居リマス、併シ一面カラ申シマスルト、恩給受給者ハ恩給ト云フ國家カラ相當大キナ恩典ヲ受ケテ居ルノデアリカラ、更ニ是以上金融機關ニ對シテ、政府ノ方カラ大キナ保證ヲスルトカ云フコトハ、考ヘ物ダト云フヤウナ論議ガアリマシテ、結局政府ト民間ト兩方カラ出資ト云フコトニナリマシテ、アア云フ制度ニナツタヤウナ次第デアリマス、サウ云フ趣旨カラ考ヘマシテモ、現在ノ利子ト云フモノハ、出來ルダケ輕減ヲ圖ラネバナラスト云フコトハ、常ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、最後ニ理事者或ハ一般行員ノ俸給ノ問題等ニ付キマシテ、後援會アタリヨリモ高イデヤナイカト云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、成程一般行員ニ付キマシテハ、後援會ヨリ高イコトニナツタ場合モアルト思ヒマス、併シナガラ是ハ他ノ庶民金庫其ノ他ノ例カラ考ヘマシテモ、決シテ高クナイト思ヒマス、サウ云フ小サイモノニ對シマシテハ出來ルダケ——特ニ外ヨリ高クスルト云フコトハ考ヘラレマセヌガ、優遇シテ仕事ニ勵ンデ貰フ、斯ウ云フ風ニヤツタラドウ

カト思ヒマス、ソレカラ理事者ノ問題デアリマスガ、理事者ガ開業匂々色々慰勞金ヲ貰ツタト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、成程考ヘヤウニ依ツテハ、サウ云フコトニモナリマスガ、併シ一面ソレガ金額ガサウ多クナカツタナラバ、ヤハリ或ル程度ヤルノガ必要デヤナイカト云フ風ニモ考ヘルノデアリマス、ソレカラ理事者ハ先達テ御辭メニナリマシタガ、實ハ年俸ハ辭退サレマシテ、本人ハ受取ラレマセヌデ、誠心誠意金庫ノ爲ニ働イテ戴イタノデ、此ノ點私共監督者ト致シマシテ、非常ニ感激致シテ居ツタ次第デアリマス

○三浦委員 大體御話ノ通りト私ハ考ヘマスガ、私ノ聞イテ居ル所モ御答ノ通りデアリマス、利子ガ四分五六厘ダト仰シヤツタノデアリマスガ、ソレハ厚生省ノ簡易保險局ノ出シタモノガ四分二厘、陸軍省ノ義濟會ノモノデモ其ノ前後デアアル、ソレハドチラデモ宜イノデアリマスガ、當時議會ニ於テ私ガ申上ゲタノハ、是ハ海軍トカ陸軍ノ方ノ工廠ニハ、共濟組合ノアノ掛金ガアルコトデアリマスカラ、アア云フノ御使ヒニナツテ、サウシテ保險會社其ノ他カラノ借入ヲ御止メニナレバ、モツト安ク金ガ借りラレルノデハナイカト云フコトヲ申上ゲタイデアリマスガ、事實ニ於テハサウ云フ王合ニ、民間ノ方ハ保險會社其ノ他カラ御借りニナツタト考ヘテ居ル、私ハ斯ウ云フコトヲ議會ノ問題ニシヨウトハ考ヘナカツタ、今日マデ遠慮シテ居ツタノデアリマスガ、サウ云フヤウナ事柄ヲ、其ノ數字ニ付テ御話ヲ申上ゲテ見マシテモ、當局ノ方々デチヨイチヨイ御存ジナイ方ガオ居デニナルノデアリマシテ、セメテ此ノ問題ヲ議會ノ問題

ニスルコトニ依ツテ、政府委員ノ耳ヲ通スコトニ依ツテ、國家ガ此ノ恩給金庫ノ經營振ニ多大ナル關心ヲオ持チニナリ、注意ヲナサレル、其ノコトダケデモ大キナ效果ガアルト、斯様ニ考ヘマシテ、御話ヲ申上ゲマシタ次第デアリマス、ソレカラ最後ノ庶民金庫トノ釣合ト仰セラレマシタガ、私ハ釣合ト云フ言葉モ敢テトハ申シマセヌ、所ガ先程此ノ委員會ニ參リマスル途中ニ於テ、恩給金庫ドコロノ話デヤアリマセヌヨ、庶民金庫ナドハヒドイモノデスヨ、或ル人々ニ對シテハ千圓ヅツ樂ニ貸シテ呉レマシタ、アレハ返サヌデモ宜イノダト言ツテ威張ツテ居マスヨ、斯ウ云フ風ナコトモ申シテ居ラレマシタ、可ナリ放漫ナ貸出ガ庶民金庫ノ方ニハアルト云フコトヲ、丁度此處ニ入ル前ニ院內ニ於テ言ツタ人ガアルノデアリマス、デアリマスカラ、恩給金庫ハ恩給金庫トシテ御考ガ願ヒタイ、庶民金庫ノ例ヲ御取リニナリマスルト、其ノ取扱ガ非常ニ「ルーズ」ニナリハシマセヌカ、ト申シマスルノハ、庶民金庫ハ金ヲ借りル範圍ノ人ガ違フノデアリマス、又戻サナクテモ時ニ依ツテハ仕方ガナイト云フ組織ニナツテ居リマス、恩給金庫ハ必ズ取上ゲル制度ニナツテ居ル、償還能力ガナケレバ致シ方ガナイト云フ、サウシタ自然放漫ニ陥リ易イ庶民金庫ノ例ニ御取リニナリマスルト、自ラ恩給金庫ノ經營振リモ怠慢ニ陥ルト云フコトモ、自然生レテ來ルト思フ、此ノ點ハ十分御警戒願ヒタイト思フノデアリマス、只今前ノ兒玉理事長ガ二万五千圓ノ給料ヲ御取リニナラナカツタト云フコトヲ承リマシテ、洵ニ結構ナコトト私ハ承知致シマス、却テ寧ろ恩給金庫ノヤウナ本旨ト致シマシテハ、一ツ

ノ美談ダト考ヘマシテ、其ノ點ハ私カラ寧
ロ感謝シ、私ノ言葉ヲ訂正致シタイト思ッ
テ居リマス、私ハ政府委員トノ言葉ノヤリ
取りハ、單ナル其ノ場限リデナクシテ、私
ノ申上ゲタ事實ニ、是ダケノコトヲ申上ゲ
ル以上ハ相當ナル事實ガアリ、相當ナル必
要性ガアルノダト云フコトヲ御考下サイ、
御答辯ニハ色々御理由モアリマセウケレ
ドモ、ドウカ其ノ意味ニ於テ十分ナル監督
ト、又直スベキ點ガアリマシタラ、御直シ
下サランコトヲ切ニ希望致シマシテ、私ノ
質問ヲ打切りマス

○菊地委員 私ハ今度ノ改正法案デ、今マ
デ願ミラレナカッタ人ガ、大分救ハルコト
ニナリマシタコトハ、非常ニ喜バシイコト
ダト思フノデアリマスガ、尙ホ此ノ改正ダ
ケデハ救ハレナイ者ガ多數アルト云フコト
ハ、先程申サレマシタヤウニ、第一ニハ戰
死者ノ本當ノ妻デアリ、本當ノ子供ガ救ハ
レナイノガ、多數アルト云フコトヲ申サレ
タノデアリマスガ、尙ホ外ニモアルノデア
リマス、私ハ細カイ此ノ種ノ關係ノ法規ガ
分リマセスカラ、實例ヲ以テ申上ゲヨウト
思フノデアリマス、是ハ一ツ陸軍ノ方モ十
分御聽ヲ願ヒマシテ、サウシテ御考究ヲ願
ヒ、又之ニ對スル明確ナル御判斷ヲ願ヒタ
イト思フノデアリマス、此ノ實例ハ、日露
戰爭ノ當時、衛戍病院ノ「レントゲン」ノ助
手トシテ働イテ居ツタ、其ノ仕事ノ間ニ於テ
火傷致シマシテ、退職シタノデアリマス、
所ガ其ノ病狀ハ日ヲ經ルニ從ヒマシテ非常
ニ昂進シタノデアリマス、現在ノ狀態ヲ見
マスルト、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデア
リマス、是ハ昭和七年十月十九日ノ診斷書
ヲ見マス「一、傷名「レントゲン」火傷、二、

現症、體格榮養共ニ中等胸腹部ニ病徵ナシ、
右上肢ハ前膊中央部以下皮膚ハ全部交錯セ
ル暗赤色斑ト白色斑トヲ以テ被ハレ、右手
環指小指ハ全亡失シ、同示指中指ハ爪ヲ亡
失シ、掌指及ビ指骨間關節伸展位ニ全強剛
シ、同拇指ハ掌指關節完全伸展位強、同指
骨間關節ハ僅ニ屈伸シ得、而シテ全掌面竝
ニ背面ノ皮膚ハ痛覺過敏ニシテ輕易ノ接觸
ニ依リテ激甚ナル疼痛ヲ惹ヘ、環小指ノ切
斷端ニ於テ該疼ハ殊ニ激甚ナリ「レントゲ
ン」寫眞添付」斯ウ云フヤウニナツテ、大阪
衛戍病院附陸軍一等軍醫正倉學一ト云フ人
ノ診斷ナノデアリマス、是ハ一見何カ惡質ノ
病氣ヲ持ツタ者ダト云フノデアリマス、サ
ウ云フ外見ヲ持ツテ居リマスノデ、風呂屋
ナンカニハ到底行カレナイト云フ狀況ニ立
至ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ
自分ガ衛戍病院ニ勤務シテ、所謂軍屬トシ
テ働イテ居ツタ者ガコンナ結果ニナツテ居
ル、所ガ之ニ對シテハ、退職ノ時ニ僅カ三
十圓餘ノ金ヲ貰ツタニ過ギナイノデアリマ
ス、一體斯ウ云フ者ニ對スル救済方法ガ、法
規ノ上ニナイノデアリマセウカ、此ノ頃色々
ナ法規ガ出テ居リマスルノデ、之ニ依ツ
テ救ハレル途ガアルノダラウト思フノデア
リマスガ、併シ是モ亦法規ノ性質上、法律
ガ出テカラ此ノ人ニ對スル適用ガ、ズツト
日露戰爭マデ遡及シテ居ラナイ、是ハヤハ
リ遡及權ヲ持タシテ、少クトモ日露戰爭時
代カラ遡及シテ居ルナラバ宜イノデスケレ
ドモ、是ガ行ハレテ居ラナイ、ドノ法規ヲ
見マシテモ、此ノ人ヲ救フ法規ガナイ、是
ハ私ハ恩給法ノ缺點デハナイカト考ヘルノ
デアリマスガ、斯ウ云フ者ニ對スル救済法
ガアルノカ、ナイノナラバ私共ハ缺點トシ

テ、之ヲ改正スル意思ガナイカドウカト云
フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス
○平木政府委員 只今御舉ゲニナリマシタ
問題ハ、詳シク診斷書或ハ調書ヲ拜見シマ
セスト、何トモ申上ゲ兼ネルノデアリマス、
後デ調べマシテ間違ツテ居レバ訂正致シマ
スガ、大體今ノ御話デ想像致シマスノニ、
其ノ人ハ大阪衛戍病院ノ「レントゲン」ノ助
手ト云フ御話デアリマシタガ、恩給法ニ規
定シテ居リマスル、所謂公務員デアアルカド
ウカ、若シ公務員デアリマシタナラバ、今
御述ニナリマシタヤウナ傷痕ヲ受ケマシテ、
胎後機能障害ヲ殘シテ居ル者ニ對シマシテ
ハ、恐ラク傷病年金程度位ノ年金ハ行キサ
ウニ思ヒマス、是ハ後デ詳シク調書ヲ拜見
シマセスト、ハッキリシタコトハ申上ゲラレ
マセスケレドモ、大體今御讀上ニナリマシ
タヤウナ狀況デアリマス、傷病年金ト云
フヤウナ程度ノ年金ガ行クノデハナイカ
ト、マア私ハ想像スルノデアリマス、ソレ
ガ行カナイ所ヲ見マス、公務員デヤナイ
ノデヤナイカ、詰リ雇カ何カノ身分ヲ
持ツテ居ル人デハナイカ、若シサウ云
フコトニナリマス、恩給法デハ公務員
以上ヲ規定シテ居リマシテ、雇以下ノ者ニ
付キマシテハ恩給法デハ取扱ツテ居ナイ、
此ノ雇以下ノ者モ恩給法デ取扱ツテ貰ヒタ
イト云フ論ハ、前カラ色々アルノデアリマス
スケレドモ、是ハ餘程大キナ問題デゴザイマ
スカラ、中々サウ致シ兼ねテ居ル次第デア
リマス、サウ云フ事情デヤナイカト思ヒマ
シテ、一應申上ゲテ、間違ツテ居リマスレ
バ後デ訂正致シマス

○菊地委員 私ノ申上ゲタノガ足りナカッ
タノデアリマスガ、陸軍雇員ト云フコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、隨テ恩給法ニハ
當嵌ラスト思フノデアリマス、併シ斯ウ云
フ事情デアリマシテ、本人ハ今年六十何歳
ニナツテ居リマスガ、外ニ出テ歩クト惡疾
ト見ラレルノデ、風呂ニモ行ケナイト云フ
ヤウナ狀態デ、其ノ人ハ常ニ隣人ニモウ死
ニタイノト云フヤウナコトヲ言ツテ居ル
ノヲ聞イタ時ニハ、何トカシテ之ヲ救ツテ
ヤラナケレバナラスト云フ感ジヲ抱カザル
ヲ得ナイノデアリマス、單ニ形式上、ソレハ公
務員ノ資格ガナイト云フダケデアツテ、實
質上陸軍ノ仕事ニ協力シ、當時ノ日露戰爭
ニ協力シタ人デアリマス、ソレガ退職ニ際
シテ三十圓貰ツタダケデ、後ハ抛リ放シニ
サレテ、シマフト云フヤウナコトハ、斷ジ
テアツテハナラスト思ヒマス、雇員デア
ルト公務員デアルトニ拘ラズ、一切ノ舉ゲデ
協力シタ人ニ對シテハ、其ノ功勞ニ報ユル
カ、或ハ其ノ人ノ將來ヲ國家ガ見テヤルト
云フ立場ニ立タナケレバナラスト思フ、法
規ガ今仰セラレタヤウデアリマスナラバ、
何等カノ方法ヲ講ジテ戴キタイ、斯ウ云フ
問題ハ、單ニ私ノ知ツテ居ル此ノ人一人デ
ハナク、斯ノ如キ狀態ニアル多數ノ人ガ存
在スルコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、斯
ウ云フ問題ニ對シテ、政府ハ宜シク其ノ方
法ヲ講ズベキデアルト考ヘルノデアリマス、
私ハ法規ノ解釋其ノ他ノ問題ニ付テハ、又
直接御目ニ懸ツテ色々御願シタイト思ヒマ
スガ、雇員ヲ含マナイヤウナ恩給法ハ、完
全ナモノデナイト信ジテ居リマスノデ、ド
ウカ其ノ點ニ付テハ十分御検討ヲ戴キ、或
ハ之ニ依ツテ國ノ負擔ガ多クナルト云フコ
トヲ、御考ニナツテ居ルデアラウト思ヒマ
スガ、内縁ノ妻ト云ヒ、内縁ノ子ト云ヒ、

ナツテ居ルノデアリマス、隨テ恩給法ニハ
當嵌ラスト思フノデアリマス、併シ斯ウ云
フ事情デアリマシテ、本人ハ今年六十何歳
ニナツテ居リマスガ、外ニ出テ歩クト惡疾
ト見ラレルノデ、風呂ニモ行ケナイト云フ
ヤウナ狀態デ、其ノ人ハ常ニ隣人ニモウ死
ニタイノト云フヤウナコトヲ言ツテ居ル
ノヲ聞イタ時ニハ、何トカシテ之ヲ救ツテ
ヤラナケレバナラスト云フ感ジヲ抱カザル
ヲ得ナイノデアリマス、單ニ形式上、ソレハ公
務員ノ資格ガナイト云フダケデアツテ、實
質上陸軍ノ仕事ニ協力シ、當時ノ日露戰爭
ニ協力シタ人デアリマス、ソレガ退職ニ際
シテ三十圓貰ツタダケデ、後ハ抛リ放シニ
サレテ、シマフト云フヤウナコトハ、斷ジ
テアツテハナラスト思ヒマス、雇員デア
ルト公務員デアルトニ拘ラズ、一切ノ舉ゲデ
協力シタ人ニ對シテハ、其ノ功勞ニ報ユル
カ、或ハ其ノ人ノ將來ヲ國家ガ見テヤルト
云フ立場ニ立タナケレバナラスト思フ、法
規ガ今仰セラレタヤウデアリマスナラバ、
何等カノ方法ヲ講ジテ戴キタイ、斯ウ云フ
問題ハ、單ニ私ノ知ツテ居ル此ノ人一人デ
ハナク、斯ノ如キ狀態ニアル多數ノ人ガ存
在スルコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、斯
ウ云フ問題ニ對シテ、政府ハ宜シク其ノ方
法ヲ講ズベキデアルト考ヘルノデアリマス、
私ハ法規ノ解釋其ノ他ノ問題ニ付テハ、又
直接御目ニ懸ツテ色々御願シタイト思ヒマ
スガ、雇員ヲ含マナイヤウナ恩給法ハ、完
全ナモノデナイト信ジテ居リマスノデ、ド
ウカ其ノ點ニ付テハ十分御検討ヲ戴キ、或
ハ之ニ依ツテ國ノ負擔ガ多クナルト云フコ
トヲ、御考ニナツテ居ルデアラウト思ヒマ
スガ、内縁ノ妻ト云ヒ、内縁ノ子ト云ヒ、

同ジク戦死者ノ妻デアリ、血筋ヲ引イタ本
當ノ子供デアルト云フ點ヲ十分御考下サイ
マシテ、名前ハ雇員デアツテモ、國家ノ爲
戰爭ノ爲ニ協力シテ者デアルト云フコトヲ
御考ニナルナラバ、其ノ間ニ區別ガアツテ
ハナラスト固ク信ズルノデアリマス、此ノ
點ニ付テハドウカ十分ニ御研究下サイマシ
テ、萬全ノ策ヲ立テラレンコトヲ希望致シ
マシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○古屋委員長 福田君

○福田委員 恩給ノ改正案ニ付キマシテ一
寸御伺シタイノデアリマス、一體恩給ニ付
キマシテハ、其ノ根本ガ吾々モ中々分ラナ
イノデアリマス、又恩給ヲ受ケニナル方
モ、私ハ本當ニ分ツテ居ラスノデヤナイカ
ト思ヒマス、ダカラ恩給法ノ改正ニ付テハ
相當ニ其ノ方面モ御考ノ上改正ニナルベキ
モノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、
一體恩給ノ性質ハ、俺ハ何年勤メタカラ當
然貰フノダト云フ、權利義務ノ觀念カラ出
發スルコトハ、ドウモ少シ間違ツテ居ルノ
デハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ハレルノデア
リマス、日本ノハ明治八年ニ武官ノ傷痍ニ
關シマシテ、サウ云フツノ例ガ出來タノ
デアリマスガ、日本ニハ開關以來斯ウ云フ
コトハナイノデアリマス、外國デハ恩給ハ
國王ノ御仁惠、御仁慈ノ結果デ、御與ヘニ
ナルモノモアルシ、御與ヘニナラヌモノモ
アルノデゴザイマス、ソレヲ日本ノ恩給法
ハ、當然給料デモ貰フヤウナ感じデ取ルヤ
ウニナツテ居ル、是ハ間違ツテ居ルト思フ、
隨テ本改正案ノ立案ニ於カレマシテモ、其
ノ方針デ行カレスト、此ノ非常時局下ニ、
恩給ノ爲ニ國ガ餘程危クナル、財政的ニ非
常ナ障礙ニナルコトモナシトハシマセヌ、

事變デ之ニ浴スル者ガ、非常ニ増加シテ來
ルノデアリマスカラ、其ノ點ヲ御考慮ニナ
ツテ、本法ノ御改正ヲサレタカドウカ、
先ヅ此ノ點ヲ御伺シタイノデアリマス、唯
事變下ニ鑑ミテ、年齢其ノ他ニ關スル一部
ノ改正ダケト云フ單純ナ考デ、アア云フヤ
ウナ案ガ出テ居ルノデアリマスカ、其ノ根
本ノ御理想ニ付テ少シク御伺シテ見タイ
○平木政府委員 只今御述ニナリマシタコ
トハ、先達デモ他ノ委員ノ方ヨリ伺ツタノ
デアリマスルガ、要スルニ第一條ニ書イテア
リマスル「本法ノ定ムル所ニ依リ恩給ヲ受ク
ルノ權利ヲ有ス」ト云フ言葉竝ニ其ノ實體、
詰リ恩給ノ權利トシテ認メルコトガ宜イカ、
ドウモ宜クナイノデハナイカト云フ風ナ御
意見ダト承ツタノデアリマス、之ニ付キマ
シテハ、常ニ私共ノ方トシテ考ヘテ居ルコ
トデゴザイマスガ、現在ニ於キマシテハ、
是ハ此ノ儘ニシテ置イタガ宜カラウ、斯ウ
云フ風ナ意味ニ於キマシテ、之ヲ通俗ニ申
シマスレバ、恩典タルコトニ於テハ、是ハ
誰ガ見マシテモ間違ノナイコトデアラウト
思フノデアリマス、併シナガラ國ガ其ノ恩
典ヲ與ヘル場合ニ於キマシテ、此ノ恩典ヲ
與ヘル方法、形式ニ付テハ色々考ヘルコト
ガ出來ラダラウ、例ヘバ現在、天皇ノ大權
ニナツテ居リマス、勳章ノヤウナヤリ方、
或ハ現在規定シテ居リマス恩給ノヤウナヤ
リ方、其ノ他色々アルカモ知レマセヌガ、
分ケレバ此ノ二ツノヤリ方ガアルダラウ、
サウシマス、此ノ恩給ヲ勳章ト同ジヤウ
ナ行キ方、是ハ何ト申シマスルカ、權利デ
ハナイト云フコトニ致シマスレバ、大體
ニ於テ政府ノ獨斷專行ト申シマスルカ、
ドノ位金額ヲ與ヘルト云フコト、ドウ云フ

風ニシテ與ヘルト云フコトナドハ、總テ是
レ政府ノ獨斷專行ニ任セル方法ガ一ツ、ソ
レカラ現在ノ恩給法ニ規定シテ居リマスル
ヤウナ、斯ウ云フ條件ノ場合ニハ、是レノ
ノ恩給ヲ與ヘルト云フコトヲ、法律デ以テ
明カニ規定シテ行クコト、此ノ二ツガアル
ダラウト思フノデアリマスルガ、此ノ恩給
ハ御承知ノ通りニ、他ノ恩典ト違ヒマシテ、
相當ナ財産的ナモノデアリマスルカラ、本
人ノ生活ニ直接關係ヲ持ツモノデアリマス、
隨ヒマシテ幾ラ貰ヘルノカ、何時貰ヘルノ
カト云フコトヲ明カニシテ置キマスルコト
ガ、本人ノ生活ヲ安定サセル重要ナコトデ
ハナイカ云フト風ニ考ヘマスル結果、現在
ノヤウナ規定ヲ設ケマシテ、之ヲ變ヘルト
云フコトハ餘リ適當デハナイト云フ風ニ現
在考ヘテ居リマス、隨ヒマシテサウ云フ風
ナ内容ガアリマスルカラ、サウ云フ風ナ内
容ヲ現在普通權利ト呼ンデ居ルノデアリマ
ス、ソレヲ唯此處ニ權利ヲ有スト云フコト
ニシテ居ルノデアリマス、只今御述ベニナ
リマシタヤウニ、此ノ權利ト云フコトヲ、
往々ニシテ誤解スル者ガ多イノデアリマシ
テ、如何ニモ天賦ノ權利ト申シマスルカ、
サウ云フ風ナ特權ノヤウニ誤解シテ居ル者
モナイトハ限ラナイノデアリマス、御承知
ノ通り、斯ウ云フ國家ノ大キナ恩典ヲ受ケ
マスル權利ノ半面ニハ、相當國家ニ對スル
義務ヲ考ヘルト云フコトハ、是ハ當然ノコ
トデアリマス、ソレデアリマスルカラ、受
給者ニ付キマシテハ、サウ云フ誤ツタ考ノ
ナイヤウニト云フコトハ、今後十分注意シ
テ行キタイト思ヒマスルガ、此ノ恩給法ニ
規定シテ居リマスル内容ヲ變ヘルト云フコ
トハ、必ズシモ適當デハアルマイ、斯ウ云

フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス
○福田委員 政府ハ大體何事デモ大シク御
改革ヲナサラスト云フヤウナ方針デアリマ
スノデ、一面已ムヲ得ストハ思ヒマスガ、
恩給、殊ニ今ノヤウナ事變下ニ於キマシテ
ハ、恩給ヲ取ル人モ少シハ考ヘテ貰ハナケ
レバナラス所ガアルノデアリマス、ソレカ
ラ恩給ノ均霑ガ、大抵本官ダケデ、隨テ國家
ノ恩給法ガ地方ノ公共團體ニモヤハリ之ヲ
眞似テ致シマスカラ、國家ノ恩給法ノ機構
ノ改革ハ全部ニ及ブ、然ルニ今日マデ唯初
メノ「スタート」ガ誤ツテ學歴ノナイ爲ニ雇
員デアルトカ、臨時雇トカ、雜役トカ、給仕
トカ云フナウナモノガアル、政府ノ方面ニ
モ是ガ多數アリマス、隨テ地方ノ公共團體、
自治體ナドニハ、非常ニ澤山アル、中ニハ二
十年、三十年、所謂官署若クハ公署ニ勤務
シテ居リマシテモ、ヤハリ規定ノナイコト
ニ依ツテ、解雇ノ時ニ何等與フベキ途ガナイ、
斯ウ云フヤウナ者ヲ、ツイ臨時雇デアルカラ、
雜役デアルカラ、雇員デアルカラト云ウテ
モ、必ズシモ名前ノ如クニ臨時デハナイ、數
年——私共ノ色々關係シテ居リマス所デハ、
三十年一日ノ如クニ勤メタ者ハ相當數ガア
ル、サウ云フヤウナ者ニ恩給ノ恩典ガ行カ
ナイト云フコトハ、恩給法ノ根本的精神ガ
今御話ノヤウナ權利カリトシテ放任シテ居
ルトハ言ヒナガラ、實際ノ性質ハ一ツノ御
恩典ダ、斯ウ云フヤウナ觀點カラ參リマス
ルナラバ、是ハ私ハ一般ニ及ボサナケレバ
ナラスト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ
ハ一體少シモ政府ハ御考ニナツテ居ラスノ
デアリマスカ、如何デゴザイマスカ御尋致
シマス

○平木政府委員 只今ノ雇員其ノ他ノ傭員

第六類第九號 會計検査院法中改正法律案委員會會議錄

第七回 昭和十五年三月十三日

第七五

ニ恩給法ヲ適用シテ、恩給ヲ給與スルコトニシテハドウカ、サウ云フコトヲ考ヘテ居ルカドウカト云フ御質問デゴザイマシタガ、此ノ問題ハ先程モソレガ出タノデアリマス、恩給局ト致シマシテモ、常ニ其ノ問題ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、出來ルダケ恩典ヲ斯ウ云フ人達ニ及ボシタイト云フコトハ、考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、何ト申シマシテモ、雇員、傭員トナリマス、非常ニ該當者ガ多イノデアリマス、ソレデアリマスカラ、之ヲヤルカヤラスカト云フコトハ、色々ナ點カラ考ヘナケレバイケナイガ、一番大キナ點ハ、財政上ノ負擔トシテ之ヲヤレルカドウカト云フコトガ、常ニ吾々トシテハ問題トナルノデアリマス、ソレ等ノ點モ色々考ヘマシタ結果、本年ニ於キマシテモ、ヤハリ此ノ度ノ改正ニソレヲヤルト云フコトニハ至ツテ居ナイ、或ハ恩給以外ノ方法デ、共濟組合デアリマスとか、或ハ其ノ他ノ社會保險ノ施設デアリマスとか云フモノデ、救済スルカドウカト云フコトニナリマス、是ハ私カラ申上ゲル限リデハアリマセヌ、少クトモ現在恩給法ト致シマシテハ、之ヲ考慮スルマデニハ至ツテ居ラナイノデアリマス

○福田委員 一體財政上數ガ多イカラ、サウ云フ者ニハ支給シ得ナイト云フ御答辯デアリマスガ、一體上ノ人ダケガ恩給ヲ取ツテ、下ノ者ハドウデモ宜イト云フコトハ、今日ノ社會政策の方云ヒマシテモ、取ラザル所デアリマスノデ、本當ヲ言ヘバ、之ヲ逆ニシタイ、譬ヘテ見マスルト、本官ナラザル所ノ工場或ハ驛ノ乗務員ト云フヤウナ者ニ、共同ノ出資ニ依ル所共濟會主義ヲ執ツテ、一部ノ官吏ダケガ國民ノ膏血ニナ

ル所ノ、國家カラ之ヲ負擔シテ貰フト云フコトハ、是ハ實際庶政一新ト云フヤウナコトヲ少シハ御考ニナツテ居ルデセウガ、モウ少シ御考ニナラヌトイカヌト思フ、上ノ者ダケガ取レバ、下ノ者ハ犧牲ニスル、其ノ犧牲ニナル所ニ恩給ガ必要ナノデアアル、今日デハオ役人ノ方ハ御辭メニナツテモ相當ノ捌口ガアル、本當ニ必要ナノハ三十年モ勤メテ、四十或ハ五六ニナツテ、別ニ特殊ナ技能モナイカラ行キ場ガナイ、働クニハモウ老齡デイカヌ、斯ウ云フヤウナ者ガ、本當ニ恩給ノ必要ガアルノデ、現在御取リニナツテ居ルヤウナ方ニハ、一部分ハアリマスケレドモ、大部分ハ要ラス、本當ハ斯ウ云フ非常時ニハ、斯ウ云フ恩給制度ハ先ヅ改革ナサル位ノ、一ツ革新政策ヲヤツテ貰ハナイト、國民ガ中々非常時局ニナルニ從ツテ協力ノ度ガ少クナツテ來ル、斯ウ云フ風ニ私共ハ思フ、庶政一新ト言ツタツテ、唯總テヲ官僚化シテ、サウジテ官僚集權化ヲ圖ルハ庶政一新デハナイ、ソレハ退歩ノ極デアリマス、サウシテ國民ヲ虐ゲテ、國民ノ政治ニ對スル協力ヲ妨ゲツツアル、今日國民全體ニ澎湃シテ居リマス所ノ思想ハ怖ルベキモノデアリマス、私共ノ所ヘ來ル手紙ニモ戰慄スベキモノガアル、サウ云フヤウナコトヲ一向御考ヘナクテ、今度ノ事變デ恩給法ヲ改正スルト言ヒナガラ、ソレハ極ク僅カナモノトナツテ居リマス、ソレカラ恩給ノ與ヘ方ガ斯様ナヤリ方デハイカヌ、人間ヲ殺スコトニナル、サウ云フ點ヲ御考ニナツテ、同ジ御改革ニナルナラバ、ナゼ根本ニ觸レテ改革サレナカッタウカ、何モ彼モ總テノ法ノ改正ガドウモ面白クナイ、例ヘテ見

マス、今三十、四十デ辭メタ人ニ年功ニ依ツテ恩給ヲ與ヘマスルガ、其ノ人ハ直チニ他ノ職務ニ就イテ居ル、少シ上ノ人ニナルト、相當ナ地位ニ就キ、或ハ會社ノ顧問トナリ、相談役トナリ、有ユル方面デ相當ノ給料ヲ取ツテ、結局本給ヲ貰ツテ居ル時ヨリモ、ヨリ以上ノ給料ヲ取ツテ居ル者ガ統計上少クナイ、サウ云フ者ニ恩給ヲ與ヘルコトガ、抑、根本カラ間違ツテ居ル、ダカラサウ云フヤウニ本給ヲ得テ實際ニ就職シテ、生活ニ困ラス者ニハ、恩給ヲ一時停止スル位ノコトヲ爲サル御考ガ政府部内ニハナイノデゴザイマスカドウデゴザイマス、其ノ點ヲ承ツテ見タイト思フノデアリマス、三十、四十ノ人ハ働キ盛リデアリマス、ソレ等ノ者ニ向ツテ僅ニ勤メタカラト云ツテ恩給ヲヤル、恩給ヲヤルマデニ年俸或ハ月俸トシテ相當ノ金ヲ支給シテ居ル、官吏ナルガ故ニ、サウ云フヤウナ國民ノ膏血デアアル國家ノ恩給ヲ受ケルコトハ、本當ヲ言ヘバ、非常時局ヲ擔任スル政府ノ爲サレ方トシテハ、少シ不均衡過ギル、殊ニ斯ウ云フ非常時局中ハ、國民ニ大變ナ犧牲ヲ拂ハセルノデアリマスカラ、此ノ際ハサウ云フヤウニ實際ニ職務ニ就イテ居ル者ニハ、恩給ヲ非常時局ノ間ノ停止セシメル、此ノ位ノ英斷ニ出ラレノガ、私ハ至當ダト思フ、サウ云フ御考ハ一體政府部内ニ少シデモナカッタノデゴザイマス、如何デゴザイマス、御伺致シタイノデアリマス

○平木政府委員 高額所得者ノ恩給ノ停止ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ於キマシテハ、從來規定ニ於キマシテモ、大體二割ヲ停止スル規定ニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、從來二割停止ニナツテ居リマシタガ、現下ノ色々ナ事情カラ考ヘマシテ、更ニ此ノ停止ヲ増率スル必要ガアルト認メマシテ、今度増率ノ改正案ヲ出シタノデアリマス、唯是以上ニ停止スルトカ、或ハ全額停止スルトカ云フコトハ、恩給ノ性質ノ問題、或ハ其ノ他ノ色々ナ事情カラ適當デハナイト考ヘマシテ、提案ノヤウナコトニ致シタ譯デアリマス

○福田委員 今ノ改正ノ一割、二割ノ減額ハ不徹底デアルカラ、私ハ斯ウ云フヤウナ議論ヲシテ居ル譯デアリマス、其ノ位ノコトデハ、一般ノ人々ノ犧牲ト相對比致シマシテ、均衡ガ取レヌ、斯ウ云フノデアリマス、サウシテ今ニハ御參考ニデアリマスガ、恩給ト云フコトニ付テハ、今後日本ハ數十年ノ間非常ニ困難ニナリマス、ソレハ名狀スベカラザルモノデアリマスカラ、此ノ方面ニモ御著眼ナサレテ、御改革ナサラナケレバナラヌ、ソレニハ此ノ改正ヲシテ、ドウシテモ近イ中ニ、斯ウ云フコトニシテ貰ハナケレバナラヌト思フ、他ニ何カ現職ニ就イテ給與ヲ受ケツツアル者ニハ、隨デ生計ヲ確立シ得ル者ニハ、一時恩給ノ支給ヲ停止スル、ソレカラ今サウ云フ風ニ實施サレテ居ル所デアリマスガ、全體ヲ通ジテデハナイノデアリマスケレドモ、増税ニ依リマシテ、國債ニ應ズル者ガ、相當少クナル傾向ガナイトハ言ヘマセヌ、先程來他ノ委員會ニ於テモ、大藏大臣ニ私ハ之ニ付テ相談シテ居ルノデアリマス、ソコデ恩給ヲ改革シテ、サウ云フ風ニ現職ニ就ク者ニハ、全部一時之ヲ中止スルコト、サウ云フ風ニ將來ハ進ンデ戴カナケレバ、コンナ現在ノヤウナ改正案デハ、洵ニ不徹底デアリマス、一面又三、四十歳ノ者ニ恩給ヲ與ヘルト云

フコトガ、抑、間違ッテ居リマス、是ハ勤
メノ年限ニアラズシテ、年齢ニ基イテヤ
ルベキモノデアル、併シナガラ三年や五年
勤メタ者ニ恩給ヲヤル譯ニハ行キマセヌカ
ラ、現在ノ恩給ノ年限ヲ延長致シマシテ、
其ノ延長シタ結果、年齢ガ三四十デハ、病氣
或ハ公傷其ノ他ノ疾病ニ依ル者ノ外ハ、恩
給ノ給與ヲ受ケラレナイヤウニスル、ソレ
ガ現在ノ、斯ウ云フ恩給法デ行キマス、亡
國ノ性質ニナツテ居リマス、サウ云フ働
キ盛リノ者ニ恩給ヲヤルコトハ、結局仕事
ヲセズニ遊ンデ居ルコトニナル、是ハ國家
經濟、人物經濟ノ上ニ非常ナ損失デアリマ
ス、是カラ仕事ヲスレバ儲カルカラヤラウ
ト云フ人ガアリマシテモ、中ニハ少シバカ
リノ財産ガアリ、恩給モ來ルカト云ツテ、
マア止メテ置カウト云フコトニナリマス
ト、折角ノ働キ盛リヲソレデ中止セシムル
コトニナル、ソレハ一面ハ國家經濟、人物
經濟カラ言ツテ、非常ニ不經濟デアリマス、
斯ウ云フ點ハモウ少シ御考ニナラナケレバ
ナラス、モウ一ツハ、官吏身分保障令デアリ
マス、官吏身分保障令ノ爲ニ、刑役ニ觸レ
ザル限りハ、怠惰ナ、無勤勉ナ者デモ、年限
ガ來レバ、恩給ニアリ付ク、又給料モ貰フ
デアリマス、斯ウ云フコトガ官吏ノ能率ノ
増進セザル根本原因デアリマス、サウ云フ
怠惰ナ無勤勉ナ者デモ恩給ヲ與ヘルコト
ハ、恩給ノ根本ノ性質ガ間違ッテ居ル、恩
給ト云フモノハ、サウ云フモノデハナイ、
特ニ官吏トシテ、公吏トシテ、自分ノ體ヲ數
年間犠牲トシテ、本當ニ國家ニ勤勉シタ者
ダケヲ認メテ、サウ云フ者ニ恩給ノ恩典ニ
浴セシムルヤウニスレバ、今日ノ官吏ハド
ノ位勤勉ナ、誠實ナ、實直ナ御働キガ出來ル

カト私ハ見ルノデアリマス、人ヲ使ヒマス
ルニハ、斯ウ云フ所ニ著眼シナケレバナラ
ス、一律ニ年限サヘ來レバ恩給ヲ與ヘルト
云フノデハ、是ハモウ當リ前ダト云フコ
トニナル、人間ニ感奮興起ヲ與ヘルニハ、
何等カノ刺激ガナクテハナラヌノデス、是
ハ人間ノ通弊デアリマス、ソレデハナラヌ
ノデアリマス、大體地方ニ於キマシテ、今
日官規紊亂トカ人権蹂躪ヲワザ／＼ヤツテ
モ、刑役ニサヘ觸レナケレバ大丈夫ダト云
フコトデアリマスカラ、悉ク修養ガ出來ナ
イ、中ニハ爲サル方モアリマセウケレド
モ、大多數ハ大學ヲ出デ高等文官試験ヲ受
ケレバソレキリデ、本モ見ナイ、唯年限
サヘ來レバト云フノデ、勉強スル者ハ百人
ノ中十人カ一「プロ」位ノモノデアリマセ
ウ、大體ハ修養シマセヌ、サウシテ月日ノ
經ツノヲ待ツテ居ル、斯ウ云フ傾向ニナ
ル、ソレデハ折角ノ人物ノ能率モ上ラズ、
自分ノ持ツテ居ル特異ナル技能ノ進歩發
展、或ハ研究等ニ頭ヲ使ハナイノデアリマ
ス、結局本當ノ人物ハ官界ニハ居レナイ、
自主獨立ノ見識ヲ持ツテ居ル者ハ居レナ
イ、結局御無理御尤モ主義ノ人ガ一番成功
スル、ト云フノハ本當ノ人物ヲ採用スル意
思ガナイ、ソレデ國費ハド／＼濫費サレ
ル、私ノ友人デ高等文官試験ヲ受ケテ、非
常ニ出來ル人デ、一ツノ仕事ヲシテ居ツタ
ガ頭ガ良イカラ課長サンモソレノ言フコト
ニハ敵ハナイ、サウスルトサウ云フモノハ
高等官ハ等ニシテ置イテ、自然ニ辭メサセ
ルヤウニスル、斯ウ云フコトガ今日行ハレ
テ居ル、恩給局ト致シマシテハ、國民ノ頭
ニサウ云フ點ガ非常ニ強く潜在シテ居ルコ
トヲ御認識ニナツテ、今直チニ此ノ改革ノ

案ヲ御出シナサイト云ツテモ不可デゴザイ
マセウガ、遠カラザル中ニ是ガ根本的ノ改
革ヲナサリ、非常時局ニ對スル一般國民ト
共ニ、恩給ヲ受ケル者モ此ノ覺悟ヲシテ居
ルト云フコトヲ御見セニナルコトガ、今日
日本國民ノ全體ヲシテ、非常時局ニ協力セ
シムル原動力トナルノデアリマス、當ニ官
界ニ於キマスル恩給ヲ受ケル人ノ反對ト云
フコトデナシニ、日本全國ニ及ボシマスル
影響ハ、非常ナモノデアアルノデアリマス、
一面ニ於テハ共濟會ト云フモノヲ作ツテ、
自分モ費用ヲ出シ、辭メル時ニハ幾分カ貴
ハウト云フヤウナ、共濟主義ニスルコトモ
結構デス、サウ云フ風ニ共濟主義デ、自分
ノ出シタモノヲ自分ガ貰フ、ソレニ國家其
ノ他ガ一部補助シテ與レルト云フコトニシ
テヤツテ居ルノニ、一面ノ人ガ斯ウ云フ風ニ
ナルト云フコトハ、是ハ餘程御考ヲ願ヒタ
イノデアリマス、ソレカラ今申上ゲマシタ
恩給法ノ恩惠の性質ヲ、十分官吏ニ理解シ
テ貰ツテ、サウシテ今ノ勤務中ニ特殊ノ貢
獻ノアル者ニハ、同ジ恩給デモ差別ヲ付ケ
ルト云フコトガ宜イト思フノデアリマス、
先ヅ私立會社ノ經營ニ致シマシテモ、
私立會社ハ社長、副社長、或ハ重役ト云フ
モノハ、自分ガ株主デアリマスカラ、
直接利害關係ガアリマスノデ能ク見マ
シテ、當ニ情實因縁ニ依ツテ、社長ヤ重役
ノ所ニ箱菓子ヲ持ツテ、臺所カラ入ツテ來
ルカラ、可愛イト云フコトデナクシテ、
アノ人間ガ居ツタカラ、此ノ會社ハ是ダケ
ノ利益ヲ得タ、實ニ給料以上ノ仕事ヲシテ、
此ノ會社ノ繁榮ヲ來サシメタト云フコトガ
明ニナルノデアリマスガ、國家ト云フ大キ
ナ所ニナルト、サウ云フ點ハ分ラナイ、前

ノ課長サンハ非常ニ褒メテ居ラレタガ、其
ノ課長ガ轉任シテ餘所ヘ行カレルト、其ノ
下積ミニナツテ居ル者ハ、實ニ氣ノ毒ナ者
ガアル、ソレデソレ等ノ人々ノ働キヲシテ
常ニ調査研究セシメル機關ヲ置イテ、能ク
監理局ナカガ働イテ、課長ガ代ツテモ、
局長ガ代ツテモ、之ヲズツト繼承セシメテ、
サウ云フ功勞ノアル人ガ辭メル時ニハ、一
種ノ論功行賞トシテ恩給ヲヤル、私ハ恩給
ハ論功行賞デアルト思ヒマス、其ノ意味ニ
於キマシテ、權利義務ニアラズシテ、論功
行賞トシテ、特殊ナ恩典ヲ與ヘルト云フコ
トガ、今日ノ官界ノ刷新及ビ官吏道ノ實際
上ノ一大進展ヲ圖ラシメル、根本ノ途デア
ルト思ツテ居ルノデアリマス、ソレ等ニ對
シマシテモ十分一ツ御考慮ヲ願ヒタイ、一
大決心ヲ以テ、是ガ御改革ヲナサツテ戴カ
ナケレバ、實際日本ニ於キマスル所ノ民心
ハ、中々面白クナイノデアリマスカラ、吾
吾モ此ノ非常時局ニ協力シテ居ルゾト云フ
コトヲ、官吏ノ方カラ國民全體ニ示スト云
フ上カラ言ツテモ、私ノ今申上ゲルヤウナ
コトニ付テ、恩給局ナドデハ、ドウ云フ風
ニ御考ニナツテ居リマセウカ
○平木政府委員 只今ノ恩給法ハ、現在年
限、俸給其ノ他ニ依ツテ畫一ニナツテ居ル
ノデアリマスガ、之ヲ改メテ、本人ノ功勞
ニ依ツテ恩給額ニ差ヲ付ケル、詰リ論功行
賞ノ意味ヲ以テ、官吏ノ能ク働カセルヤウ
ニスル方法ハ、ドウ考ヘルカト云フ御質問
デゴザイマス、成程思付ト致シマシテ、非
常ニ面白イ考ダト思フノデアリマス、私共
モ常ニ此ノ恩給其ノ他ノコトヲヤツテ居リ
マスレバ、總テ斯ウ云フ法律ト云フモノハ、
ドウシタラ官吏ガ能ク働クヤウニナルカ、

ドウシタラ更ニ一層仕事が出来ルヤウニナルカ、能率が上ルヤウニナルカト云フコトヲ、結局根本問題トシテ常ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フコトモ一ツノ方法トシテ、色々ナ問題ヲ研究シナケレバナラスノデアリマス、唯併シ只今ノ御意見ハ、考トシテハ非常ニ面白イノデアリマスガ、之ヲ具體的ニ實行ニ移ストナルト、實ハ非常ニ難カシイ問題デヤナイカト考ヘルノデアリマス、例ヘバ各省内デアルトカ、或ハ各地方廳トカ、極ク限ラレタ中デアリマスルト、甲ハ乙ヨリモ宜シイ、丙ハ乙ヨリモ劣ルト云フ問題ガ、可ナリハツキリ出デ参リマスガ、恩給局ノヤウニ東京ニ居リマシテ、全國各官廳、各省ノ役人ヲ一手ニ取扱ヒマスル役所ニ於キマシテハ、甲ノ省ト乙ノ省トノ比較、或ハ甲ノ地方ト乙ノ地方トノ比較、其ノ點ニ付キマシテ相當難カシイ問題ガ起リハシナイガラウカ、動モスレバ又同ジヤウナ形式的ナコトニ陥リハシナイガラウカト云フ風ナ點モ、考慮サレノデアリマス、唯サウ云フ風ナ問題ハ、有ユル問題ヲ捉マヘテ研究シナケレバイカヌ問題デアリマシテ、今後モ更ニ研究致シタイト考ヘルノデアリマス

○福田委員 モウ餘リ問ヒマセヌガ、其ノ方法ハ、東京ニアツテ全體ヲ御考ニナルノダカラ、困難ト云フコトニモナリマスガ、私ハ此ノ方法ヲ御立テナサレテ、特殊ナル功勞ノアル者ニ對シテハ、特殊ナル方法ヲ講ズルト云フコトニシテ、此ノ制度ヲ立テルト共ニ、一面ニハ今日一般地方自治體、或ハ半官半民ノ事業會社ナドガヤツテ居リマスト同ジヤウニ、ヤハリ官吏ノ共濟制度ヲ立テナケレバナラスト思フノデアリマ

ス、共濟ノ方デ行キマスモノハ、國家ガ一部ノ共濟資金ヲ出シテ、受ケル人ト共同出資ヲシテ積立テテ置キマスカラ、其ノ方ハ公平ニ均霑シテ宜シイと思フ、アナタノ仰セニナルヤウナ、一般的ニ公平ニナル所ノ均霑ト云フコトハ、共濟ノ方デオヤリニナルガ宜イ、又サウ云フ特殊ナ貢獻者ヲ發見スルニ苦シムト仰シヤイマスカラ、ソレハ共濟主義ニ依ツテ、一部ハ被共濟者カラ出捐シ、國家モ出捐スルト云フコトニ依ツテ、年限ニ依ツテ之ヲ分配シテ行クト云フコトヲシナケレバイケマセヌ、唯恩給法ダケデ全部ヲ賄フト云フコトハイケマセヌ、ダカラサウ云フコトヲナサラウト思フ場合ニ於テ、一面恩給法ニ於テハ、所謂論功行賞的ノ意味デアルカラ、是ハ與ヘナクモ宜イ、漏レタ人ハ不運デアリマスケレドモ、與ヘナクモ宜イケレドモ、官吏ノ行動、身分、總テノ言動ヲ常ニ調査スル機關ハ必要デアアル、地方ニ於ケル監理局ト云フヤウナモノガ、是等ヲ皆統轄シテ行ケバ宜イ、サウシテ一面共濟主義ト並行シテ行ケバ、初メテ改革ガ出來ルト思フ、サウ致シマスコトガ、日本ノ幾十萬ト云フ官吏ヲシテ、本當ニ精勵恪勤ニ向ハシメル所ノ唯一無二ノ途デアルト思ヒマス、是以外ニハ多數ノ官吏ヲ御監督ニナル途ハナイ、地方ニ於テハ經濟部長、警察部長、總務部長ト云フヤウナ者ハ、中々知事ノ言フコトヲ聽キマセヌ、又知事モソレ等ノ者ノスルコトハ、違法デアラウガ、何デアラウガ、放任主義デアリマス、私ナドモ數年間地方自治團體ニ關係シテ居リマシテ、實情ヲ悉ク知ツテ居リマスガ、部長ノ下ニアルヤウナ者ノコトヲ、知事ガ一々ヤツテ居ツテハイケナイ、又出來

ナイ、知事ハ人トノ交際ヲスルトカ、或ハ大體ノ法ヲ立テルノデアルケレドモ、ソレモ認印ヲ捺スダケデアアル、サウ云フ風デアリマスカラ、人事ナドニ付テハ、殆ド知事ト云フモノハ關與シテ居ラス、是ハ關與スル制度ニハナツテ居リマスケレドモ、事實ハサウデナイ、隨テ部長ナリ課長ガ送ツテ行ツテモ、下ノ方デ十年十五年モ居ル主任技手ト云フヤウナ者ガ、此ノ習慣ハ斯ウデスト云フノデ、ヤルノデナケレバ、新シイ人ガボツト行ツテモ、中々實行ガ出來ナイ、サウ云フ者ハ長ク居リマスカラ、精神的ニ弛緩シテ居リマス、弛緩シテ居ル者ハ、何年經ツテモ綱紀ノ肅正ヲスルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ時ニ偶、地方ノ代表的ナ政治家ガ居リマシテ、之ヲ糾弾シテ、已ムヲ得ズ送ヘルト云フヨリ外ニハ殆ドナイノデアリマス、サウ云フヤウナコトデアリマスカラ、論功行賞主義ニシテ現在ノ官紀ヲ振肅スル、前内閣、前々内閣ノ時ニ、官紀振肅ニ對シテ色々内閣カラ御聲明ニナリマシタケレドモ、ソレハ全ク一枚ノ反古デアリマシテ、効能ハナイノデアリマスカラ、之ヲ本當ニ精勵恪勤主義ニ向ハシメル途ハ、此ノ論功行賞的ノ一大改革ヲ爲スニアラザレバ、他ニ臨ムベキ途ハアリマセヌ、内閣ニ於テ衆智ヲ集メテ御決メナリマシテモ、是以上ノモノハ斷ジテナイト思ヒマス、デスカラ本年ハ間ニ合ハヌニシテモ、來ルベキ議會ニ對シテ、恩給局ハ他ノ各省トモ御協議ニナツテ、一ツ御英斷ニナラナケレバナラス、此ノ間私ハ會計検査院法ノコトニ付テ言ツタガ、自己ノ取締ヲ嚴ニサセルコトハ成ベク好マナイ、好マナイコトデアルカラ、容易ニ此ノ恩給法改正

案ハ、此ノ内閣デモ事務官ノ方デモ中々御贊成ニナラス、ナラスカラト云ツテ、官界ノ利益ノ爲ニ、總テノ矛盾ヲ其ノ儘ニシテ置クト云フコトガ、非常ニ國家國民ノ間ニ惡イ思想ガ胚胎スル、妙ナ思想ノ潛在シテ來ル原因ハ此ノ邊ニアル、其ノ邊ヲ洞察スルダケノ偉大ナル人物ガ各省大臣ヤ何カニ居リマスレバ、斷ノ一字ヲ以テヤラレルデセウ、明治二年ニ兵制改革ニ於キマシテ、大村益次郎先生ガ何處マデモ國民皆兵主義デ、是マデノ所謂武士タル者ノ特權ハ、決シテ特別ニ認メルコトハ出來ナイ、皆武士ダト言ハレテ、命マデ賭ケラレテ、京都ノ木屋町ニ於テ斬ラレタノデアアル、ソコマデ賭ケラレテ、本當ニ時世ノ改革ヲ爲サルヤウナ關係ガ、今日ハ各省ヲ通ジテ才幾人アルカ、疑ハシイ、其ノ位ノ革新政策ヲヤツテコソ、本當ノ革新ガ斷行サレル、今日日本ノ東亞ニ於ケル強力ナル所以ハ、斯ウ云フ偉大ナル人物ノ存在ニ依ツテ出來タノデアアル、ソレデアリマスカラ、日本ノ國家機構及ビ行政機構、内閣制度ナント云フモノハ、今日マデ何十年經ツテモ十年一日ノ如ク少シモ變ラナイ、サウシテ國民ノヤリ方ヲ責メルコトニ付テハ、雨後ノ筍ノヤウニ法律ヲ出ス、斯ウ云フ矛盾ガアツテ、舉國一致ノ體制トカ、一億一心ナント云フコトヲ言ツテ見タ所ガ、ヤルコトヲ言ツテ居ルコトト違フカラ、國民ハ陰デ笑フノデアアル、サウ云フコトデアイケナイ、本當ニ時局ヲ認識スルナラバ、上ニアル者ハ眞先ニ立ツテ國民ニ範ヲ示ス所ノ革新政策ニ棹サス覺悟ニ出ルナイ、唯一部ノ聲ノヤウデアリマシテモ、及ボス影響ハ非常ナモノデス、ソレデアリ

マスカラ、私ハ聲ヲ大ニシテ、決シテ恩給局ノミヲドウ斯ウ言フノデハアリマセスカ
ラ、其ノ邊ヲ能ク御心ニ御止メ置キ下サイ
マシテ、非常時ニハ非常時デ、此ノ内部的ナ
改革ヲシナケレバナラヌ、國民モ統制經濟
ヤ或ハ利潤ノ制限ヤ、有ユル艱難辛苦ヲ嘗
メテ居ルカラ、官界及ビ上ニ居ル所ノ各省
大臣ヲ中心トシテ、一大覺悟ヲ以テ國民ニ
範ヲ示スト云フコトデナクテハ、此ノ非常
時ヲ改革出來ナイ、段々我ガ日本ニハ人物
ガナクナリマス、大村益次郎先生、乃木將
軍、斯ウ云フ者ハナクナル、昔ノ歴史ガ唱
ヘルヤウニ、義ヲ泰山ノ重キニ置イテ、身ヲ
鴻毛ノ輕キニ置クト云フ人ガ段々少クナル、
ソレデハイカス、我ガ日本ノ強イ所以ハ、
サウ云フ強イ人ガアツテコソ、初メテ建國
以來ノ大精神ガ發揚出來ルノデアリマスカ
ラ、ソレヲ幾十萬ノ官吏ノ人ガ認識サレ、
範ヲ示シテ戴クナラバ、國民ハ命ヲ賭ケテ
モ惜シムモノデハアリマセヌ、私ハ此ノ前
ノ日曜日ニモ地方ニ歸リマシテ、演說會ヲ
致シマシタ、陸軍ノ將校ノ方ガ四人モ出
デニナルシ、博士ノ方モ二人出デニナル
シ、政治家トシテ私ガ一人加ツテ演說致シ
マシタ、官界ノコトヲ一口言ハバ拍手喝采
シテ喜ブガ、官吏ノ稅政ヲ擧ゲルト、拍手
喝采サレルノデハ困ル、何者カト云ツテ逆
ニ反抗シテ貰ハナケレバナラヌ、サウ云フ
風ニ私共ハ行ツテ貰ヒタイノデス、官界ノ
コトハ別ニ惡クハ言ヒマセスケレドモ、例
ヘバ統制經濟ニ於ケル所ノ計畫ニ付テハ、
官吏ハ素人デアルカラ、是デハイケナイ、
之ニ玄人ヲ入レテ、本當ニ渾然トシテ此ノ
政策ヲ行ハナケレバ、完全ナコトハ出來ナ
イ、例ヘバ今マデハ官吏ノ商賣ニ關スルコ

トハ禁止シテアル、商行爲爲スベカラズト
言フガ、サウ云フモノガアル、ソレニ對ス
ル反感のナコトヲ言ヒマス、拍手喝采ス
ル、ソレデ國民ニ如何ナル思想ガドコニ潛
シテ居ルカト云フコトガ分ル、ソレデハイ
ケナイ、私共非常ニソレヲ憂ヘテ居ルノデ
アリマスガ、恩給局ダケデハ是ハ中々出來
マスマイガ、併シ其ノ位ノ御働キ掛ケハ爲
スツテ戴クコトガ、此ノ非常時ヲ乗切ル所
以デアルノデアリマス、ソレカラアトハ今
ノ改正案デアリマスガ、改正案デハ、一面ニ
バ恩給ノ金庫法ガアリマシテ、恩給ヲ持ツ
テ居ル人ガ、又安イ利息デ借りルヤウナ恩
典ニナツテ居リマスガ、國民ノ方ハ何十年
モ商工業ニ血ミドロニナツテ働キマシテモ、
一向恩典ニ預カルコトハ出來ナイ、斯ウ云
フコトモ一ツハ、現在ノ國民ノ意識ニ非常
ニ強ク入ツテ居リマスカラ、是モ一ツ御考
ヲ願ツテ置キタイノデアリマス、恩給ヲヤ
ル、其ノ恩給ヲ又抵當ニスル時ニハ、安イ
利息デ貸シテヤルト云フ、至レリ盡セリダ、
オ役人方ハ同じ國民デアリナガラ、斯ウ云
フヤウナ優遇ヲ受ケテ居ル、國民ノ方ハ明
日ノ日食フノニ困ツテ居ル、モウ商賣ガ出
來マセヌト云フト、ソレデハ滿洲ニデモ行
ツテシマヘ、斯ウ云フヤウナコトヲ、公然
ト警察官ナシカガ言ツテ居ルノデアリマス、
サウシテ小賣商ヲ止メサセヤウトスル、止
メサセラレタ者ハ、何處デ食フテ行クノデ
アリマスガ、今日ノ我ガ日本ノ國民ハ、悉
ク平等ニ、陛下ノ赤子デアリマス、其ノ赤
子ハ平等ニ生存ナサシムベキデアル、此ノ
國ヲ怨ム者ナカラシメルト云フコトガ、我
ガ日本ノ建國以來ノ八紘一字ノ大精神デア
ル、八紘一字ト云ヒ、國體明徴ト云ヒナガ

ラ、其ノ行フ事ハ悉ク反對デアル、是デハ
イケナイ、眞ノ八紘一字ト云フモノハ、天
ガ下ノ國民悉ク、陛下ノ赤子トシテ之ヲ平
等ニ扱ツテ、一人ト雖モ此ノ國ヲ怨ム者ナ
カラシメルト云フコトニ考ヘル必要ガアル、
ソレニハ非常時ニハ非常時ニ相應シク、其
ノ生存權ヲ確保シテヤラナケレバナリマセ
ヌガ、サウ云フヤウナコトニ付テ國民ヲ全
ク厄介視シテ居ル、サウ云フヤウナコトデハ、
陛下ノ大御心ト中間ニアル官吏ニ依ツテ
疎隔ヲシテ、遂ニ此ノ國體ヲ怨ムニ至ラシメ
ル、其ノ原因ハ何處ニアルカ、結局行政組
織、行政官吏ノ不心得ノ結果ガ、斯ウ云フ恐
ルベキ結果ヲ來サシメテ居ルノデアリマス、
其ノ邊ハ私ハ他ノ機會ニ於キマシテモ、サ
ウ云フコトヲ論ジテ、政府者タル人ニ能ク
認識ヲシテ貰ヒマスガ、各省ヲ通ジテ時局
ヲ能ク御認識ニナツテ一ツヤツテ戴カナケ
レバ、日本ハ中々容易デアリマセヌ、ソレ
デアリマスカラ私ハ此ノ言ヲナスノデアリ
マス、ソレデ私ノ御伺シタイノハ、恩給法
ノ年齡ノコトデアリマスガ、一體コツチデ
云ヘバ判任官デアリマスガ、陸海軍ノ方デ
云ヒマスト將校以下ノモノデアリマス、此
ノ恩給ニ付テハ、私ハ昭和八年デアリマシ
タカ、本會議デ相當ニ、其ノ時ハ社會局ナ
シカモ御關係ニナリマシタガ、申上ゲテ、
ソレデハイカス、ソレデハ生活ハ出來ナイ
ノダ、不具者ニナツテ居ル者ガ廢兵院、今
ノ傷兵院ニ入ルノナラ、斯ウダト云フコト
ヲ申シタコトガアルノデアリマシタガ、其ノ點
ハ餘程考ヘナケレバナラヌ事デアアルノデア
リマス、併シナガラズト上ノ人ガ十倍ノ
恩給ヲ取ル、下ノ者ハ生活出來ヌト云フヤ
ウナコトデハイカス、國家ニ特別ナル功勞

ノアル人ハ、ソレヲ或ル程度マデ上ゲテ、
生活ノ最低限ヲ保障シテヤラナケレバナラ
ヌト云フコトヲ申シタコトガアルノデアリ
マスガ、今ハ三十歳マデハ四分ノ一、三十
五歳マデハ六分ノ一、四十歳マデハ八分ノ
一ト云フヤウナ風ニ、御改正ニナツテ居リ
マスケレドモ、三十歳ヤ、三十五歳、四十
歳位デ、ソレハ病床ニ臥スルカ其ノ他ノ
者ハ別デゴザイマスガ、今日ノ者ハ大抵皆
働イテ居ル、サウ云フヤウナ者ニ恩給ヲ與
ヘルト云フ、四十歳前後デ恩給デ暮スナン
ト云フコトハ、若イ働キ盛リノ者ヲ隱居サ
セルト云フコトニナルト思フノデアリマス
ガ、此ノ邊モ今回ハ改正ニナラヌノデスカ、
一體今度デモ吾々ガソレヲ修正シヨウト思
ヒマシタナラバ、政府ハ御同意ニナルカド
ウカ、吾々ハ妥協的ニモウ少シ修正シテ見
タイ、斯ウ云フ風ナ傾向モアルノデアリマ
ス、政府ハソレニ御同意ガ出來マスカドウ
カ、ソレカラ金額ノ點ニ付テデアリマス、
五千圓ヲ超過シテ六千圓トナル時ニハ、ソレ
ハ一割五分ヲ引クト云フコトニナリマス、
モウ六千圓トカ五千圓ニナリマスレバ、此
ノ非常時局デアリマスカラ、洵ニ其ノ方ニ
ハ御氣ノ毒デアリマスケレドモ、大體ニ於
キマシテ五千圓トカ三千圓トカノ生活ハ、
今日一般大衆カラ見マス、相當贅澤ナ生
活ガ出來ル、サウ云フ者ニ對シマシテハ、
何レ平和克服後ハ別問題デアリマシテ、其
ノ時ニハ改メテ論ジマスケレドモ、現時ト
致シマシテハ、斯ウ云フ多額ノ恩給ヲ取ル
トカ、又本給ト合シテ得ラレルトカ云フ者
ニ付テハ、モウ一層改革シテ之ニ斧鉞ヲ加
ヘル必要ガアルト私ハ思ヒマス、八千圓ノ
收入ニ五千圓ヲ一種ノ免稅點トスルヤウナ

コトハ、餘リ多キ過ギル、ソレデアリマス
カラ、總額ニ對シテ恩給ノ部分ハ——一般
ノ收入ハ外ニ税ノコトモアリマスカラ免モ
角ト致シマシテ、若シサウ云フ點ヲ修正ス
ルトスレバ、政府ハ之ニ同意ガ出來ルカド
ウカ、斯ウ云フ點モ併セテ御答ヲ願ツテ置
キタイト思ヒマス

○平木政府委員 先ヅ若年停止ノ問題デア
リマスガ、今度改正案ヲ提出致シマシタ三
十歳未満四分ノ一ノ停止ト云フ此ノ率ヲ、
モウ少シ強メタラドウカト云フ御意見ダト
思ヒマス、是ハ御承知ノ通りニ、若年停止
ト申シテ居リマスガ、三十歳又三十五歳デ
恩給ニナリマスモノハ、普通是ハ陸海軍人
ノ下士官デアリマス、サウ云フ關係デアリ
マシテ、大體地方農村其ノ他ノ階級ノ出身
者ガ多イ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリ
マシテ、此ノ若年停止ヲドノ位ニスルカ、
或ル程度デ停止スルト云フコトハ——是ハ
若イ内ハ職業ノ轉換ノ可能、或ハ身體ガサ
ウ弱ツテ居ナイ點等カラ考ヘマシテ、或ル
程度デ停止スルト云フコトモ適當デアラウ
ト思ヒマスケレドモ、其ノ程度ヲ超シテヤ
ルト云フコトハ、今申シタヤウナ階級ノ
人デアリマスカラ、極メテ問題ダラウト
考ヘマシテ、茲ニ提案致シマシタ率ヲ以
テ、最モ適當ト考ヘタ次第デアリマス、ソ
レカラ其ノ次ハ多額停止デアリマスガ、御
承知ノ通り多額停止ハ、現在恩給ト恩給外
ノ所得トヲ合セマシテ、六千圓ヲ超エル
場合ニ、其ノ一部ヲ停止スルトニナツテ
居リマスモノヲ、御承知ノヤウニ今度ハ六
千圓ヲ五千圓ニ下ゲル、ソレカラ停止ノ率
ヲ各所得階級ニ應ジマシテ幾分ヅ増率ス
ル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、

斯ウ云フ停止ノ率ヲ此ノ事變中ダケニ限ル
カ、或ハ一般的ニ事變ト云フ問題ヲ別ニシ
テ行フカ、是ハ色々問題ノアルコトデアリ
マセウガ、事變前カラ此ノ停止ノ率ハアリ
マシタ關係上、今度ハ事變中ト云フ問題デ
ナシニ、經常的ニ前ノ方針ト同ジヤウナ方
針デ、此ノ率ヲ高メタヤウナ次第デアリマ
ス、此ノ額ガ五千圓ガ宜イカ、四千圓ガ宜
イカ、三千圓ガ宜イカ、是ハ色々問題ノア
ル所デアラウト思ヒマスガ、從來六千圓ヲ
以テ最低限ト致シテ居リマシタ關係等モ考
慮致シマシテ、或ハ今度又斯ウ云フ階級ノ
人ハ、相當税モ増率サレト云フヤウナ點
モ考慮致シマシテ、茲ニ提案致シマシタヤ
ウナ率ガ最モ適當デアアル、斯ウ云フヤウニ
考ヘデ提案致シタ次第デアリマス

○福田委員 政府ハ御出シニナルカラニハ
能ク御研究ニナツテ、適當ト御考ニナツタ
ノデアリマセウガ、吾々ノ見マス所デハ、
ドモモ停止ノ基礎金額ナンカガ多キニ過ギ
ルト思フノデアリマス、マア其ノ邊ハ一ツ
他ノ方面トモ能ク御協議下サツテ、大體國
民ノ意向ノ存スル所モ御忖度ラシテ貰ハナ
ケレバナラス、目下事變下デアリマスカラ、
アナタノ方ハ是ハ恆久ノモノデアルト御考
デアラウト思ヒマスケレドモ、吾々ノ方ハ
戰時下ダケハ何トカ特例ヲ拵ヘナケレバ
ラスト思ヒマス、今日ハ税制デモ何デモ此
ノ戰時ヲ目標トシテ改革シテ、國民一般ニ
屬大ナル義務ヲ強フルノデアリマスカラ、此
ノ點ハ御考ヘ置キヲ願ヒタイノデアリマス、
ソレカラ一ツハ、十二年度以來十四年度マ
デノ恩給支給額ノ總額、及ビ勅任、奏任、
判任等ノ恩給ノ金額ヲ各別ニ承リタイ、或
ハソレニ準ズベキモノニ付テモ承レレバ承リ

タイト思ヒマス、若シ今即答ガ出來マセヌ
ケレバ、書面ヲ以テ全員ニ之ヲ御配付願ヒ
タイノデアリマス、ソレカラ助救費ト云フモ
ノガアリマスガ、ヤハリ之ニ對スル別表デ
御願シタイノデアリマス、ソレカラ恩給ヲ
受ケル者ニシテ現職ニアル官吏ト、恩給ヲ
受ケルニ達シタル者ノ離職者ノ數、其ノ
「パーセント」ニ付テ、是ハ十二年度、十三
年度、十四年度ニ付キマシテ、一ツ御現ハ
シ願ヒタイノデアリマス、若シ御答辯ガ承
レマスレバ、此ノ際承ツテ置キマス

○平木政府委員 只今御話ノ資料ハ手許ニ
アリマセヌノデ、何レ作リマシテ差上ゲル
コトニ致シマス

○福田委員 ソレデハ大體私ノ質問ハ是デ
終リマスガ、要スルニ本員ノ申シタコトハ、
今日國民ノ輿論ノ存スル所、同時ニ非常時
局下ニ於キマスル官民一途ノ一大方針ノ御
確立ノ爲ニ、斯ウ云フコトノ必要ガアルト
云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマスカラ、
是ハ關係各方面トモ御相談下サイマシテ、
是等ノ如キコトガ速ニ實現サレルヤウナ方
針ヲ、御執リ下サランコトヲ希望致シタイ
ト思ヒス、何レ是ノ可否ニ付キマシテハ、
又他ノ同僚トモ協議致シマシテ決スルコト
デゴザイマセウガ、唯今ノ參考資料ダケハ
御出シヲ願フコトニシテ、私ノ質疑ハ之ヲ
以テ打切りタイト思ヒマス

○古屋委員長 質問ハ大體終了致シマシ
タ、次會ハ討論ヲ致シタイト思ヒマス、從
來ノ慣例ニ依リマシテ、討論前ニ簡單ナ質
問ハ致サシテモ差支ナイコトニナツテ居リ
マスガ、本日ハ是ニテ散會致シマス、次會
ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス
午後四時二十分散會

昭和十五年三月十四日印刷

昭和十五年三月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局